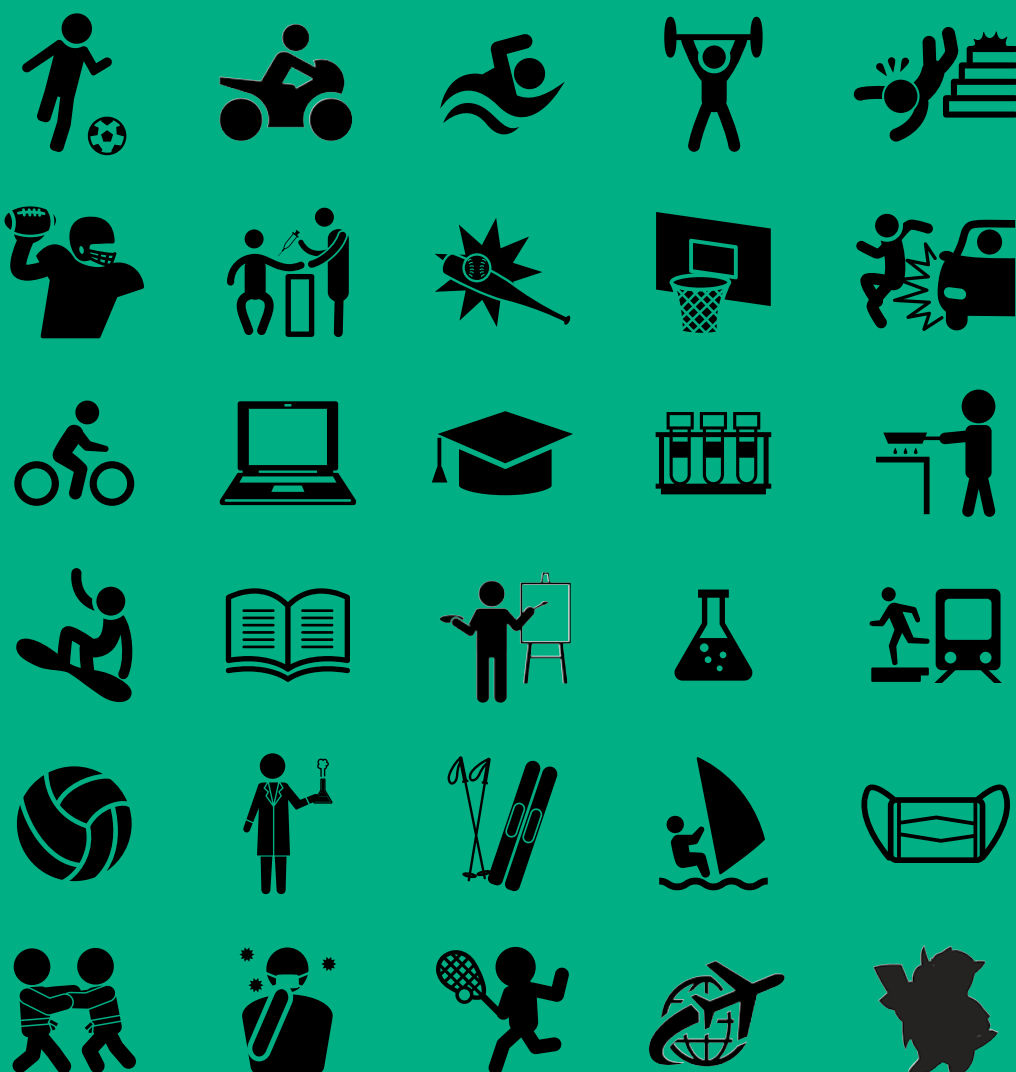

学生教育研究災害傷害保険(学研災) からみた学生生活における 事故の傾向と事例

(2016年度～2020年度)



公益財団法人 日本国際教育支援協会
Japan Educational Exchanges and Services

発刊にあたって

公益財団法人日本国際教育支援協会は、わが国の教育・学術の発展並びに国際間の理解と親善に寄与することを目的に、日本人学生及び外国人留学生等に対し、必要な援助を行うとともに、外国人の日本語能力及び日本語教育の水準の向上に必要な事業を行っています。

そのような事業の中の一つに学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)があります。「学研災」は、学生が教育研究活動中に被った災害に対して必要な給付を行い、大学の教育研究活動の充実・発展に寄与することを目的とした保険制度であり、1976年の創設以来46年の実績を重ねる中で、多くの大学・短期大学において、学生に対するリスク管理のための重要な施策の一つとして位置付けられているところです。2020年度からは、高等専門学校(高専)の学生も加入できるようになり、現在では、全国の大学・短期大学及び高等専門学校の92%に当たる1,089校が賛助会員となり、約278万人(84%)の学生が加入する標準的な保険となっています。

本協会では、学研災について理解を深めていただくとともに、ご意見・ご要望を伺うことにより制度の充実と発展を期することを目的に、例年、全国8か所(東京・札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・広島・福岡)の会場で、ご担当者を対象に説明会を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年度は中止し、今年度はオンラインでの説明会を実施しました。その際、配布資料として、前年度の加入者数や保険金支払件数、事故事例等を取りまとめた年次報告を作成しています。

5年前に初めての試みとして単年度の集計ではなく、複数年にわたるデータを基にして、学生生活における事故の傾向を分析した報告書を作成しました。本報告書では、その後の5年間の事故データを追加し、その傾向を分析するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生生活における事故の傾向についても考察しています。

学生が安心して学生生活を送るために、また、学校が安全な修学環境を整えるためのリスク管理に必要な情報を提供することは本協会が担うべき社会的責務の一つであると考えます。学研災の保険金支払いに係る事故等統計を活用していただくことで、学校における事故防止のための一助となれば幸いです。

本報告書によって近年の事故の傾向を知っていただくとともに、学校の安全な環境づくりにお役立てください。

2022年3月

公益財団法人 日本国際教育支援協会
理事長 井上 正幸

学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)について

学生が教育研究活動中に被った災害に対して必要な給付を行い、学校の教育研究活動の充実・発展に寄与することを目的とした保険制度。

加入者は、教育研究活動に合わせて以下を付加することができます。

特約

・通学中等傷害危険担保特約(通学特約)

通学中:学生の住居⇄活動先(大学・実習先・課外活動先等)

学校施設等相互間の移動中:大学⇄活動先(大学・実習先・課外活動先等)

・接触感染予防保険金支払特約(接触感染特約)

臨床実習中の接触感染に対する予防措置を受けた場合に補償。



学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)

他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について補償。



学研災付帯学生生活総合保険(付帯学総)

24時間の補償。病気・ケガ、賠償責任保険、救援者費用がセットされた基本補償にオプションで感染予防費用・育英費用・学資費用・生活用動産・借家人賠償責任・天災危険補償特約が有り。



外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(インバウンド付帯学総)

付帯学総の外国人留学生版。

24時間の補償。病気・ケガ、賠償責任保険、救援者費用などが有り。

治療費用実費や救援者費用などの補償を必要に応じて選択でき、月単位での加入も可能。

学研災付帯海外留学保険(付帯海学)

学校が承認した派遣留学に参加する学生のための海外旅行保険。

ケガ・病気の治療費用、救援費用、傷害・疾病死亡保険金、傷害後遺障害保険金、携行品損害保険金、賠償責任保険がセット。

オプションで航空機寄託手荷物、航空機遅延が有り。



目 次

はじめに	1
1 学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)について	
(1) 保険制度の概要	4
(2) 各保険の概略	7
(3) 加入状況	16
2 保険金支払状況からみた事故の概況	
(1) 分析対象と分析資料等について	18
(2) 学研災における保険金支払状況	19
(3) 付帯賠償における保険金支払状況	41
(4) 付帯学総における保険金支払状況	46
(5) 付帯海学における保険金支払状況	49
3 保険金支払状況からみた死亡事故の推移と傾向	
(1) 死亡事故件数の推移	53
(2) 死亡事故の傾向	54
4 保険金支払状況からみた後遺障害事故の推移と傾向	
(1) 後遺障害事故件数の推移	56
(2) 後遺障害事故の傾向	58
5 保険金支払状況からみた留学生がかかわった事故の推移と傾向	
(1) 学研災における保険金支払状況	62
(2) インバウンド付帯学総における保険金支払状況	69
6 新型コロナウイルス感染症の影響	
(1) 大学等の対応状況	73
(2) 各保険における新型コロナウイルス感染症の影響	77
7 近年の主な事故の内容(事故事例)	
(1) 死亡事故	90
(2) 後遺障害事故	94
(3) 保険別の事故	101
(4) 留学生がかかわった事故	128
(5) 新型コロナウイルス感染症にかかわる事故	132
おわりに	133



学研災のイメージキャラクターの「サイちゃん」が表紙に隠れています。
「サイちゃん」の本名は「学研 サイゾウ」です(知られていませんが・・・)。

はじめに

本報告書は、学生教育研究災害傷害保険(学研災)の保険金支払いにかかわる事故等統計を基にして、学生生活における事故の傾向を分析したものです。

2017年に初めて発刊した報告書では、活動形態別の事故件数及び支払保険金額の推移や比率、男女別の事故の傾向等、全般的な傾向を中心として作成しました(前回発行の報告書は <http://www.jees.or.jp/gakkensai/docs/jikojirei.pdf> をご参照ください)。本報告書では、単にその後の5年間の事故データを追加するだけでなく、新たな観点からの分析を加えるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響についても考察しています。

なお、本報告書での新型コロナウイルス感染症の影響についての評価は現時点でのものです。新型コロナウイルス感染症の影響については2021年度以降も続くと考えられることから、引き続き注視する必要があります。

今回の報告書では新たに分析を加えた項目がありますので、概要とポイントをまとめています。詳細については、それぞれのページを付していますのでご覧ください。

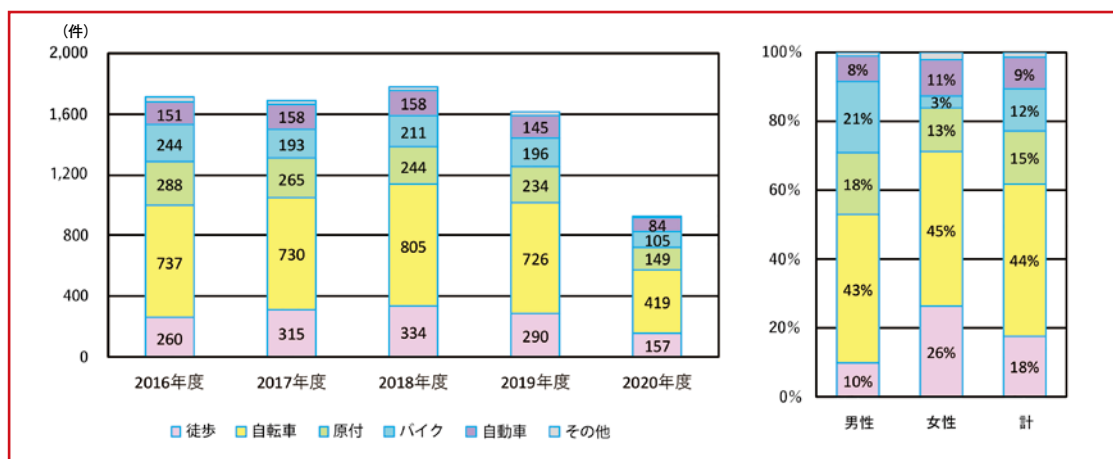
本報告の概要とポイント

1 学研災における事故の傾向

- ① **事故件数の推移**(19、53、56ページ参照)
 - ・ 年間の死亡事故は5～14件、後遺障害事故は108～202件。
 - ・ 事故全体では、2019年度までは増加傾向、2020年度は減少。
 - ・ 事故が最も多かったのは課外活動(クラブ活動)中で66%。
- ② **月別の事故の傾向**(今回の報告書の新項目:27ページ参照)
 - ・ 例年5月頃と10月頃に事故が多く発生。
- ③ **地域別の事故の傾向**(今回の報告書の新項目:30ページ参照)
 - ・ 関東が最も多く40%。次に、近畿、中部。
- ④ **競技種目の傾向**(今回の報告書の新項目:33ページ参照)
 - ・ 体育実技では、上位5競技の比率が60%、10競技の比率が75%。
 - ・ 課外活動では、上位5競技の比率が68%、10競技の比率が84%。

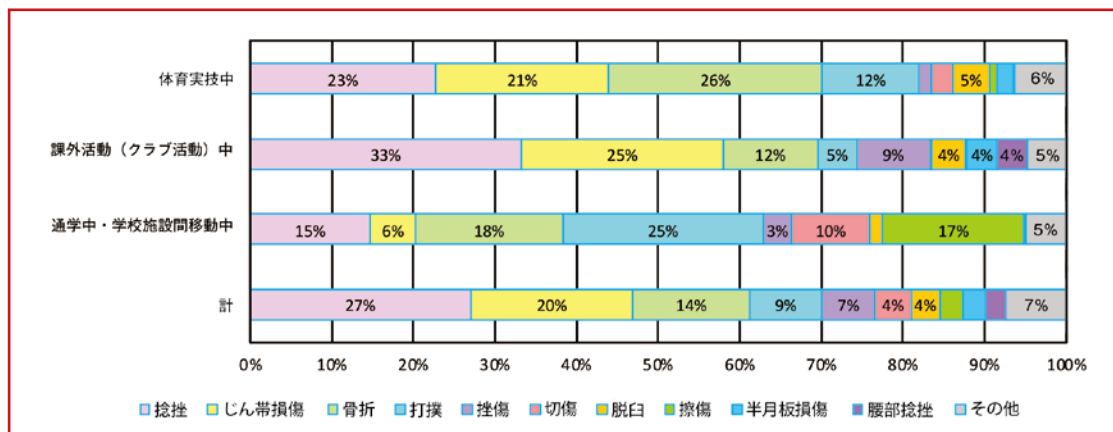
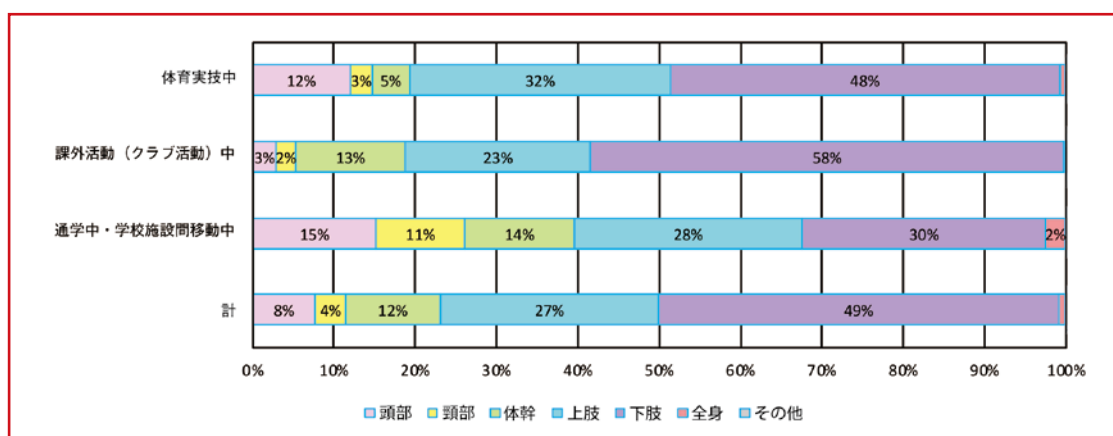
⑤ 移動手段の傾向（今回の報告書の新項目：35ページ参照）

- ・ 男性女性ともに自転車の事故が多く、その比率は全体の44%。
- ・ 自転車、原付、バイクの事故を合わせた比率は72%。
- ・ 男性ではバイク、女性では徒歩の事故も多く発生。



⑥ 傷害部位、傷害種別の傾向（今回の報告書の新項目：38ページ参照）

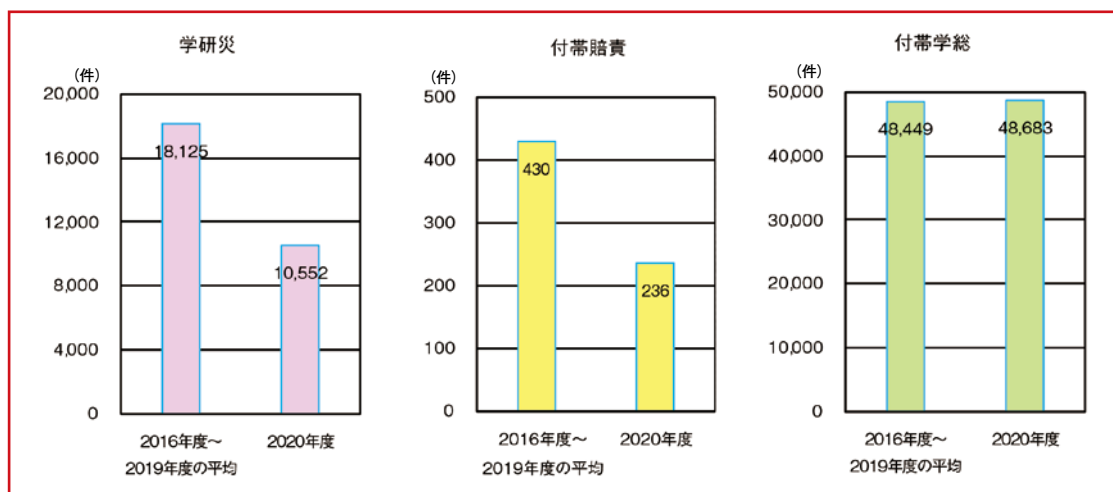
- ・ 傷害の多い部位は、下肢(膝、足首)、上肢(手・手指)。
- ・ 傷害の多い種別は、捻挫、じん帯損傷、骨折。



2 2020年度の事故の傾向と新型コロナウイルス感染症の影響

① 2020年度に保険金が支払われた事故についての評価(77ページ参照)

- ・学研災、付帯賠償、付帯海学における事故件数は、新型コロナウイルス感染症等の影響により大幅な減少。
- ・日常的な事故や病気に対応する付帯学総では、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることなく例年同様の支払状況。



② 保険金支払年度と事故発生年度の関係(80ページ参照)

- ・2016年度から2019年度までは、事故の発生から3年度以内に支払われる比率が、事故全体で99%、後遺障害事故で83%。

③ 2020年度に発生した事故についての分析(84、87ページ参照)

- ・月別の事故件数は、4月から徐々に増加し10月以降減少。
- ・関東の事故件数は全国の31%で、例年から8ポイント程度減少。



1 学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)について

(1)保険制度の概要

ア 学研災創設の経緯と沿革

学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)は、学生が教育研究活動中に被った災害に対し必要な給付を行い、大学の教育研究活動の充実に資するための互助共済的な制度として、昭和51年度に全国の大学の要請と協力の下、文部省(当時)の指導により創設されました。

創設に至る経緯は、次のとおりです。

- ・ 昭和40年代の大学進学者の増加に伴い、実験実習・体育等の教育研究中における大学生の災害事故が急増しました。当時、高等専門学校以下の学校については、学校管理下における事故等について、日本学校安全会法(当時)に基づく医療費等の給付が行われていましたが、大学にはこのような制度がなく、全国規模の統一的補償制度を望む声が大学関係者の間から多く出されました。
- ・ このような流れの中で、昭和45年10月、日本学術会議より、「大学院生など無給研究者の研究災害補償制度の確立等について」の勧告が内閣総理大臣あてになされ、また昭和49年6月に国立大学協会が文部大臣あてに「正課中における学生の災害事故対策について」の要望書を提出しました。このような状況において、文部省は「学生の教育研究災害補償制度に関する調査研究会」を設置し、アンケート調査等を実施して、昭和50年8月に具体的な対策案を最終報告として取りまとめました。
- ・ この結果を受け、教育研究活動中の事故について、財団法人学徒援護会(当時)が保険契約者となり、賛助会員大学に在籍する学生を被保険者として、複数の国内損保会社と保険契約を結ぶ方式を採り、本保険約款が昭和51年1月に大蔵省(当時)より認可され、昭和51年4月から業務を開始しました。

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」)は、平成16年4月に財団法人内外学生センター(当時)から学生に係る保険事業を承継して、現在に至っていますが、学研災は、時々に応じた学校関係者のご意見やご要望を可能な限り反映させてきたところです。創設以降の沿革については表1に示しています。

表 1 沿革

年度	改定内容	保険契約者に関する変更事項
昭和51年度 (1976年度)	・ 学生教育研究災害傷害保険の創設	・ 保険契約者:財団法人学徒援護会
昭和53年度 (1978年度)	・ 保険金額増額等の改定	
昭和55年度 (1980年度)	・ 学校施設内課外活動中の傷害を補償範囲に追加	
昭和58年度 (1983年度)	・ 学校施設内休憩中、学校施設外課外活動中の傷害を補償範囲に追加	
平成元年度 (1989年度)		・ 財団法人学徒援護会から財団法人内外学生センターへ名称変更
平成3年度 (1991年度)	・ 文科系・理工体育系の保険料の不均衡は正他による保険料改定	
平成5年度 (1993年度)	・ Aタイプ(死亡保険金最高2,000万円)の新設	
平成8年度 (1996年度)	・ 通学中等傷害危険担保特約(略称:通学特約)の新設	
平成10年度 (1998年度)	・ インターンシップ・介護等体験活動・ボランティア活動賠償責任保険(略称:インターン賠)の新設	
平成11年度 (1999年度)	・ インターンシップ・介護等体験活動・ボランティア活動賠償責任保険をインターンシップ・介護体験活動・教育実習等賠償責任保険に名称変更し、教育実習を補償範囲に追加	
平成12年度 (2000年度)	・ 学生教育研究賠償責任保険(略称:学研賠)の新設 ・ インターンシップ・介護体験活動・教育実習等賠償責任保険をインターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険に改称	
平成14年度 (2002年度)	・ 医学生教育研究賠償責任保険(略称:医学賠)の新設 ・ 通学中等傷害危険担保特約の適用日数の改定	
平成16年度 (2004年度)		・ 財団法人内外学生センターから財団法人日本国際教育支援協会へ事業移管
平成17年度 (2005年度)	・ 法科大学院学生教育研究賠償責任保険(略称:法科賠)の新設	
平成18年度 (2006年度)	・ 学研災付帯学生生活総合保険(略称:付帯学総)の新設 ・ 学研災付帯賠償責任保険の10月保険始期の取扱開始	
平成20年度 (2008年度)	・ 学研災付帯賠償責任保険(法科大学院学生教育研究賠償責任保険を除く)における改定(保険料の引き下げ、海外での事故を補償対象に追加)	
平成21年度 (2009年度)	・ 法科大学院学生教育研究賠償責任保険における改定(保険料の引き下げ、海外での事故を補償対象に追加)	
平成23年度 (2011年度)	・ 学生教育研究災害傷害保険(普通保険)の理工・体育系保険料を引き下げ文科系保険料に統一、医療保険金額及び適用日数の改定 ・ 通学中等傷害危険担保特約の保険料引き上げ、医療保険金額及び適用日数の改定 ・ 接触感染予防保険金支払特約(略称:接触感染特約)の新設	・ 共済課から保険・補償課へ担当課名変更 ・ 財団法人日本国際教育支援協会の法人格が公益財団法人へ変更
平成24年度 (2012年度)	・ 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険における9月保険始期の取扱開始	
平成26年度 (2014年度)	・ 損害保険料率算出機構の傷害保険における標準約款及び参考純率改定に伴う、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯学生生活総合保険約款の改定	
平成27年度 (2015年度)	・ 学研災付帯海外留学保険(略称:付帯海学)の新設 ・ 法科大学院学生教育研究賠償責任保険の保険料引き下げ	
平成28年度 (2016年度)	・ 学研災付帯海外留学保険の保険料割引率の拡大	
平成29年度 (2017年度)	・ 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(略称:インバウンド付帯学総)の新設 ・ 学研災付帯学生生活総合保険及び外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険の保険約款をこども総合保険から総合生活保険に変更 ・ 学研災付帯海外留学保険の保険料割引率の拡大	
平成30年度 (2018年度)	・ 学生教育研究災害傷害保険の約款改定(学校施設内の補償拡大) ・ 学研災付帯海外留学保険の保険料割引率の拡大及び歯科治療費用担保特約の追加	
令和元年度 (2019年度)	・ 学研災付帯学生生活総合保険の約款改定(薬物免責規定及びギブス等に関する規定の変更・明確化)(2019年10月1日始期以降)	・ 保険・補償課から学生保険課へ担当課名変更
令和2年度 (2020年度)	・ 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険の約款改定(高等専門学校加入追加) ・ 学研災付帯海外留学保険の約款改定(航空機寄託手荷物遅延等費用担保特約、航空機遅延費用等担保特約の変更)	

イ 保険制度の特徴

本保険制度には、次のような特徴があります。

（ア）低廉な保険料と充実した補償との両立

学研災は、大学等が賛助会員となって学内での広報をはじめ加入や事故にかかわる事務にご協力いただくことを前提として、また、大多数の大学等が賛助会員となることでスケールメリットが活用され、低廉な保険料で充実した補償を学生に提供しています。

（イ）修学環境の変化に応じた内容の充実

学研災は、5ページの表1沿革の中にあるように、修学環境の変化や大学等からの要請に応じて、補償範囲を拡大するとともに、新たな特約や保険を創設するなど、内容の充実を図っています。

（ウ）共同引受保険方式の採用

学研災は、本協会と複数の保険会社との間で締結された共同保険契約です。

2021年3月現在の引受保険会社は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社の4社です。

ウ 5種類の保険

本保険制度は、本協会を契約者とし、本協会の賛助会員校に在籍する学生を被保険者とする団体契約・包括契約です。

本保険制度では、被保険者（保険の対象となる学生）、保険期間、補償の対象となる活動や事故の範囲、保険料、保険金の種類と金額、保険の事務等の流れ（加入手続き、賛助会員校が取り扱う事務等）などが、以下の5種類の保険で異なります。

- ① 学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）
- ② 学研災付帯賠償責任保険（略称「付帯賠償」）
- ③ 学研災付帯学生生活総合保険（略称「付帯学総」）
- ④ 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（略称「インバウンド付帯学総」）
- ⑤ 学研災付帯海外留学保険（略称「付帯海学」）

学生は、①学研災の加入を前提として、②付帯賠償、③付帯学総、④インバウンド付帯学総及び⑤付帯海学を、必要に応じて付加することができます。

なお、これら5種類の保険を、総称して「学研災」と呼称する場合があります。

次に、各保険の概略を説明しますが、詳細については、保険パンフレット及び本協会ホームページ（<http://www.jees.or.jp>）でご確認ください。

(2)各保険の概略

ア 学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）

（ア）概要

学研災は、大学等（大学院、大学、短期大学及び高等専門学校）の教育研究活動の充実に資するための互助共済的な傷害保険であり、賛助会員学校に在籍する学生が加入できます。基本となる普通保険に加えて、通学中等傷害危険担保特約（略称「通学特約」）及び接触感染予防保険金支払特約（略称「接触感染特約」）を付加することもできます。

学研災は、学生（被保険者）が在籍する学校の国内外における教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。そのため、「病気」は補償の対象となりませんが、日射又は熱射による身体の障害や食中毒は補償の対象となります。

（イ）補償の対象となる活動の範囲

学研災は、次の教育研究活動中における傷害事故を補償します。

a 普通保険

① 正課中

正課中とは、講義、実験、実習、演習又は実技による授業を受けている間をいいます。統計データの中では、体育実技中、理科系の実験・実習中、医療系の実習中及びその他に区分しています。

② 学校行事中

学校行事中とは、学校の主催する（学校管理下で実施される）入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間をいいます。

③ 学校施設内にいる間

①、②、④以外で、学校が教育活動のために所有、使用又は管理している学校施設内にいる間が補償の対象となります。

④ 課外活動（クラブ活動）中

課外活動（クラブ活動）中とは、学校の規則にのっとった所定の手続きにより学校の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動又は体育活動を行っている間をいいます。

b 通学特約

⑤ 通学中及び学校施設等相互間の移動中

通学特約を付加することによって、学校の授業等、学校行事又は課外活動（クラブ活動）への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法により、被保険者の住居と学校施設等との間の往復中又は学校施設等相互間の移動中が補償の対象となります。

c 接触感染特約

⑥ 臨床実習中

接触感染特約を付加することによって、病院等で行う臨床実習中の接触感染に対する感染症予防措置を受けた場合も補償の対象となります。統計データの中では、正課中(医療系の実習中)の区分で取り扱っています。

(ウ)保険金の種類と金額

学研災には、死亡保険金最高2,000万円のAタイプと、同1,200万円のBタイプの2種類があります。死亡保険金と後遺障害保険金は、AタイプとBタイプで金額が異なりますが、医療保険金、入院加算金及び接触感染予防保険金は、両タイプで共通です。

また、学研災の保険金は、生命保険、健康保険、他の傷害保険、加害者からの賠償金と関係なく支払われます。

a 死亡保険金

死亡保険金は、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合に支払われます。

補償範囲	支払保険金	
	Aタイプ	Bタイプ
「正課中」「学校行事中」	2,000万円	1,200万円
「正課中・学校行事中以外で学校施設内にいる間」「課外活動(クラブ活動)中」「通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中」	1,000万円	600万円

b 後遺障害保険金

後遺障害保険金は、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合に支払われます。

なお、事故によって後遺障害が発生した後に、その事故が原因となって180日以内に死亡した場合には、死亡保険金のみが支払われます。

補償範囲	支払保険金	
	Aタイプ	Bタイプ
「正課中」「学校行事中」	程度に応じて 120万円～3,000万円	程度に応じて 72万円～1,800万円
「正課中・学校行事中以外で学校施設内にいる間」「課外活動(クラブ活動)中」「通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中」	程度に応じて 60万円～1,500万円	程度に応じて 36万円～900万円

c 医療保険金及び入院加算金

医療保険金は、医師の治療を受けた場合に、治療日数（実際に入院又は通院した日数）に応じて支払われます。また、入院加算金は、いずれの活動種別においても入院1日目から、180日を限度として支払われます。

事故発生時の活動の種別			治療日数	医療保険金	+ 入院した場合	入院加算金
(治療日数1日から対象)	(対象外)	(対象外)	1日～3日	3,000円		入院1日につき 4,000円
	(治療日数4日以上が対象)	(治療日数14日以上が対象)	4日～6日	6,000円		
			7日～13日	15,000円		
			14日～29日	30,000円		
			30日～59日	50,000円		
			60日～89日	80,000円		
			90日～119日	110,000円		
			120日～149日	140,000円		
			150日～179日	170,000円		
			180日～269日	200,000円		
正課中 学校行事中	右記以外で学校施設内にいる間・通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中	課外活動（クラブ活動）を行っている間	270日～	300,000円		

d 接触感染予防保険金

接触感染特約加入者が、臨床実習の目的で使用される施設内で、感染症の病原体に予期せず接触し、かつ、その原因となる事故の発生の日からその日を含めて180日以内にその接触感染に対する感染症予防措置を受けた場合が対象となります。

補償範囲	支払保険金
臨床実習中	1事故につき15,000円（定額払）

(エ) 保険料

a Aタイプ（死亡保険金最高2,000万円）

保険期間	基本			通学特約		
	昼間部	夜間部	通学教育	通学特約		接触感染特約
				昼間部・夜間部	通学教育	
1年間	650円	100円	100円	350円	40円	20円
2年間	1,200円	200円		550円		40円
3年間	1,800円	300円		800円		50円
4年間	2,300円	400円		1,000円		70円
5年間	2,800円	500円		1,250円		80円
6年間	3,300円	—		1,400円		100円

b Bタイプ（死亡保険金最高1,200万円）

保険期間	基本			特約		
	昼間部	夜間部	通学教育	通学特約		接触感染特約
				昼間部・夜間部	通学教育	
1年間	550円	100円	100円	250円	30円	20円
2年間	1,000円	200円		400円		40円
3年間	1,500円	250円		600円		50円
4年間	1,900円	350円		750円		70円
5年間	2,300円	450円		950円		80円
6年間	2,700円	—		1,050円		100円

イ 学研災付帯賠償責任保険（略称「付帯賠償」）

（ア）概要

付帯賠償は、国内外において、学生（被保険者）が加入しているコースの対象となる活動及びその往復において、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等において、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について、保険金が支払われます。

付帯賠償には、4つのコースがありますが、加入できるコースは被保険者1名につき1コースのみです。

（イ）補償の対象となる活動の範囲

① Aコース：学生教育研究賠償責任保険（略称「学研賠」）

学研賠では、Bコースの活動範囲及び薬学教育実務実習を含む、正課、学校行事、課外活動（学研災の定義とは異なり、一定のインターンシップ又はボランティア活動のみが該当）及びその往復が補償の対象となります（医療関連実習を除く）。

② Bコース：インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険（略称「インターン賠」）

インターン賠では、学校が当該活動を正課、学校行事又は課外活動として認めた場合の、インターンシップ、介護体験活動、教育実習、保育実習、ボランティア活動及びその往復が補償の対象となります（医療関連実習及び薬学教育実務実習を除く）。

③ Cコース：医学生教育研究賠償責任保険（略称「医学賠」）

医学賠では、Aコース、Bコースの活動範囲及び医療関連実習を含む、医療関連学部・（学）科の正課、学校行事、課外活動及びその往復が補償の対象となります。

④ Lコース：法科大学院生教育研究賠償責任保険（略称「法科賠」）

法科賠では、対人賠償・対物賠償については、Aコース、Bコースの活動範囲を含む、法科大学院等の正課、学校行事、特定の課外活動及びその往復が補償の対象となります。他のコースとは異なり、人格権侵害補償を付加しています。

人格権侵害補償については、臨床法学実習による不当行為に起因する事故であれば、

事故発生時における活動は問わず、補償の対象となります。

（ウ）保険金（支払限度額）と保険料

記載の保険金（支払限度額）は、対人賠償・対物賠償については、被保険者1名かつ1年当たりの支払限度額です。人格権侵害補償については、保険期間中の支払限度額です。免責金額とは、支払われる保険金の計算に当たって損害の額から差し引く金額をいいます。

		Aコース(学研賠)	Bコース(インターン賠)	Cコース(医学賠)	Lコース(法科賠)
支払限度額	対人賠償	対人賠償と対物賠償合わせて1事故につき1億円限度（免責金額:0円）			
	対物賠償				
	人格権侵害補償	—			損害賠償請求者1名当たり 1,000万円限度 (免責金額:0円)
保険期間		保険料			
1年間		340円	210円	500円	1,640円
2年間		680円	420円	1,000円	3,280円
3年間		1,020円	630円	1,500円	4,920円
4年間		1,360円	840円	2,000円	—
5年間		1,700円	1,050円	2,500円	—
6年間		2,040円	1,260円	3,000円	—

ウ 学研災付帯学生生活総合保険（略称「付帯学総」）

（ア）概要

付帯学総は、学研災及び付帯賠償では補償が不足と思われる場合に、学研災の加入者が学研災に加えて任意に加入できる保険です。疾病やプライベートの時間の事故も含めて24時間対応が可能であり、学生生活を幅広く補償します。

補償対象については、個人賠償責任、死亡・後遺障害、治療費用、救援者費用の基本補償に、感染予防費用（医療関連学部学科のみ加入可）、育英費用、学資費用、生活用動産、借家人賠償責任及び天災危険補償特約を組み合わせた加入プランから選択できます。

また、24時間365日、電話で各種医療に関する相談に応じるメディカルアシストが自動セットされます。

（イ）補償の対象となる範囲及び保険金の種類

① 個人賠償責任

国内外で学生本人が偶然な事故により他人にケガを負わせた場合、国内で他人から借りた物や預かったもの（受託品）を損壊した場合等において、法律上の損害賠償責任を負ったとき、保険金が支払われます。

インターンシップやアルバイト中の加害事故も補償されます。ただし、それ以外の

職務の遂行に起因する事故は補償対象外です。また、自動車及びバイク（原動機付自転車を含む）での事故は補償対象外です。

② 死亡・後遺障害

国内外で学生本人が急激かつ偶然な外来の事故により、事故の日から180日以内に死亡又は後遺障害を被った場合に、保険金が支払われます。ただし、教育研究活動中の事故による場合は、付帯学総では対象とならず、学研災普通保険の補償対象となります。

③ 治療費用

国内で学生本人が急激かつ偶然な外来の事故によるケガ、又は疾病を被り、国内で1日以上通院又は入院した場合、健康保険等の自己負担分が保険金として支払われます。ただし、歯科疾病治療のための通院、精神障害による入通院、痔核・烈肛等による入通院は補償対象外です。

④ 救援者費用等

国内外で学生本人が保険期間中に住宅外においてケガ又は病気で3日以上入院した場合に親族等が駆けつけたときなどにおいて、親族等が負担した交通費（2名分各1往復限度）・宿泊料（2名分各14日限度）等が支払われます。

⑤ 感染予防費用（医学生向け）

国内外で臨床実習中の事故における感染症に係る接触感染（針刺し事故に限らない）や臨床実習開始後の院内感染時に予防措置のため負担した費用の実費が支払われます。なお、公的医療保険制度の給付の対象となる費用を除きます。

⑥ 育英費用

国内外で扶養者が急激かつ偶然な外来の事故によって死亡した場合や重度後遺障害を被った場合において、学生を扶養できなくなったときに、保険金全額が一度に支払われます。

⑦ 学資費用

国内外で扶養者が事故によって死亡した場合や重度後遺障害を被った場合、疾病により死亡した場合において、学生を扶養できなくなったときに、学生が負担した学資費用（授業料等）の実額を支払年度ごとに保険金額を限度として支払われます。

⑧ 生活用動産保険金（一人暮らし学生用）

国内で学生本人が所有する生活用動産（家財）が火災や盗難等の偶然的事故で損害を受けた場合に保険金が支払われます。

⑨ 借家人賠償責任保険金（一人暮らし学生用）

火災や水漏れ破損等の偶然的事故により借戸室を損壊したために、家主に対して法律上の損害賠償責任を負った場合の実費が保険金額を限度として支払われます。

(ウ) 保険金額と保険料

本保険は、原則として入学時に卒業予定年次までの期間で加入することとなります。記載の保険料は、全国での加入者数が10,000人以上、天災危険補償特約あり、保険期間4年間（一時払）、職種級別 A（継続的に職業に従事していない学生など）、の場合の例です。

（2021年4月1日以降始期用）

区 分		自宅生用			一人暮らし学生用		
		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	Eタイプ	Fタイプ
保 険 金 額	個人賠償責任	支払限度額:対人・対物1億円限度(自己負担額0円) (情報機器内のデータ損壊は1 事故500 万円限度)					
	死亡・後遺障害(ケガ)	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
	治療費用	(ケガ・病気とも対象)治療費用実費 支払対象期間は、通院又は入院を開始した日からその日を含めて60日を経過した日の属する月の末日まで					
	救援者費用等	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
	感染予防費用	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円
	育英費用(ケガ)	100万円	100万円	対象外	100万円	100万円	対象外
	学資費用(ケガ)	50万円	50万円		50万円	50万円	
	学資費用(病気)	50万円	対象外		50万円	対象外	
	生活用動産	対象外	対象外	対象外	50万円	50万円	50万円
	借家人賠償責任				300万円	300万円	300万円
保険料(4年間)		56,700円	41,310円	36,880円	62,690円	47,300円	42,870円

エ 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（略称「インバウンド付帯学総」）

(ア) 概要

インバウンド付帯学総は、近年の外国人留学生数の増加に伴って寄せられた多くの学校からの要請を踏まえ、学研災に加入している外国人留学生（インバウンド留学生）が、より安心して日本での留学生活を送れるよう、平成29年に創設されました。

インバウンド付帯学総の補償内容は、感染予防費用、育英費用、学資費用を除き、これまでの付帯学総と同様、学生生活を24時間補償し、ケガや病気の治療費用実費の補償などを盛り込んでおり、保険期間は留学期間に合わせ、「月単位」で設定できます。

(イ) 保険金額と保険料

区 分		留学期間3か月超の留学生用						留学期間3か月以内の留学生用		
		3か月超用			短期・長期兼用			短期用		
		充実タイプ	救援者不担保	賠償不担保	治療費不担保	賠償のみ	救援者のみ	ケガ補償	ケガ・賠償	ケガ・救援者
保 険 金 額	個人賠償責任	1億円	1億円		1億円	1億円		1億円	1億円	
	死亡・後遺障害(ケガ)	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
	入院・通院(ケガ)	実費						入院日額 5,000円 通院日額 3,000円		
	入院・通院(病気)									
	救援者費用	300万円		300万円	300万円		300万円	300万円		300万円
保 険 料	保険期間1か月まで				460円	390円	280円	2,240円	2,170円	2,060円
	2か月まで				660円	560円	400円	3,170円	3,070円	2,910円
	3か月まで				840円	710円	510円	4,060円	3,930円	3,730円
	4か月まで	6,330円	6,170円	5,930円	1,030円	870円	630円			
	5か月まで	7,480円	7,300円	7,010円	1,210円	1,030円	740円			
	6か月まで	8,060円	7,860円	7,550円	1,310円	1,110円	800円			
	7か月まで	8,630円	8,420円	8,080円	1,400円	1,190円	850円			
	8か月まで	9,200円	8,970円	8,620円	1,490円	1,260円	910円			
	9か月まで	9,780円	9,540円	9,160円	1,590円	1,350円	970円			
	10か月まで	10,360円	10,110円	9,700円	1,680円	1,430円	1,020円			
	11か月まで	10,930円	10,660円	10,240円	1,770円	1,500円	1,080円			
	1年間	11,500円	11,220円	10,770円	1,860円	1,580円	1,130円			
	2年間	20,130円	19,640円	18,850円	3,260円	2,770円	1,980円			
	3年間	28,780円	28,070円	26,950円	4,680円	3,970円	2,850円			
	4年間	37,410円	36,490円	35,030円	6,080円	5,160円	3,700円			

オ 学研災付帯海外留学保険(略称「付帯海学」)

(ア) 概要

付帯海学は、全国の大学からの多くの要請を受けて、海外派遣留学生向けの制度として、平成27年6月に創設されました。この保険は、一定の要件に該当する留学において派遣留学生全員を対象とする制度です。保険加入対象となる学生は、学研災に加入している学生で、留学の定義は、単位認定する留学プログラムや、学校が承認した留学等、学校もしくは学部等を対象に、事前に定められます(学校が関与しない留学は対象外)。

(イ) 補償の対象となる範囲及び保険金の種類

① 傷害死亡保険金

留学先での急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合に支払われます。

② 傷害後遺障害保険金

留学先での急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じた場合に支払われます。

③ 治療・救援費用等保険金

留学先での急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、医師の治療を受けた場合などの治療費用部分、3日以上入院した場合などの救援費用部分に支払われます。

④ 疾病死亡保険金

留学先で病気で死亡した場合、海外旅行開始後に発病した病気により、30日以内に死亡した場合などに支払われます。

⑤ 携行品損害保険金

留学先で携行品が盗難・破損等の偶然な事故にあつて損害を受けた場合に支払われます。

⑥ 賠償責任保険金(保険期間31日まで)、留学生賠償責任保険金(保険期間31日超)

海外旅行中に他人にケガを負わせた場合、他人の物に損害を与えて、法律上の損害賠償責任を負った場合などに支払われます。

⑦ 航空機寄託手荷物保険金

航空機搭乗時に寄託した手荷物が、目的地に到着後6時間以内に運搬されなかった場合において、到着から96時間以内に衣類、生活必需品等の購入費の負担を余儀なくされたときに支払われます。

⑧ 航空機遅延保険金

搭乗予定航空機の6時間以上の出発遅延、欠航、運休等、又は着陸地変更により、出発予定時刻から6時間以内に代替機を利用できなかった場合や搭乗航空機の遅延等により、乗継航空機に搭乗できず、乗継地への到着時刻から6時間以内に代替機を利用できなかった場合に支払われます。

(ウ) 保険金額と保険料

保険期間は渡航期間に合わせ、1日から設定可能です。また、保険金は、学研災で保険金が支払われた場合でも、付帯海学から別途支払われます。

記載の保険料は、2021年6月1日以降始期契約分に適用される保険料の例です。

区 分		基本プラン	拡充プラン
保険金額	傷害死亡	300万円	1,000万円
	傷害後遺障害	300万円	1,000万円
	治療・救援費用	5,000万円	1億円
	疾病死亡	300万円	1,000万円
	携行品損害	10万円	20万円
	賠償責任、留学生賠償責任	1億円	1億円
	航空機寄託手荷物	—	3万円
	航空機遅延	—	付帯有り
保険料	7日まで	2,520円	3,450円
	14日まで	4,050円	5,310円
	31日まで	6,280円	8,220円
	3か月まで	17,530円	21,130円
	6か月まで	39,550円	46,800円
	1年間まで	83,680円	98,330円

(3) 加入状況

ア 賛助会員校

学研災では、2020年度末現在、学校総数1,186校の内、1,089校(91.8%)が賛助会員となっています。賛助会員校数並びに各種特約及び保険の取扱状況等の推移は、表2及び図1のとおりです。

表2 賛助会員校数等の推移

年度	大学総数 (校)	賛助会員 校数(校)	加盟率 (%)	取扱校数(校)					
				通学特約	接触感染特約	付帯賠償	付帯学総	インバウンド 付帯学総	付帯海学
2016年度	1,129	1,086	96.2	1,038	293	1,048	757	—	285
2017年度	1,128	1,085	96.2	1,040	299	1,046	791	221	321
2018年度	1,124	1,082	96.3	1,044	320	1,042	771	271	403
2019年度	1,122	1,078	96.1	1,042	325	1,038	789	306	439
2020年度	1,186	1,089	91.8	1,054	343	1,049	796	327	487

加盟率(%) = 賛助会員校数(校) ÷ 大学総数(校) × 100

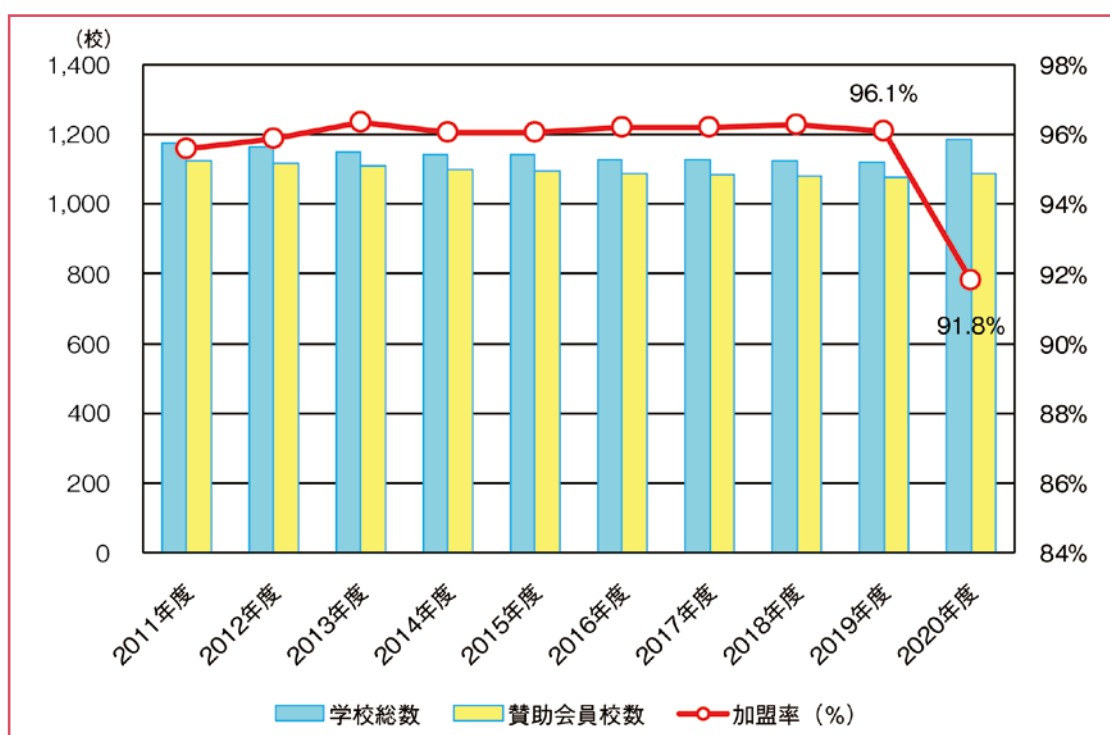


図1 賛助会員校数等の推移

イ 加入学生数

2020年度末現在、学研災普通保険には全学生数のうち約278万人(84.0%)の学生が、学研災通学特約には約242万人の学生が加入しています。加入学生数等の推移は、表3及び図2のとおりです。

表3 加入学生数等の推移

年度	全学生数 (千人)	学研災普通保険 加入学生数 (千人)	加入率 (%)	加入学生数(千人)					
				通学特約	接触感染特約	付帯賠償	付帯学総	インバウンド 付帯学総	付帯海学
2016年度	3,246	2,793	86.1	2,385	240	1,351	183	—	20
2017年度	3,255	2,800	86.0	2,416	246	1,420	189	5	31
2018年度	3,268	2,811	86.0	2,426	253	1,473	194	12	43
2019年度	3,269	2,821	86.3	2,444	262	1,525	205	17	51
2020年度	3,312	2,783	84.0	2,417	280	1,502	216	17	7

加入率(%)= 学研災普通保険加入学生数(人)÷ 全学生数(人)×100

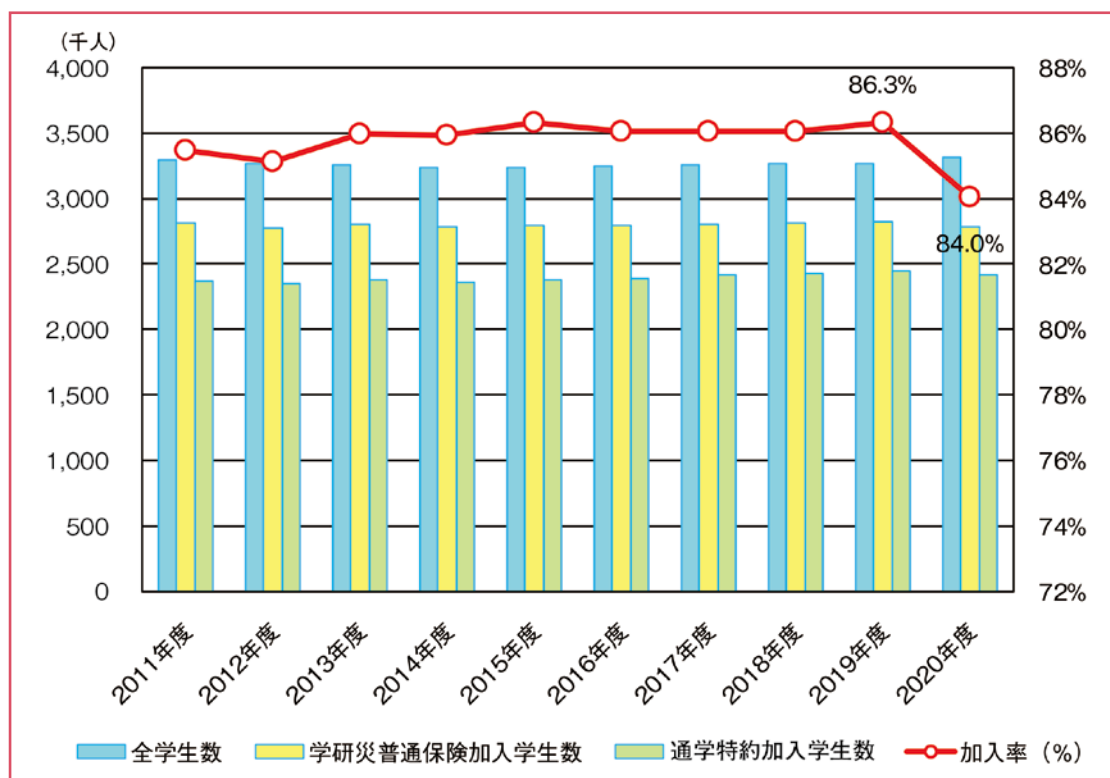


図2 加入学生数等の推移

2020年度の賛助会員校の加盟率は、2019年度の96.1%から4.3ポイント減少し91.8%に、2020年度の学生の加入率は2019年度の86.3%から2.3ポイント減少し84.0%になっています。これは、学研災約款の改定により、2020年4月から高等専門学校が加盟できるようになり、校数や学生数に高等専門学校分が追加され、加盟率や加入率の分母となる学校総数や全学生数が増えたことによるものです。

2 保険金支払状況からみた事故の概況

次に、保険金支払いにかかわる事故等の統計を基に、近年の事故の傾向を分析していきます（接触感染については事故事例のみ記載しています）。

(1) 分析対象と分析資料等について

ア 分析対象

本分析は、2016年度から2020年度までに保険金が支払われた事故を対象としています。学研災では、教育研究活動中に該当しない場合の事故（保険金が支払われない事故）は集計されていないため、学生がかかわる全ての事故を対象としているわけではありません。加えて、通学中に事故が発生した場合においても、通学特約に加入していないときには保険金が支払われないので、当該事故は通学中の事故としては集計されません。

イ 分析資料

分析に際しては、被保険者から提出された保険金請求書を1次資料としています。

なお、保険金請求書に記載がない場合や錯誤による誤記があると認められる場合には、保険会社作成資料（審査資料、保険金支払記録等）を参照しつつ、一部修正している部分があります。

ウ 事故の件数

統計データの作成に際しては、当該年度に発生した事故ではなく、当該年度に保険金が支払われた事故を対象としているため、事故の件数については、「事故発生件数」ではなく、「（保険金）支払件数」又は「事故件数」という用語を使用しています。

このとき、死亡保険金支払件数の合計は、死亡事故件数の合計と一致しますが、保険金支払件数の合計は、1つの事故（事故件数1）に対して複数の保険金種が支払われる場合があるため、事故件数の合計を上回ることになります（例えば、1件の死亡事故が発生した場合、事故件数としては1件ですが、死亡前に入院しているときには入院加算金と死亡保険金の2種類の保険金が支払われるため保険金支払件数は2件になります）。

また、接触感染特約の支払件数は、医療保険金の支払件数に含めています。

エ 競技種目、傷害部位、傷害種別の集計

競技種目、傷害部位及び傷害種別を集計する場合において、保険金請求書及び保険会社作成資料に記載がないとき又は特定ができないときには、不明として扱い、集計から除いているものがあります。

また、1つの事故（事故件数1）において、分類項目に対する要素が複数になる場合には、それらの合計は事故件数の合計を超えることがあります（例えば、1つの事故で複数の部位に傷害を受けた場合には、傷害部位や傷害種別などが複数になります）。

オ 統計処理

表の数値については、表記以下を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の合計が一致しない場合があります。

同様に、図の数値においても表記以下を四捨五入しているため、円グラフ等の合計の値が100%未満となる場合や100%を超える場合があります。また、円グラフで数値が小さいため表示できない場合等において、数値やカテゴリーの記載を省略しているものもあります。

カ 統計データの分類

統計データを分類する際には、原則として保険金支払対象区分によって分類していますが、学研災及び付帯賠償では活動形態による区分を、付帯学総、インバウンド付帯学総及び付帯海学では保険金種による区分を主に用いています。

(2)学研災における保険金支払状況

ア 事故件数の推移と全般的な傾向

2016年度から2020年度までに学研災の保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別（活動形態別）の事故件数及び支払保険金額を表4、事故件数及び支払保険金額の推移を図3－①及び図3－②、保険金支払対象区分別（活動形態別）の事故件数及び支払保険金額の平均の比率を図3－③及び図3－④に示しています。

また、事故率を学研災普通保険加入学生1,000人あたりの事故件数（ただし、通学中・学校施設間移動中については通学特約加入学生1,000人あたりの事故件数）として、活動形態別及び年度の合計の事故率の推移を図3－⑤に示しています。

表4 保険金支払対象区分別（活動形態別）の事故件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分（活動形態）		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
正課中	体育実技中	1,931	104.0	1,970	45.3	1,891	69.0	1,998	46.1	849	59.7
	理科系の実験中	537	26.2	571	13.7	580	38.1	573	9.5	391	10.0
	医療系の実習中	168	2.1	183	2.4	193	4.7	197	5.9	124	1.3
	その他	908	95.8	878	89.5	900	17.3	896	38.7	573	22.7
学校行事中		441	37.9	438	81.0	458	16.8	438	14.8	120	5.7
学校施設内		294	28.4	271	47.6	556	34.9	633	39.4	301	49.4
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	8,382	494.9	9,103	597.9	9,323	596.3	9,958	616.3	5,702	338.4
	学校施設外	2,708	255.1	2,809	278.4	2,791	283.5	2,730	272.1	1,569	181.1
通学中		1,685	297.6	1,660	334.6	1,750	350.0	1,597	259.8	915	246.6
学校施設間移動中		25	6.9	31	11.6	27	6.2	17	5.5	8	2.7
計		17,079	1,348.8	17,914	1,501.8	18,469	1,416.7	19,037	1,308.1	10,552	917.7

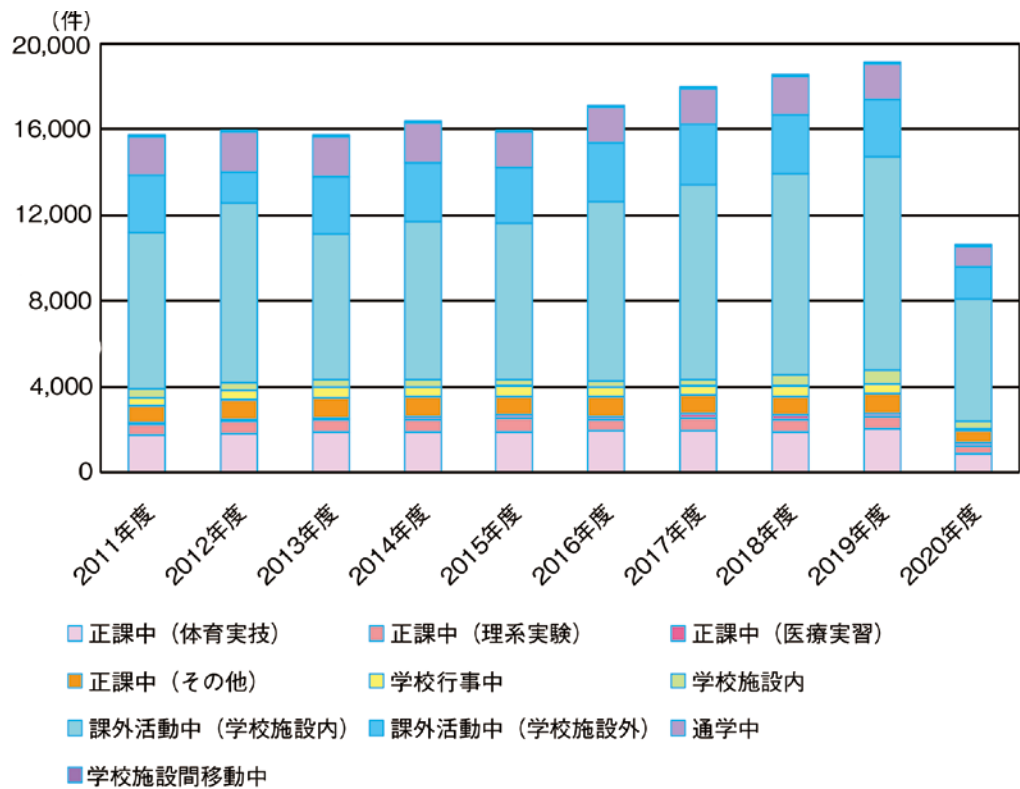


図 3 - ① 事故件数の推移

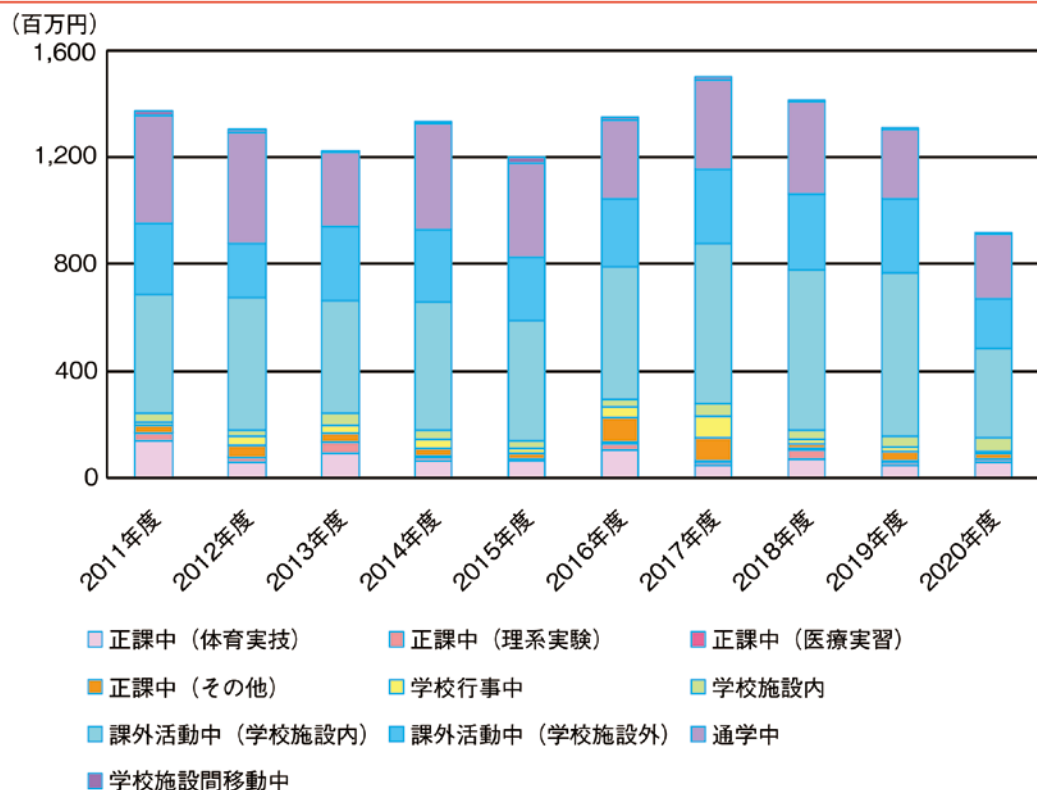


図 3 - ② 支払保険金額の推移

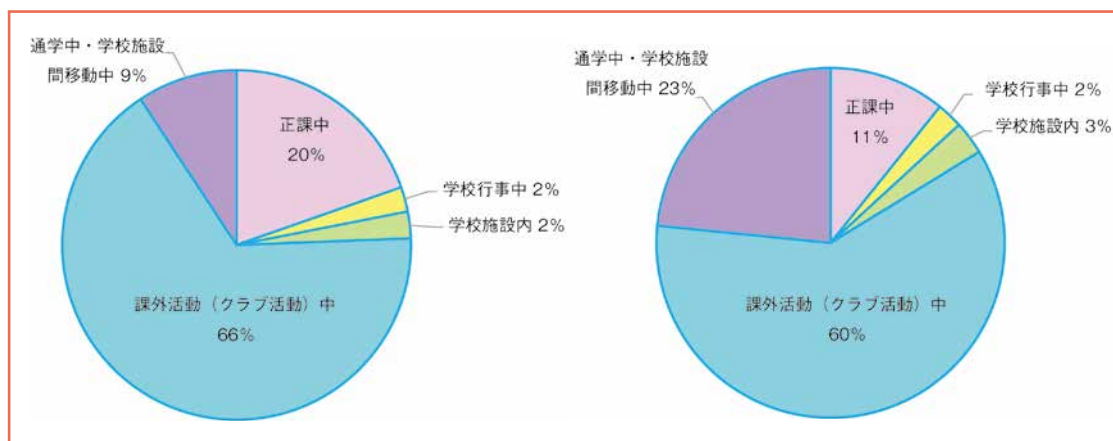


図 3-③ 事故件数の平均の比率

図 3-④ 支払保険金額の平均の比率

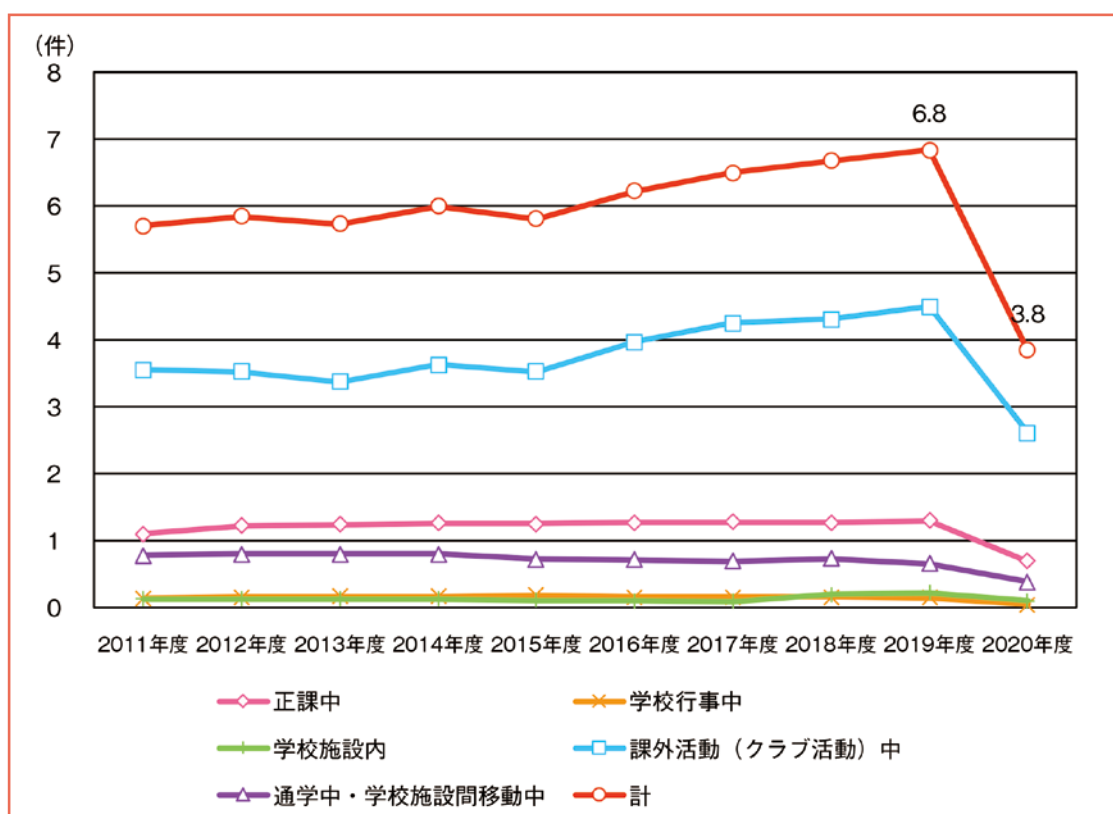


図 3-⑤ 事故率の推移

事故件数は、2016年度の1万7千件から2019年度の1万9千件までは毎年3～5%の増加となっていました。2020年度は10,552件で2019年度から45%減少しています。

2016年度から2019年度までの4年間の平均は18,125件でしたので、この平均と比較しても42%減少しています。なお、2011年から2015年までの5年間は1万6千件前後で推移しており、その平均は15,911件でした。

事故率も2016年度から2019年度まで毎年増加しており、その4年間の平均は加入学生1,000人あたり年間6.6件となっていました。2020年度は2019年度の6.8件から大きく減少した3.8件でした。

一方、2016年度から2019年度までの支払保険金額については、13億円から15億円まで幅をもって推移しており、その平均は13億9千万円となっていましたが、2020年度は2019年度から30%減少した9億2千万円でした。

2011年度から2015年度までの5年間は平均12億9千万円で、12億円から13億8千万円の間で推移していたことと比較すると、2016年度から2019年度までの4年間は、事故件数の増加によって支払保険金額も増加してはいますが、事故件数が単調に増加する傾向を示していたのに対して、支払保険金額は2011年度から2015年度までと同じように、ある程度の幅をもって増減を繰り返しています。

しかしながら、2020年度の支払保険金額9億2千万円は前年度比70%でしたので、前年度比92%から112%で推移していた2016年度から2019年度までの増減の幅とは異なる、大きな減少であったと言えます。

次に、保険金支払対象区分別（活動形態別）に見てみると、年度によって多少の差異はありますが、課外活動（クラブ活動）中の事故が多く、事故件数で66%、支払保険金額で60%を占めています。2011年度から2015年度までと比較してみると、事故件数の平均においては、通学中・学校施設間移動中の事故が減少し、課外活動（クラブ活動）中の事故が増加しています。そして、支払保険金額においては、通学中・学校施設間移動中が減少し、課外活動（クラブ活動）中が増加しており、事故件数と同じ傾向を示しています。

事故件数の多い活動形態の中で、2016年度から2019年度までの正課中と通学中・学校施設間移動中の事故率は、正課中はやや増加傾向、通学中・学校施設間移動中はやや減少傾向にありますが、それほど大きな変化はしていません。一方、課外活動（クラブ活動）中の事故率は年々増加しており、その中でも特に学校施設内での課外活動（クラブ活動）中の事故率が大きく伸びています。そして、2020年度の事故率は、全ての活動形態で減少しています。

また、事故件数としては少ないものの学校施設内・その他の事故件数（事故率）が2016年度や2017年度と比較して、2018年度や2019年度に倍増しているのは、学研災約款の改定により、2018年4月から学校施設内（課外活動は除く）の補償範囲を拡大（治療日数14日以上）の補償から4日以上）の補償に変更したことの影響によるものと思われます。

なお、支払保険金額に関しては、加入している保険のタイプによって支払保険金額が異なること、並びに、医療保険金の支払いにおいては、正課中や学校行事中では治療日数が1

日から対象となるのに対して、通学中・学校施設間移動中では治療日数が4日以上から対象となること、及び課外活動(クラブ活動)中では治療日数が14日以上から対象となることを考慮しなければなりません(入院加算金は保険のコースや保険金支払対象区分(活動形態)にかかわらず同等に入院1日から支払い)。

そのために単純に比較することはできませんが、件数で20%、支払保険金額で11%を占める正課中の事故よりも、件数で9%、支払保険金額で24%を占める通学中・学校施設間移動中の事故の方が、重篤な事故に繋がっていると言えます。

イ 男女別の事故の傾向

次に、男女別の事故の傾向について検討します。

2016年度から2020年度までの男女別の事故件数を表5、活動形態別の事故件数の男女比率を図4-①に示します。また、活動形態別の支払保険金額の男女比率を図4-②に示します。

表5 男女別の事故件数(単位:件)

保険金支払対象区分(活動形態)		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
正課中	体育実技中	963	968	947	1,023	915	976	974	1,024	391	458
	理科系の実験中	287	250	299	272	304	276	281	292	213	178
	医療系の実習中	57	111	62	121	69	124	61	136	48	76
	その他	252	656	243	635	278	622	256	640	122	451
学校行事中		220	221	221	217	202	256	201	237	66	54
学校施設内		177	117	157	114	285	271	339	294	152	149
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	7,209	1,173	7,914	1,189	8,104	1,219	8,674	1,284	4,923	779
	学校施設外	2,154	554	2,273	536	2,257	534	2,199	531	1,220	349
通学中		874	811	847	813	872	878	839	758	502	413
学校施設間移動中		15	10	21	10	19	8	8	9	4	4
計		12,208	4,871	12,984	4,930	13,305	5,164	13,832	5,205	7,641	2,911

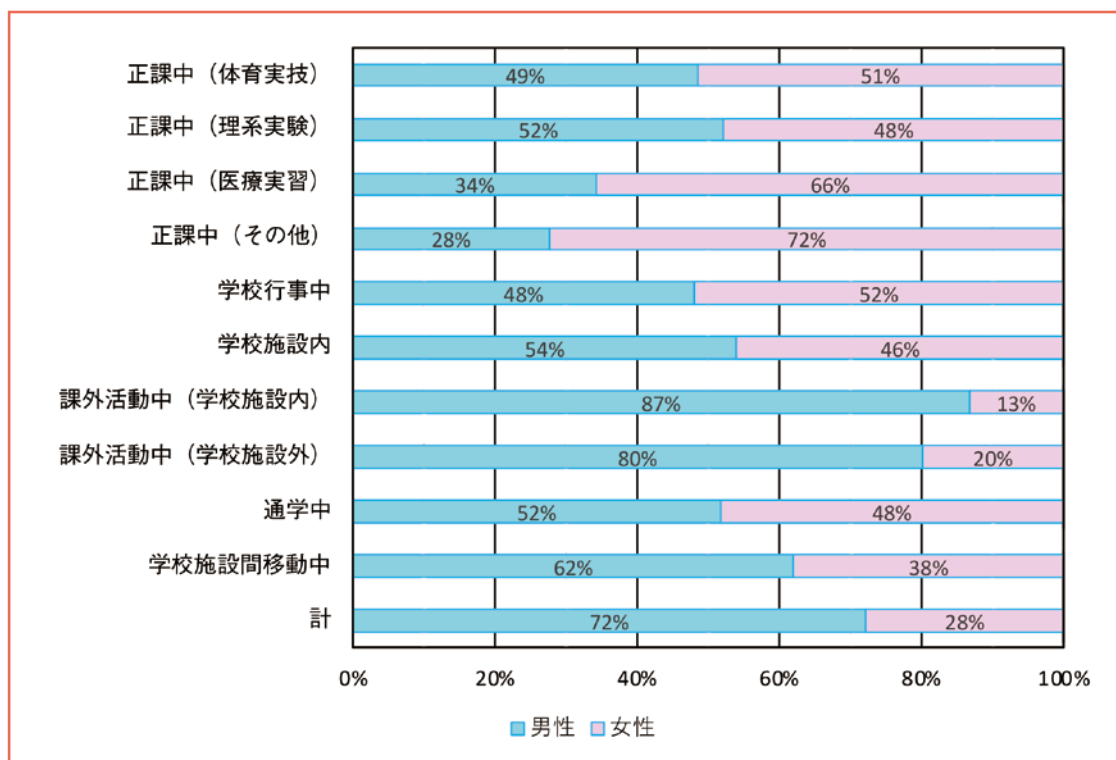


図 4－① 活動形態別の事故件数の男女比率

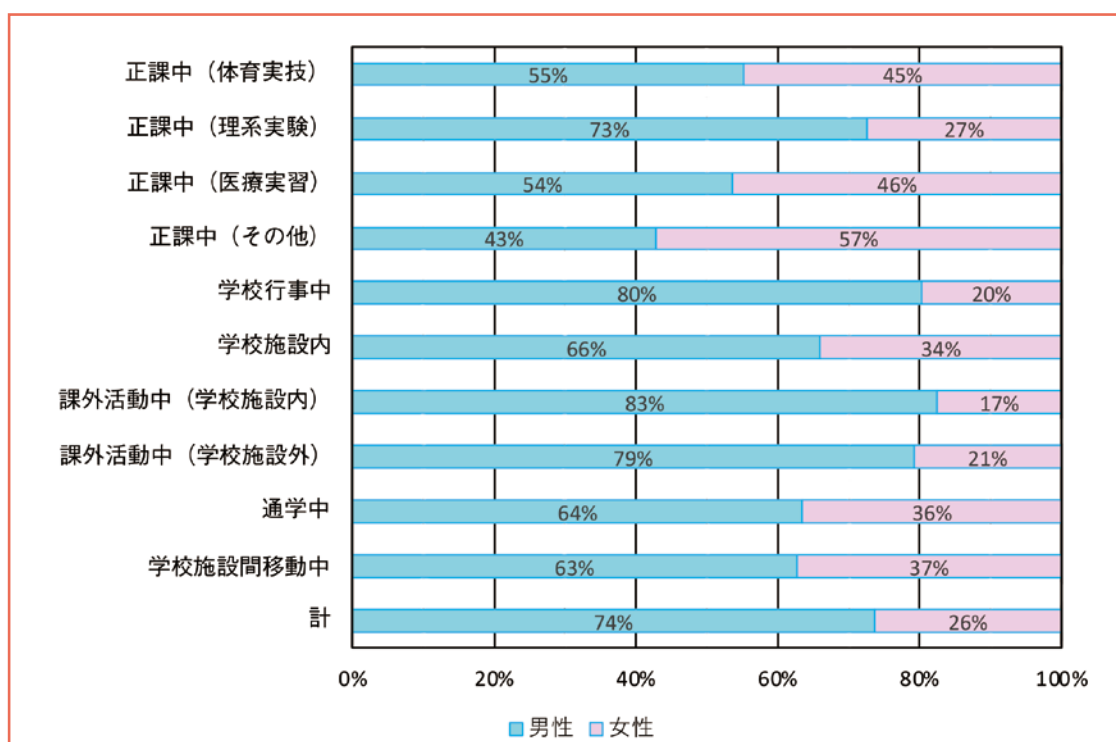


図 4－② 活動形態別の支払保険金額の男女比率

事故件数に関しては、合計における男女比率は、男性72%、女性28%となっており、男性の事故が女性と比べ2.6倍多くなっています。

これを、保険金支払対象区分別(活動形態別)に見てみると、正課中の体育実技(49%:

51%)や理系実験(52%:48%)、学校行事中(48%:52%)、学校施設内(54%:46%)及び通学中(52%:48%)の事故においては、それほど大きな男女差はありません。また、正課中の医療実習(34%:66%)やその他(28%:72%)の事故では女性の比率が高くなっています。他方、学校施設内外での課外活動(クラブ活動)中の事故は85%:15%となっており、男性の事故件数が女性と比べ5.8倍と圧倒的に多くなっています。

支払保険金額における男女比率については、課外活動(クラブ活動)中(81%:19%)及び合計(74%:26%)は、事故件数における男女比率と同じ傾向にあります。しかしながら、正課中の理系実験(73%:27%)や医療実習(54%:46%)、学校行事中(80%:20%)、学校施設内(66%:34%)及び通学中(64%:36%)では、事故件数における比率以上に、男性が高い比率を占めています。このことから、これらの活動形態においては、女性よりも男性の方が、より大きな事故に遭っていると言えそうです。

また、2011年から2015年までと比較してみると、事故件数の男女比率は概ね同じ傾向を示していますが、支払保険金額は、男性では正課中の医療実習、学校行事中の事故で、女性では正課中の体育実技や理系実験での事故で比率が高くなっていました。

次に、男性女性それぞれの活動形態別の事故件数の比率を図4-③に、支払保険金額の比率を図4-④に示しています。

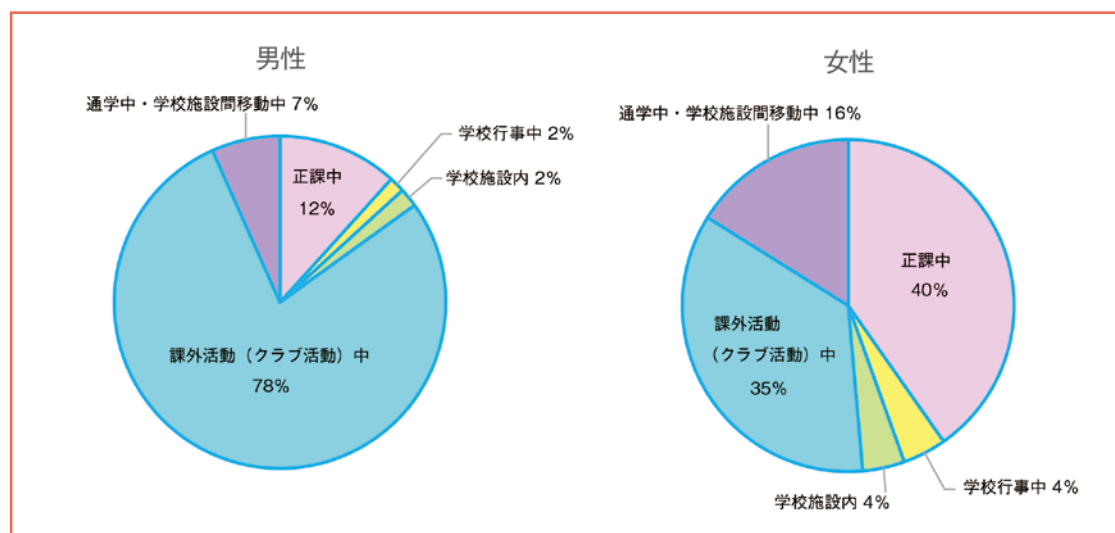


図4-③ 活動形態別の事故件数の比率

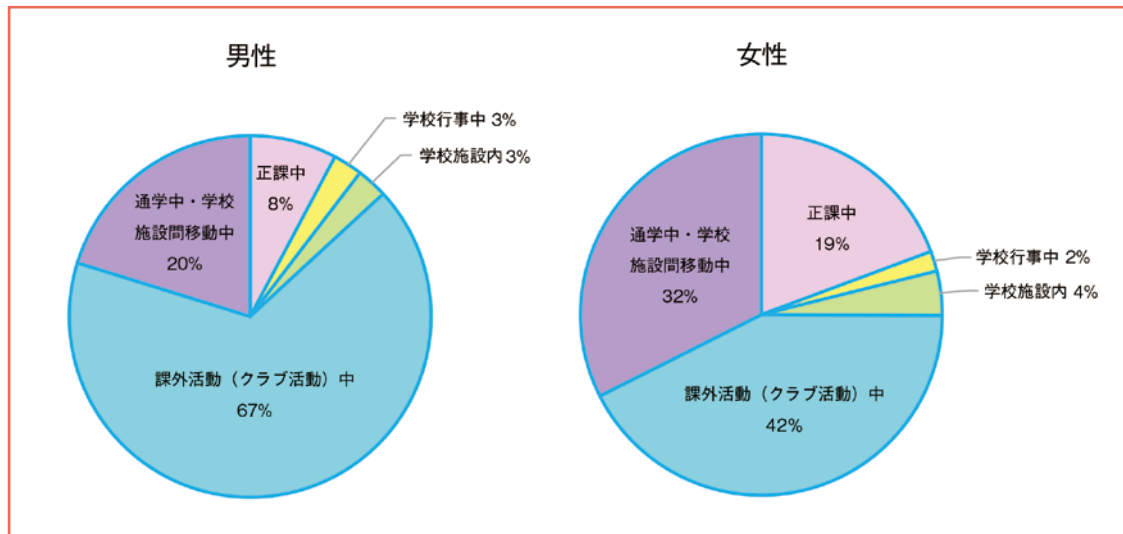


図 4-④ 活動形態別の支払保険金額の比率

活動形態別の事故件数の比率は、男性が正課中12%(体育実技7%、理系実験2%、医療実習0.5%、その他2%)、学校行事中2%、学校施設内・その他2%、課外活動(クラブ活動)中78%(学校施設内61%、学校施設外17%)、通学中・学校施設間移動中7%、女性が正課中40%(体育実技19%、理系実験5%、医療実習2%、その他13%)、学校行事中4%、学校施設内・その他4%、課外活動(クラブ活動)中35%(学校施設内24%、学校施設外11%)、通学中・学校施設間移動中16%となっています。

男性では課外活動(クラブ活動)中の事故の比率が78%と圧倒的に多くなっています。一方、女性では課外活動(クラブ活動)中以外での事故の比率が男性の2倍以上になっており、その中でも特に正課中の比率が高くなっています。

活動形態別の支払保険金額の比率は、男性が正課中8%(体育実技4%、理系実験1.5%、医療実習0.2%、その他2%)、学校行事中3%、学校施設内・その他3%、課外活動(クラブ活動)中67%(学校施設内46%、学校施設外21%)、通学中・学校施設間移動中20%、女性が正課中19%(体育実技8%、理系実験2%、医療実習0.4%、その他9%)、学校行事中2%、学校施設内・その他4%、課外活動(クラブ活動)中43%(学校施設内27%、学校施設外16%)、通学中・学校施設間移動中32%となっています。

男性は課外活動(クラブ活動)中の事故の比率が67%にとどまり、通学中の比率が高くなっています。一方、女性は、事故件数での比率が高かった正課中の事故の比率が20%にとどまり、男性と同様に通学中の比率が高くなっています。男性女性ともに通学中の事故が重篤な事故に繋がっていると言えます。

ウ 月別の事故の傾向

2016年度から2019年度までの4年間の月別の事故件数の平均を表6及び図5－①に、月別の事故件数の平均の比率を図5－②に示しています。

表6 月別の事故件数の平均(単位:件)

保険金支払対象区分(活動形態)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
正課中	体育実技中	145	310	335	233	16	48	228	258	203	105	61	7
	理科系の実験中	42	62	70	56	39	45	72	59	49	30	23	20
	医療系の実習中	13	20	26	17	8	12	21	22	14	12	15	7
	その他	51	84	126	99	83	91	91	87	64	43	54	25
学校行事中		50	69	43	23	22	18	83	85	17	6	18	11
学校施設内		54	57	50	52	18	26	54	47	30	31	11	9
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	953	961	889	675	745	990	976	704	355	577	670	696
	学校施設外	199	315	241	143	394	348	294	237	133	66	153	239
通学中		176	207	214	195	64	107	195	176	144	113	49	33
学校施設間移動中		4	5	3	2	1	1	4	2	1	1	1	1
計		1,686	2,090	1,996	1,494	1,388	1,685	2,017	1,677	1,009	982	1,054	1,048

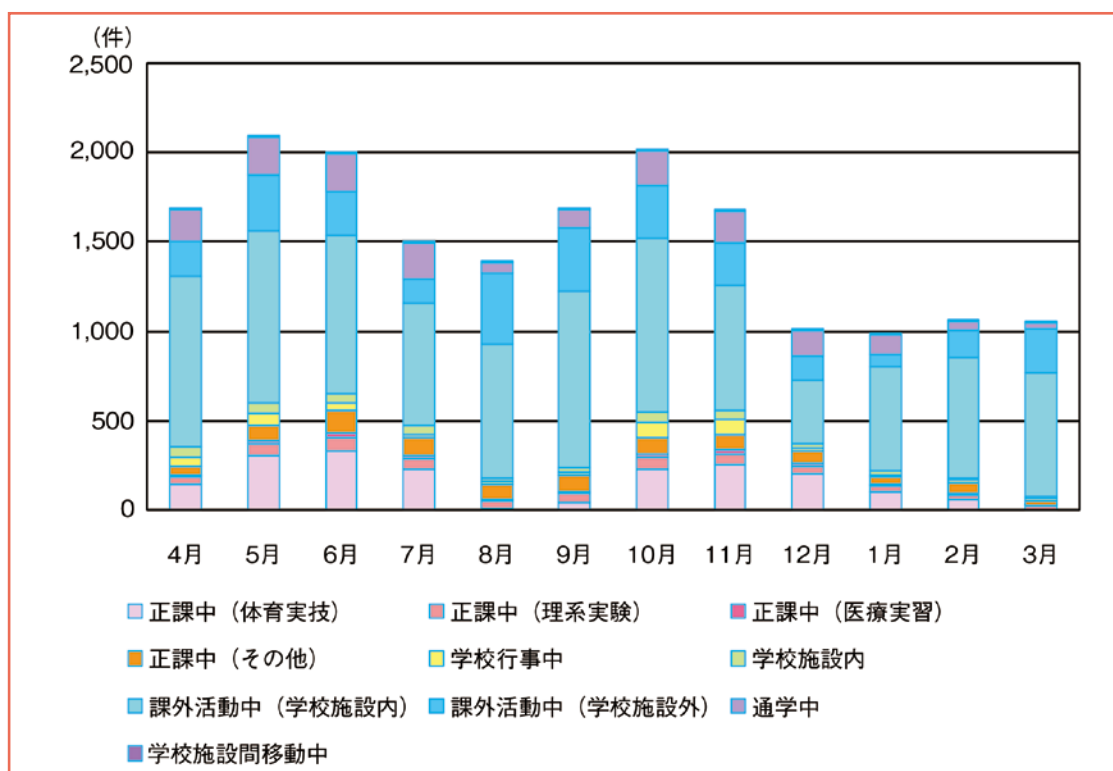


図5－① 月別の事故件数の平均

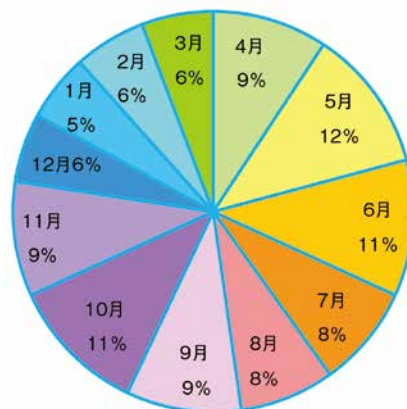


図5-② 月別の事故件数の平均の比率

月別の事故の発生状況は、毎年同じような傾向を示しており、全体的な状況としては、学年歴に一致するような形で、例年5月頃と10月頃に事故件数のピークがあります。

2016年度から2019年度までの4年間の月別の事故件数の平均においても、その前後の月を含めた4月(9.3%)、5月(11.5%)、6月(11.0%)、9月(9.3%)、10月(11.1%)、11月(9.2%)の6カ月で61.5%を占めています。一方、12月(5.6%)、1月(5.4%)、2月(5.8%)、3月(5.8%)は事故の発生が少なく、5月や10月の半分程度になっています。

次に、各月の活動形態別の事故の比率を図5-③に、各活動形態の月別の事故の比率を図5-④に示しています。

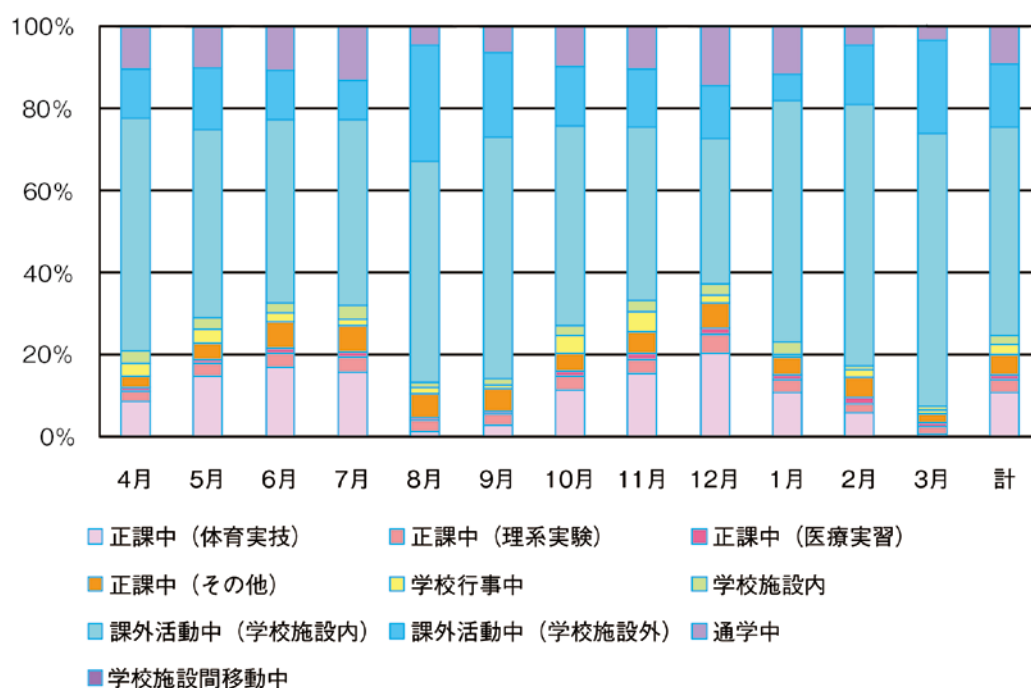


図5-③ 各月の活動形態別の事故の比率

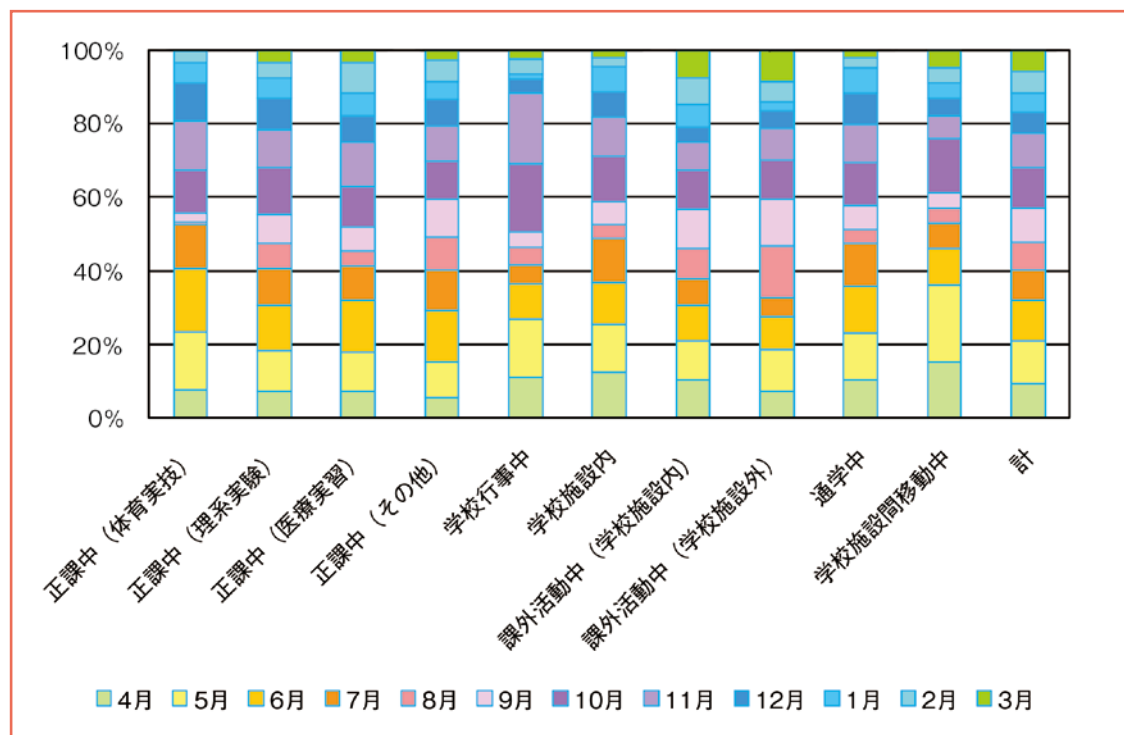


図 5-④ 各活動形態の月別の事故の比率

各月でどの活動形態の事故が多く発生しているかという観点から比較した時に最も特徴的なのは課外活動(クラブ活動)中の事故で、通年では65.9%(学校施設内50.7%、学校施設外15.2%)ですが、8月、9月、2月、3月はそれぞれ82%、79%、78%、89%となっており、3月は通年の1.4倍になっています。夏季休業や春季休業の期間においては、課外活動(クラブ活動)時には事故の予防の観点から注意が必要となります。

通年では、正課中が19.8%(体育実技10.7%、理系実験3.1%、医療実習1.0%、その他4.9%)、学校行事中が2.4%、学校施設内が2.4%となっており、通学中と施設間移動中については、通年で9.4%(通学中9.2%、施設間移動中0.1%)となっています。それぞれ、課外活動中の事故が8割近くを占める8月、9月、2月、3月は低くなっていますが、課外活動中の事故の比率が低くなる7月に学校施設内が3.5%、通学中・施設間移動中が13.2%、11月に学校行事中が5.1%、12月に正課中が32.7%と、通年の1.4倍から2.1倍になっています。

各活動形態ではどの月に事故が多く発生しているかという観点から比較してみると、正課中の事故の中で、4月に8%だった体育実技は、5月16%、6月17%、7月12%と比率が高くなっていますが、8月に1%、9月に3%と低下しています。そして、10月12%、11月13%、12月10%となり、1月5%、2月3%、3月0.3%と低下しています。学校施設内の事故や通学中の事故の事故も同様に、4月から7月は高くなり、8月、9月に低下しますが、その後10月、11月にかけて高まり、1月、2月、3月には再び低下しています。学校行事中の事故は、10月、11月にピークとなりますが、8月、9月、1月、2月、3月が低い傾向は似ています。いずれも、夏季休業となる8月、9月

や春季休業となる2月、3月には、授業や行事が少なく、通学機会が減少することに起因しているものと思われます。

しかしながら、正課中の事故であっても、理系実験や医療実習は、8月、9月、1月、2月、3月に比率が低くなる傾向にはありますが、体育実技や通学中の事故のように2%以下になる月はありません。これを8月、9月、1月、2月、3月に発生した事故件数の比率から比較してみると、体育実技が12%、学校行事中が17%、学校施設内が21%、通学中が22%であったのに対して、理系実験は28%、医療実習は29%となっています。

他方で、8月、9月、1月、2月、3月の比率が高い活動形態としては、課外活動(クラブ活動)中の事故が挙げられ、学校施設内で40%、学校施設外で43%となっています。学校施設外での事故は、他の活動形態では比較的少なくなる8月や9月に多く発生しています。

エ 地域別の事故の傾向

2016年度から2019年度までの4年間の地域別の事故件数の平均を表7-①及び図6-①に、地域別の事故件数の平均の比率を図6-②に示しています。

なお、地域別の事故件数は、表7-②に示す「北海道」、「東北」、「関東」、「中部」、「近畿」、「中国」、「四国」、「九州」の8地域に区分して集計しています。

表7-① 地域別の事故件数の平均(単位:件)

保険金支払対象区分(活動形態)		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
正課中	体育実技中	61	66	726	328	456	114	18	180
	理科系の実験中	25	28	207	82	136	31	19	38
	医療系の実習中	9	9	62	29	26	20	5	26
	その他	44	42	321	130	174	77	17	91
学校行事中		21	26	153	74	84	39	8	40
学校施設内		22	19	131	64	106	3	10	56
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	291	182	4,065	814	2,583	35	54	852
	学校施設外	107	89	1,038	365	751	124	31	254
通学中		46	81	461	277	389	159	73	188
学校施設間移動中		1	3	6	3	7	2	1	3
計		626	545	7,169	2,166	4,712	947	235	1,726

表7-② 地域区分と都道府県

地域区分	都道府県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

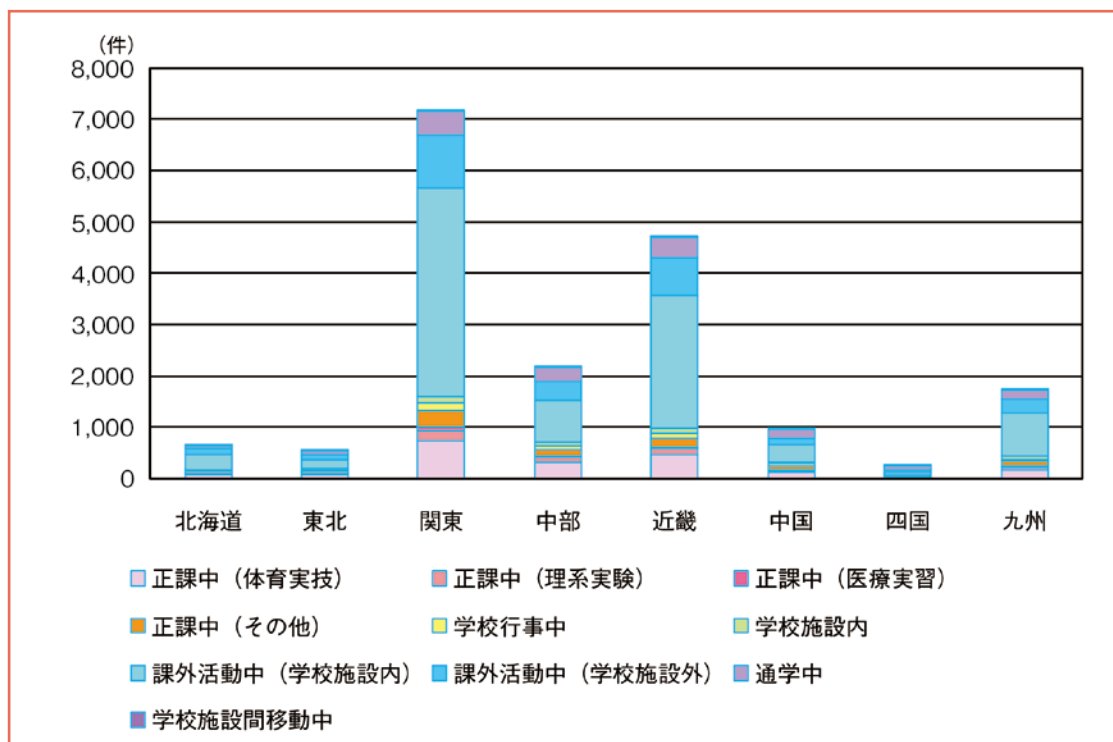


図 6-① 地域別の事故件数の平均

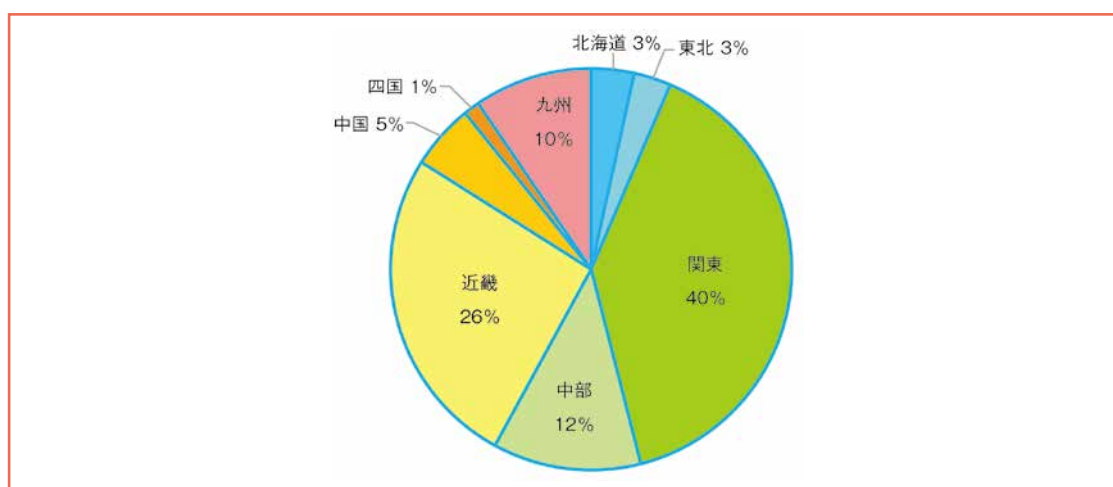


図 6-② 地域別の事故件数の平均の比率

地域別の事故の発生状況は、月別の事故の発生状況と同様に、毎年同じような傾向を示しており、全体的な状況としては、関東、中部、近畿の3地域での事故件数が多くなっています。

2016年度から2019年度までの4年間の月別の事故件数の平均においても、北海道3.5%、東北3.0%、関東39.6%、中部11.9%、近畿26.0%、中国5.2%、四国1.3%、九州9.5%となっており、関東、中部、近畿の3地域で77.5%を占めています。

次に、各地域の活動形態別の事故の比率を図6-③に、各活動形態の地域別の事故の比率を図6-④に示しています。

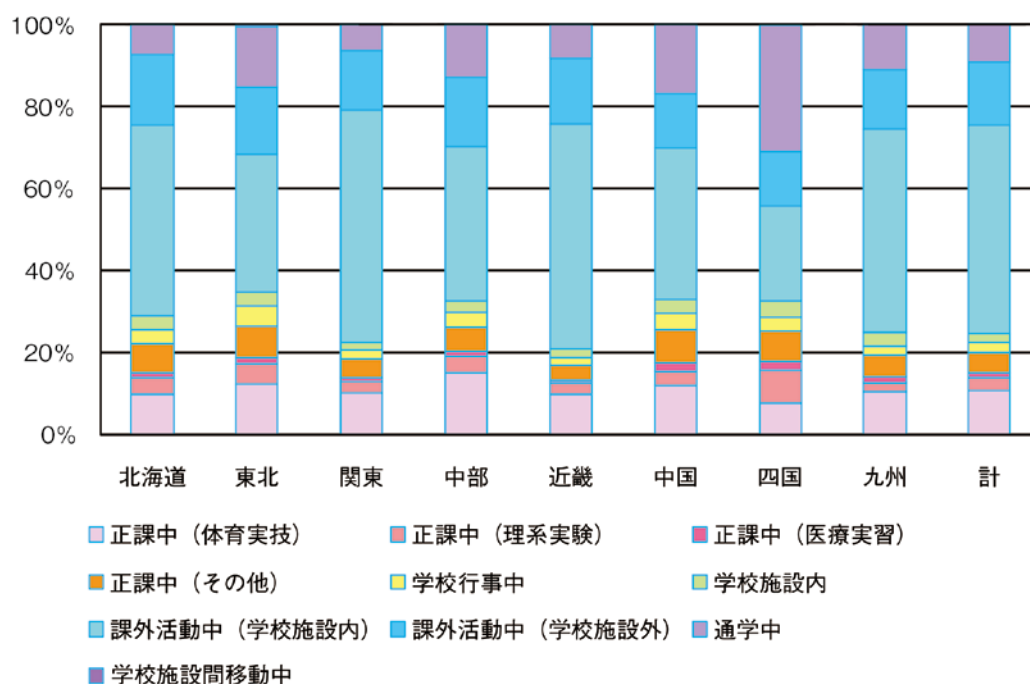


図 6－③ 各地域の活動形態別の事故の比率

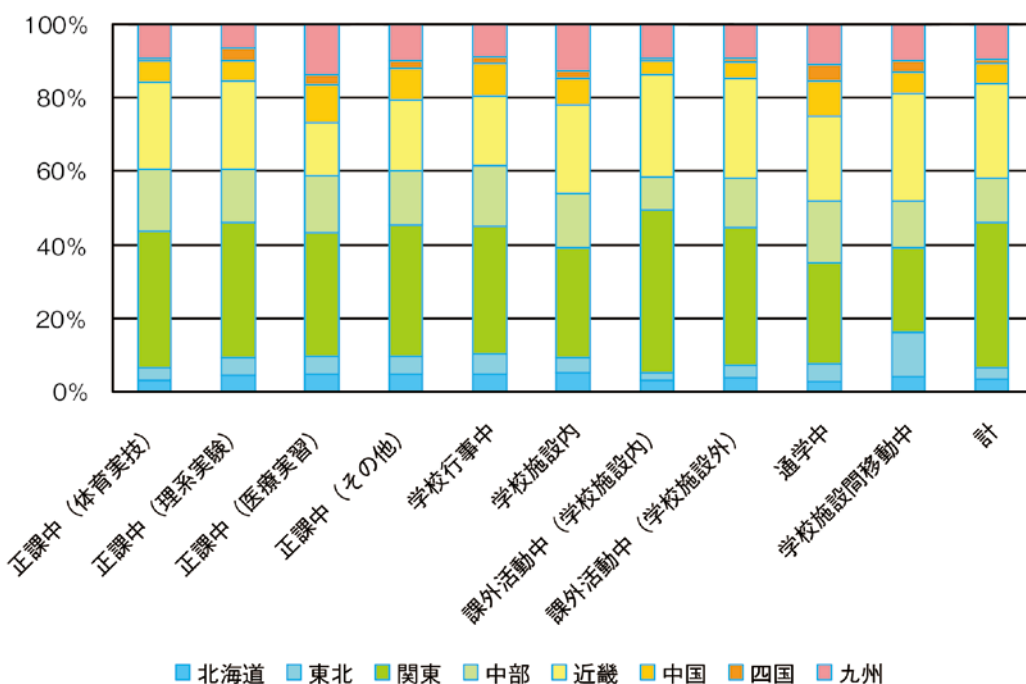


図 6－④ 各活動形態の地域別の事故の比率

各地域でどの活動形態の事故が多く発生しているかという観点から比較した時に最も特徴的なのは通学中の事故で、合計では9%ですが、四国、中国、東北ではその比率がそれぞれ31%、17%、15%と高くなっています。逆に、通学中の事故の比率が低い関東、近畿では、学校施設内での課外活動中の事故の比率がそれぞれ57%、55%と高くなっています。

各活動形態ではどの地域に事故が多く発生しているかという観点から比較してみると、合計で77.5%を占めている関東、中部、近畿の3地域では、課外活動中の事故の割合の計が80%と高くなっていますが、正課中(医療実習)が63%、通学中が67%と低くなっています。そして、正課中(医療実習)では、中国、九州がそれぞれ11%、14%、通学中では、東北、九州がそれぞれ10%、11%と高くなっています。また、課外活動中では、東北、四国がそれぞれ2%、1%と低くなっています。

オ 競技種目別の事故の傾向

2018年度から2019年度までの2年間の体育実技中の事故における競技種目別の事故件数と後遺障害事故件数を表8-①に、課外活動(クラブ活動)中の事故におけるそれを表8-②に示しています。また、体育実技中の競技種目の比率を図7-①、課外活動(クラブ活動)中のそれを図7-②に示しています。

なお、集計においては、野球には硬式野球、準硬式野球、軟式野球を、テニスには硬式テニス、軟式テニスを、体操競技には器械体操、新体操等を含めています。

表8-① 体育実技中の競技種目別の事故件数(単位:件)

競技種目	2018年度		2019年度	
	事故件数	後遺障害	事故件数	後遺障害
バスケットボール	471	1	463	0
バレーボール	236	1	265	0
サッカー	170	1	185	0
体操競技	176	0	160	0
バドミントン	94	0	123	0
ソフトボール	70	2	76	0
フットサル	60	0	81	0
陸上競技	66	0	57	0
テニス	44	0	43	0
柔道	49	1	34	0
その他	455	2	511	1
計	1,891	8	1,998	1

表8－② 課外活動(クラブ活動)中の競技種目別の事故件数(単位:件)

競技種目	2018年度		2019年度	
	事故件数	後遺障害	事故件数	後遺障害
サッカー	3,240	9	3,515	3
ラグビー	1,938	10	1,846	7
柔道	1,237	1	1,367	4
野球	892	9	970	9
アメリカンフットボール	873	6	945	2
バスケットボール	716	4	717	2
ラクロス	327	1	384	3
バレーボール	351	1	335	2
陸上競技	356	3	309	2
ハンドボール	270	2	290	1
その他	1,914	29	2,010	21
計	12,114	75	12,688	56

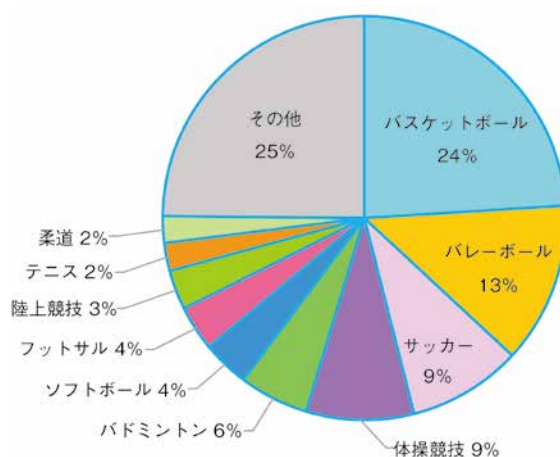


図7－① 体育実技中の競技種目別の比率

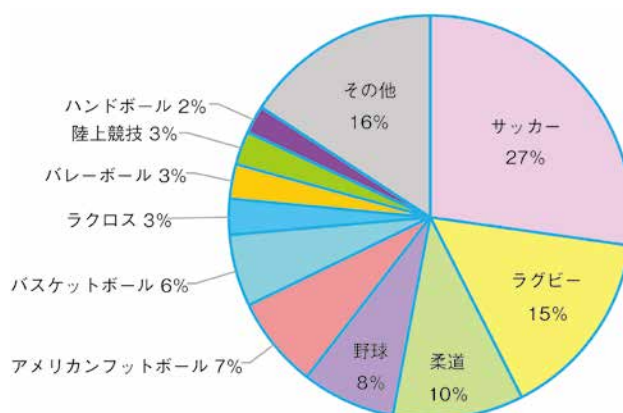


図7－② 課外活動(クラブ活動)中の競技種目別の比率

体育実技中では、バスケットボール、バレーボール、サッカー、体操競技、バドミントン、ソフトボール、フットサル、陸上競技、テニス、柔道などの種目で事故が多く発生しています。上位5競技が事故件数の60%を、上位10競技が75%を占めており、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ソフトボール、柔道では、件数は多くはないものの2018年度には後遺障害事故も発生しています。

課外活動(クラブ活動)中では、サッカー、ラグビー、柔道、野球、アメリカンフットボール、バスケットボール、ラクロス、バレーボール、陸上競技、ハンドボールなどの種目で事故が多く発生しています。上位5競技が事故件数の68%を、上位10競技が84%を占めています。また、上位5競技が後遺障害事故件数の46%を、上位10競技が62%を占めています。上位10競技以外で後遺障害事故件数の38%を占めていますから、幅広い競技種目で後遺障害事故が発生していることが分かります。

課外活動(クラブ活動)中で最も多く発生しているサッカーでの事故は、体育実技中でも多くなっています。そして、体育実技中には、サッカーと同じ様な競技特性をもつフットサルでの事故も多く発生しています。数年前には少なかったフットサルやラクロスでの事故が、近年多くなってきました。

ラグビー、柔道、野球、アメリカンフットボールでの事故は、男性で多く見られますが、課外活動(クラブ活動)中の男性の事故件数が女性の5.8倍と多くなっているため、全体でも上位を占めています。一方、女性では剣道、バドミントン、体操競技、ソフトボールの事故も多く見られます。

カ 移動手段別の事故の傾向

2016年度から2020年度までの5年間の通学中・学校施設間移動中の事故における男女別の移動手段別の事故件数を表9に、移動手段別の事故件数の推移を図8-①に示しています。また、男女別の移動手段の比率を図8-②、移動手段別の男女比率を図8-③に示しています。

表9 移動手段別の男女別の事故件数(単位:件)

移動手段	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
徒歩	70	190	91	224	89	245	92	198	44	113
自転車	345	392	368	362	412	393	375	351	239	180
原付	181	107	159	106	146	98	136	98	90	59
バイク	212	32	169	24	170	41	175	21	96	9
自動車	70	81	71	87	67	91	61	84	37	47
その他	11	19	10	20	7	18	8	15	0	9
計	889	821	868	823	891	886	847	767	506	417

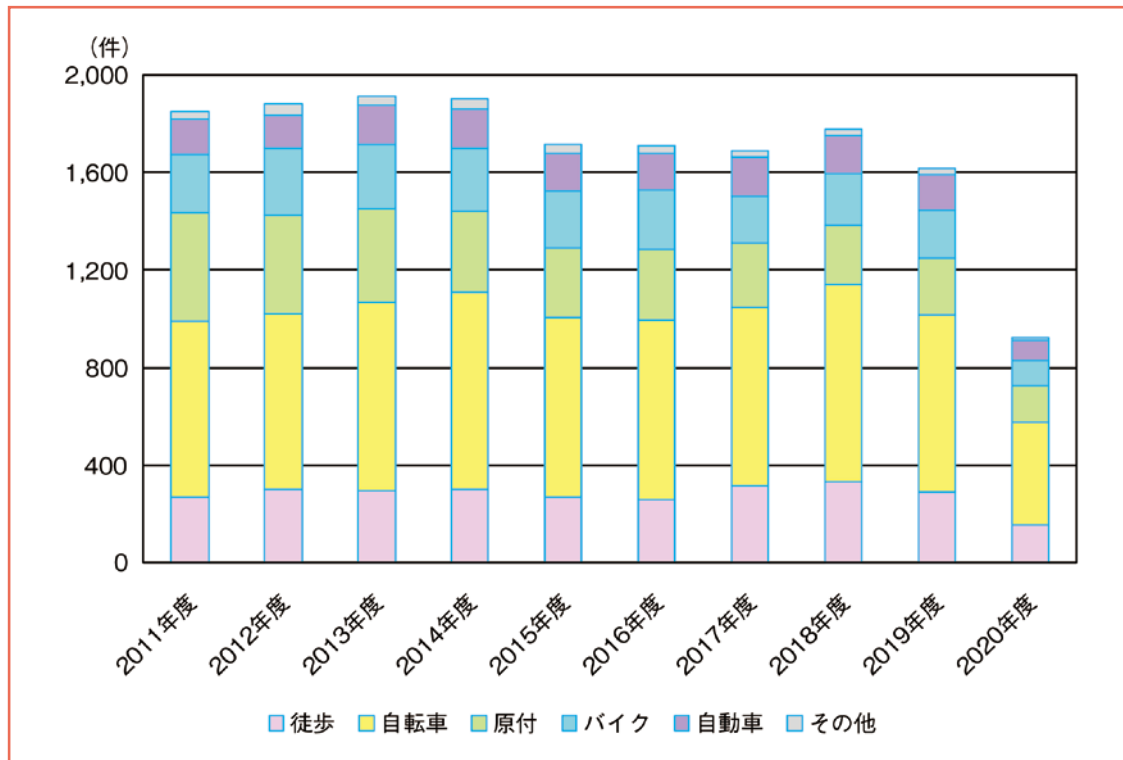


図 8-① 移動手段別の事故件数の推移

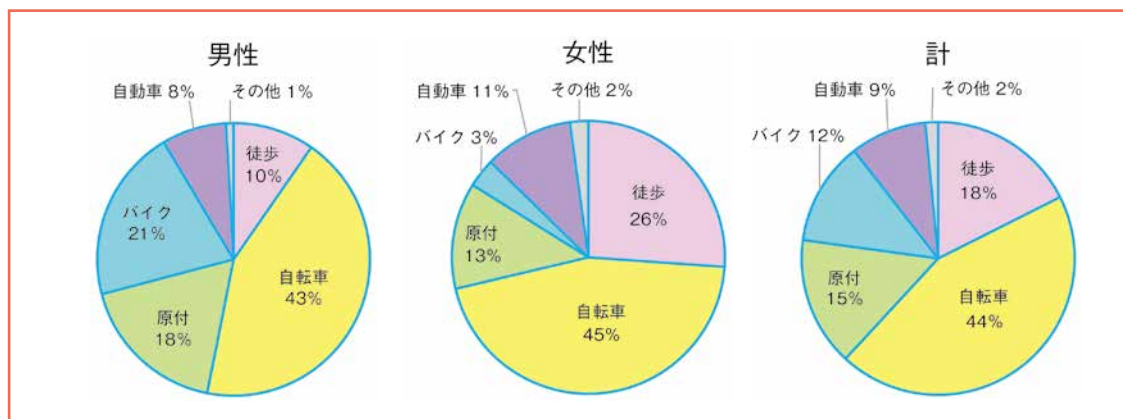


図 8-② 移動手段の比率

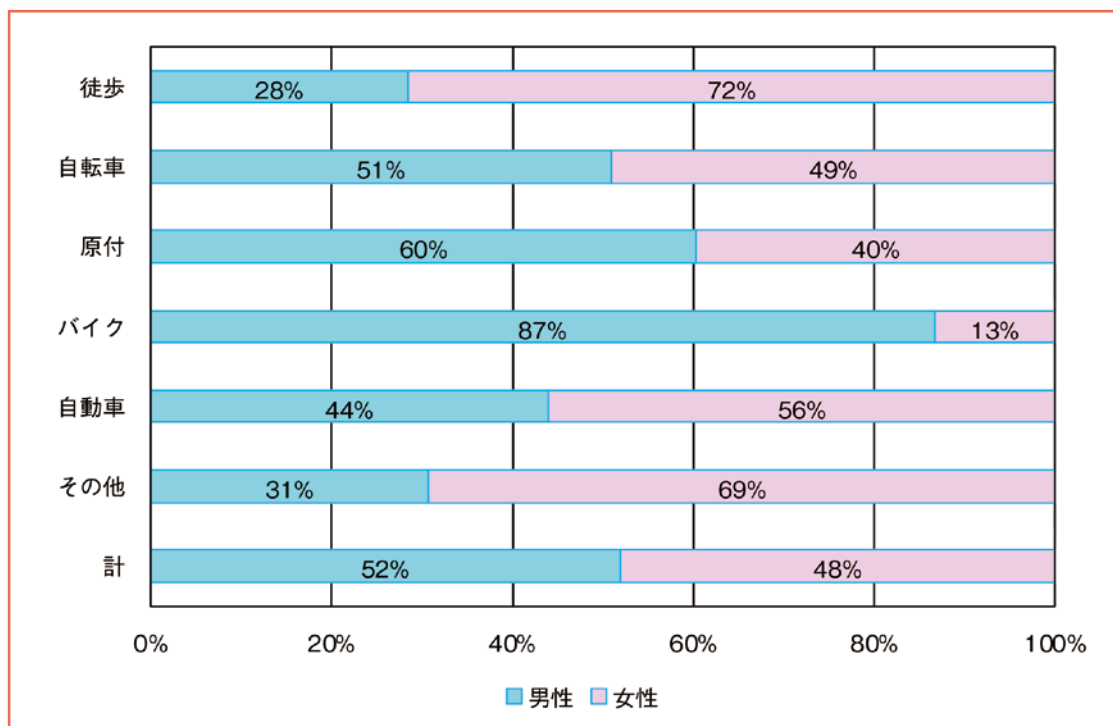


図 8 - ③ 移動手段別の男女比率

2016年度から2020年度までの5年間の通学中・学校施設間移動中の事故の合計は7,715件（年平均1,543件）でした。2016年度から2019年度までの4年間の事故件数6,792件（年平均1,698件）は、2011年度から2015年度までの5年間の事故件数9,255件（年平均1,851件）に対して8ポイント以上減少していました。そして、2020年度は、2016年度から2019年度までの平均からさらに45ポイント以上減少した923件でした。

事故件数の平均から求めた移動手段別の事故件数の比率は、徒歩が17.6%、自転車が44.3%、原付が15.3%、バイクが12.3%、自動車が9.0%となっており、自転車での事故が最も多く発生しています。そして、自転車、原付、バイクの合計が、通学中・学校施設間移動中の事故の71.9%を占めています。

男女別で見ると、自転車、原付、バイクの比率は、男性では、43.5%、17.8%、20.5%、女性では、45.2%、12.6%、3.4%となっており、2011年度から2015年度までと比較して、男性女性ともに自転車での事故の比率が増加し、原付とバイクでの事故の比率が減少しています。そして、女性の徒歩での移動中の事故は、件数では男性の2.5倍、比率では男性の2.7倍になっています。

また、移動手段別の男女比率を見ると、合計や自転車では男性女性同じ程度ですが、バイクや原付では男性の、徒歩や自動車では女性の事故が多く発生しています。

キ 傷害部位、傷害種別別の事故の傾向

2018年度から2019年度までの2年間の体育実技中、課外活動(クラブ活動)中及び通学中・学校施設間移動中の事故における傷害部位別の事故件数を表10-①に、活動形態別の傷害部位の比率を図9-①に示しています。

また、それぞれの傷害種別別の事故件数を表10-②に、活動形態別の傷害種別の比率を図9-②に示しています。

なお、集計において、熱中症の傷害部位は全身としています。

表10-① 傷害部位別の事故件数(単位:件)

傷害部位		体育実技中		課外活動(クラブ活動)中		通学中・学校施設間移動中	
大区分	小区分	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
頭部	頭部	78	62	106	109	192	196
	顔部(目)	72	72	80	66	30	27
	顔部(歯)	24	32	39	38	100	112
	顔部(その他)	92	85	200	174	196	214
頸部	頸部	63	52	285	373	385	371
体幹	胸部	19	21	93	87	97	94
	腹部	5	10	40	47	56	51
	背部	8	4	214	234	18	14
	腰部	69	64	1,456	1,560	321	299
上肢	肩	73	96	1,199	1,263	326	308
	上腕	4	6	112	108	16	20
	肘	27	39	505	537	118	117
	前腕	10	15	69	117	42	28
	手首	65	63	440	479	88	85
	手・手指	471	497	671	723	309	292
	上肢(その他)	6	6	51	33	113	95
下肢	股・臀部	9	14	325	325	64	58
	大腿	38	32	976	985	38	46
	膝	255	245	2,831	2,881	261	226
	下腿	30	30	481	516	52	46
	足首	428	469	2,366	2,385	194	161
	足・足指	204	253	915	856	226	193
	下肢(その他)	28	25	139	119	279	255
全身	全身	17	12	38	18	96	66
その他	その他	1	3	14	9	7	3
計		2,096	2,207	13,645	14,042	3,624	3,377

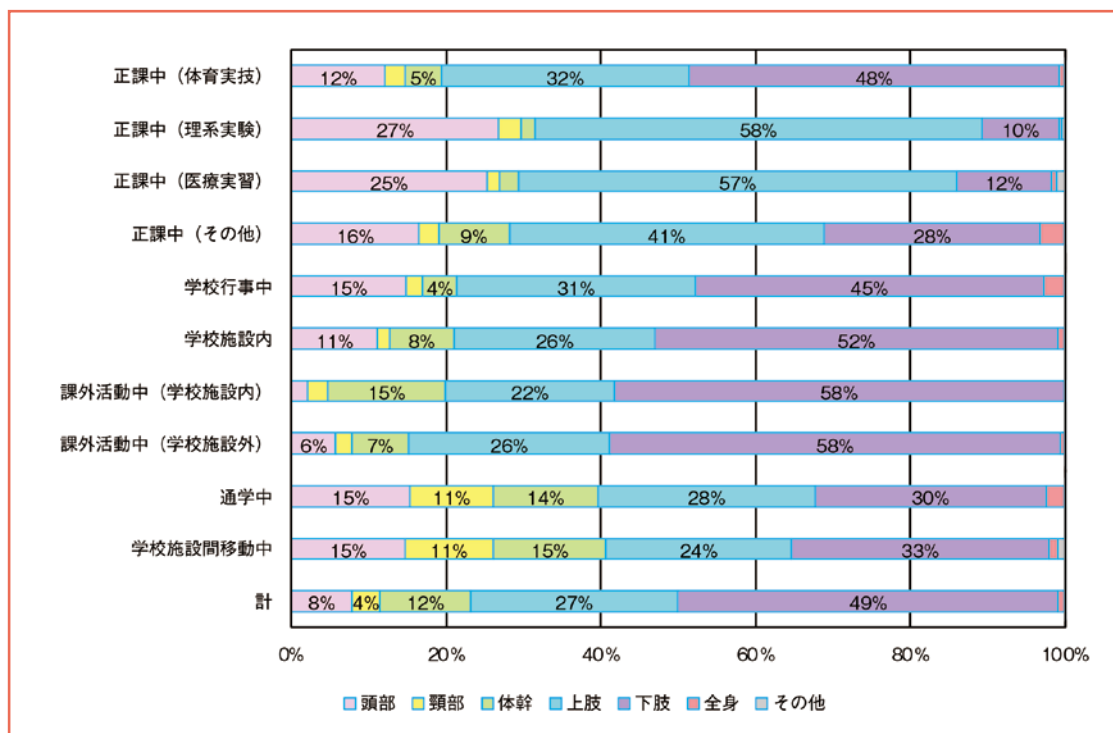


図 9-① 活動形態別の傷害部位の比率

表10-② 傷害種別別の事故件数(単位:件)

傷害種別	体育実技中		課外活動(クラブ活動)中		通学中・学校施設間移動中	
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
捻挫	467	504	4,612	5,054	440	425
じん帯損傷	450	459	3,579	3,620	181	147
骨折	544	571	1,656	1,701	584	473
打撲	254	256	696	709	740	708
挫傷	26	37	1,273	1,336	108	93
切傷	70	41	34	37	298	269
脱臼	95	99	596	593	41	51
擦傷	20	20	28	25	533	484
半月板損傷	37	45	555	519	3	5
腰部捻挫	7	6	507	556	3	6
その他	127	139	728	676	136	151
計	2,097	2,177	14,264	14,826	3,067	2,812

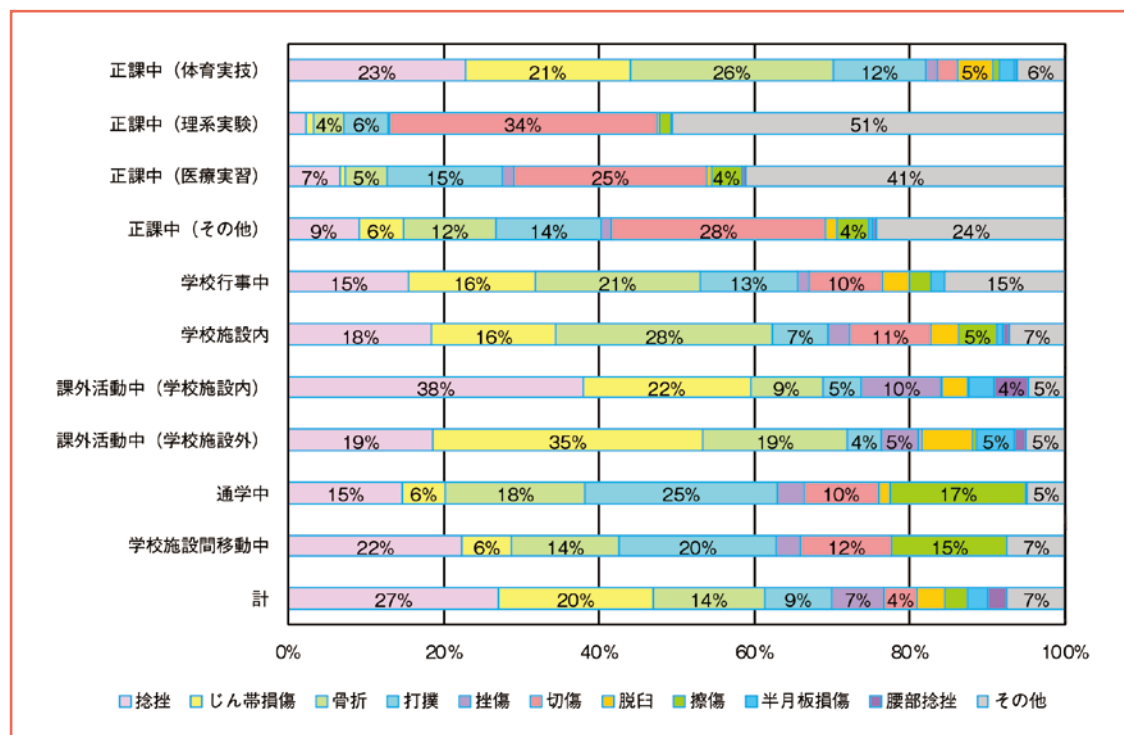


図 9-② 活動形態別の傷害種別の比率

傷害の多い部位については、大区分で見ると、下肢、上肢の順で多く発生しており、下肢と上肢を合わせた比率は、体育実技中が80%、課外活動(クラブ活動)中が81%、通学中・施設間移動中が58%、合計では76%となっています。そして、体育実技中では頭部が12%、課外活動(クラブ活動)中では体幹が13%、通学中・施設間移動中では頭部が15%、体幹が14%、頸部が11%となっています。

傷害の多い部位を小区分で見ると、合計では、膝が16%、足首が15%、手・手指が11%、腰部が9%、肩が8%となっており、上位3つの傷害部位が占める比率が41%、上位5つの部位が占める比率が57%となっています。

各活動形態において、合計における比率が高い5つの傷害部位以外では、体育実技中では足・足指が11%、理系実験では目が15%、その他の顔部が8%、医療実習では目が10%、頭部が9%、課外活動(クラブ活動)中では大腿が7%、足・足指が6%を占めており、それぞれの活動形態に応じた特定の部位に傷害が多く発生しています。

また、通学中・施設間移動中では合計における比率が高い5つの傷害部位の比率(膝7%、足首5%、手・手指9%、腰部9%、肩9%)よりも頸部の比率(11%)が高く、その他の下肢の比率(8%)も高くなっています。通学中・施設間移動中では上位3つの部位が占める比率が29%、上位5つの部位が占める比率が45%となっています。合計における比率よりもそれぞれ12ポイント程度低くなっており、他の活動形態に比較して、全身の広い範囲で傷害が発生しているようです。

傷害の多い種別については、合計では、捻挫が27%、じん帯損傷が20%、骨折が14%、打撲が9%、挫傷が7%となっており、上位3つの傷害種別が占める比率が61%、上位5つの種別が占める比率が77%になっています。

各活動形態において、合計における比率が高い5つの傷害種別以外では、体育実技中では脱臼が5%、理系実験では熱傷(やけど)が36%、切傷が34%、医療実習では刺傷が27%、切傷が25%、学校施設外の課外活動(クラブ活動)中では脱臼、半月板損傷、腰部捻挫が4%、通学中では擦傷が17%、切傷が10%を占めており、それぞれの活動形態に応じた特定の傷害が多く発生しています。

傷害部位と傷害種別の関係については、体育実技中では手指の骨折、足の捻挫、膝のじん帯損傷が、課外活動(クラブ活動)中では足の捻挫や挫傷、膝のじん帯損傷、肩の打撲や脱臼が、通学中・施設間移動中では足の打撲や骨折、頸部の捻挫が多く発生しています。

(3)付帯賠償における保険金支払状況

2016年度から2020年度までに付帯賠償において保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額を表11-①、事故件数及び支払保険金額の推移を図10-①及び図10-②、保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額の平均の比率を図10-③及び図10-④に示しています。

人身損害・物損害別の保険金支払件数を表11-②、支払保険金額を表11-③、人身損害・物損害別の保険金支払件数及び支払保険金額の平均の比率を図10-⑤及び図10-⑥に示しています。

また、支払保険金額別の保険金支払件数を図10-⑦に示しています。

表11-① 保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分 (活動形態)	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
正課中	162	18.6	206	29.4	221	47.1	210	36.6	130	27.5
学校行事中	23	1.2	27	9.1	23	3.3	28	1.9	5	0.3
インターンシップ中	9	0.5	5	0.2	6	0.9	6	0.4	0	0.0
介護体験活動中	4	0.2	4	0.1	2	0.0	2	0.0	0	0.0
教育実習中	15	0.9	13	0.2	15	0.3	19	0.7	9	0.2
保育実習中	8	0.2	7	0.1	9	0.1	4	0.1	7	0.1
ボランティア活動中	2	0.6	3	0.1	1	0.0	1	0.2	0	0.0
臨床医療実習中	51	1.2	58	2.3	56	1.8	38	1.1	22	0.9
臨床法学実習中	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
往復中	108	20.5	124	49.7	136	58.1	114	133.9	63	37.2
計	382	43.8	447	91.3	469	111.6	422	175.0	236	66.2

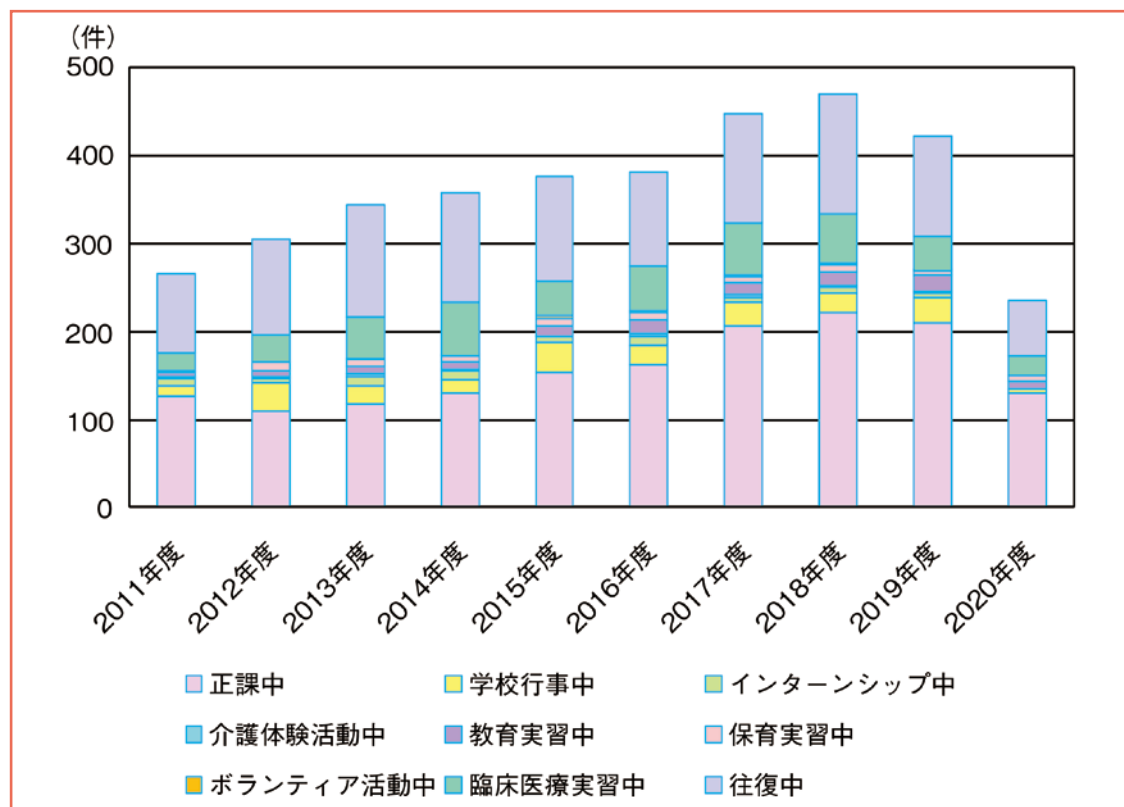


図 10 - ① 事故件数の推移

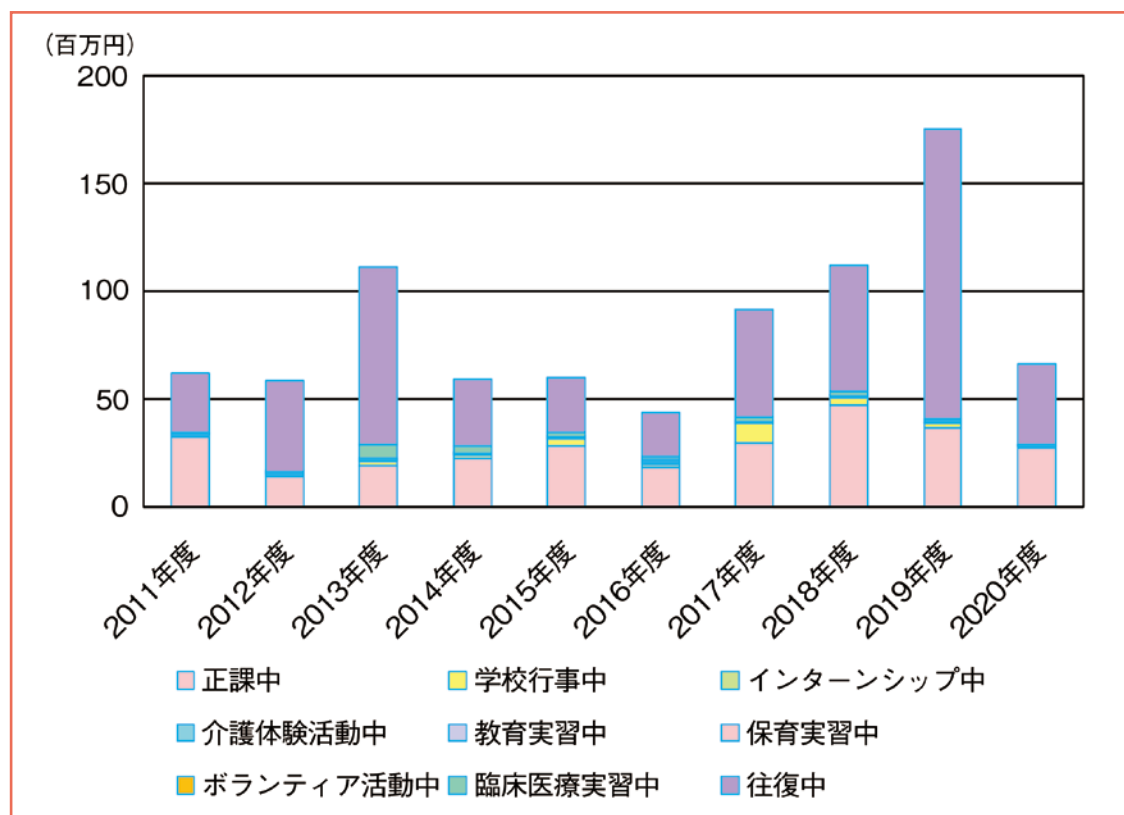


図 10 - ② 支払保険金額の推移

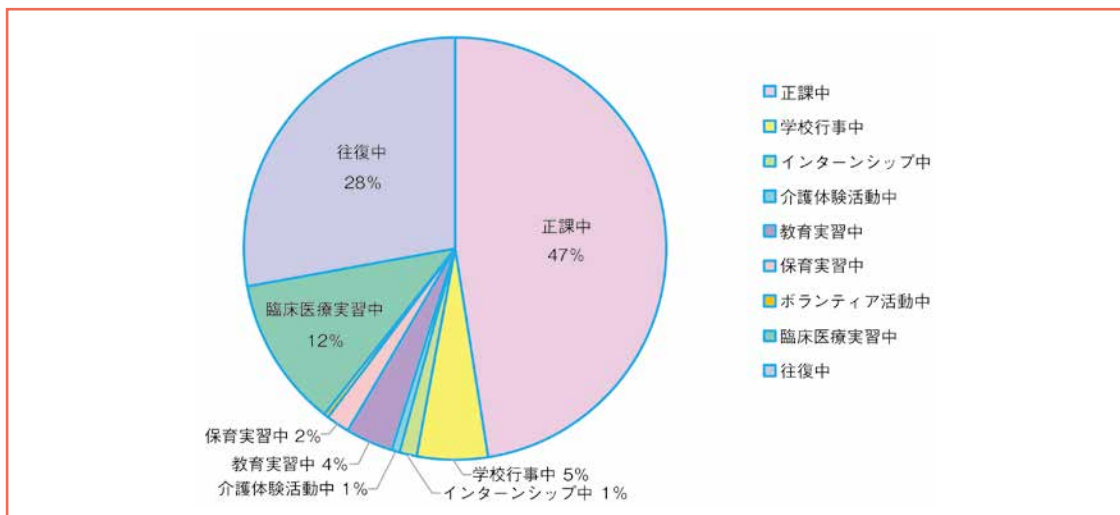


図 10-③ 事故件数の平均の比率

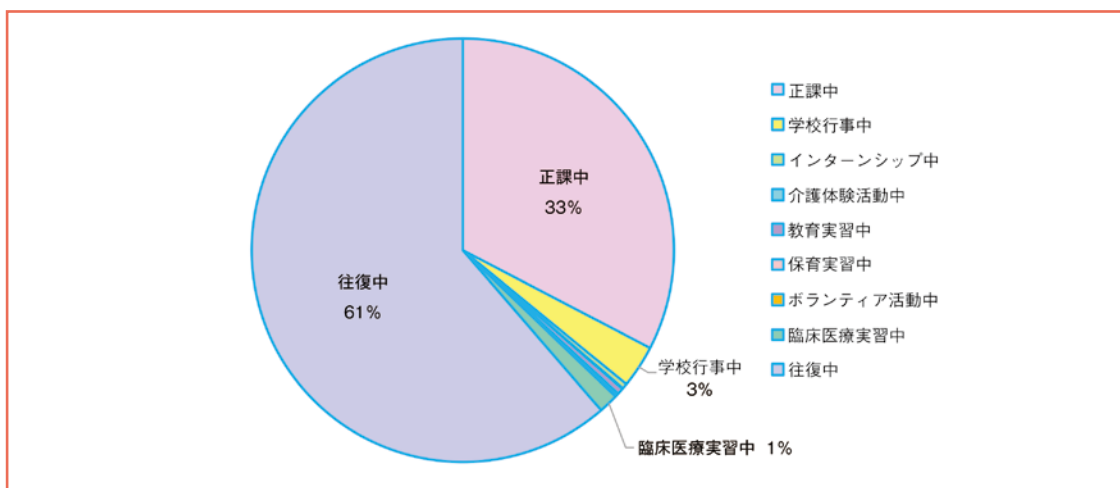


図 10-④ 支払保険金額の平均の比率

表11-② 人身損害・物損害別の保険金支払件数(単位:件)

保険金支払対象区分 (活動形態)	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害
正課中	4	159	3	204	6	215	2	208	2	128
学校行事中	0	23	3	24	2	21	2	26	0	5
インターンシップ中	0	9	0	5	0	6	0	6	0	0
介護体験活動中	2	2	0	4	0	2	0	2	0	0
教育実習中	0	15	0	13	1	14	2	17	0	9
保育実習中	1	7	0	7	0	9	0	4	0	7
ボランティア活動中	1	1	0	3	0	1	0	1	0	0
臨床医療実習中	0	51	2	56	1	55	2	36	0	22
往復中	40	78	44	89	47	107	44	86	22	45
計	48	345	52	405	57	430	52	386	24	216

表11－③ 人身損害・物損害別の支払保険金額(単位:千円)

保険金支払対象区分 (活動形態)	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害	人身損害	物損害
正課中	35	18,565	26	29,344	3,180	43,907	344	36,290	131	27,413
学校行事中	0	1,226	7,359	1,778	63	3,224	453	1,279	0	300
インターンシップ中	0	497	0	103	0	935	0	374	0	0
介護体験活動中	157	48	0	82	0	14	0	29	0	0
教育実習中	0	860	0	234	4	296	58	623	0	195
保育実習中	17	134	0	138	0	60	0	100	0	88
ボランティア活動中	423	147	0	112	0	39	0	178	0	0
臨床医療実習中	0	1,232	131	2,151	91	1,720	106	987	0	874
往復中	12,632	7,820	42,122	6,613	47,580	8,880	124,503	7,182	32,663	4,211
計	13,264	30,529	49,638	40,555	50,920	59,075	125,465	47,043	32,794	33,082

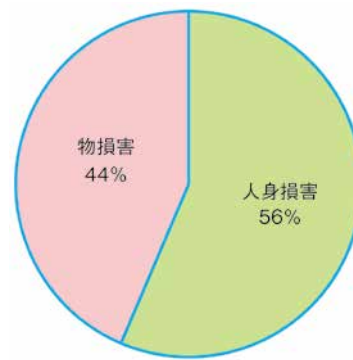
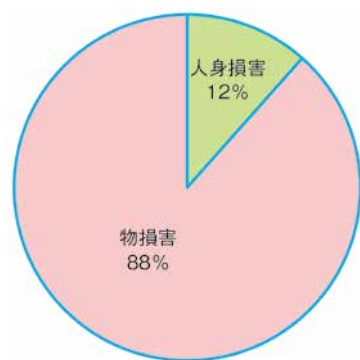


図10－⑤ 保険金支払件数の平均の比率

図10－⑥ 支払保険金額の平均の比率

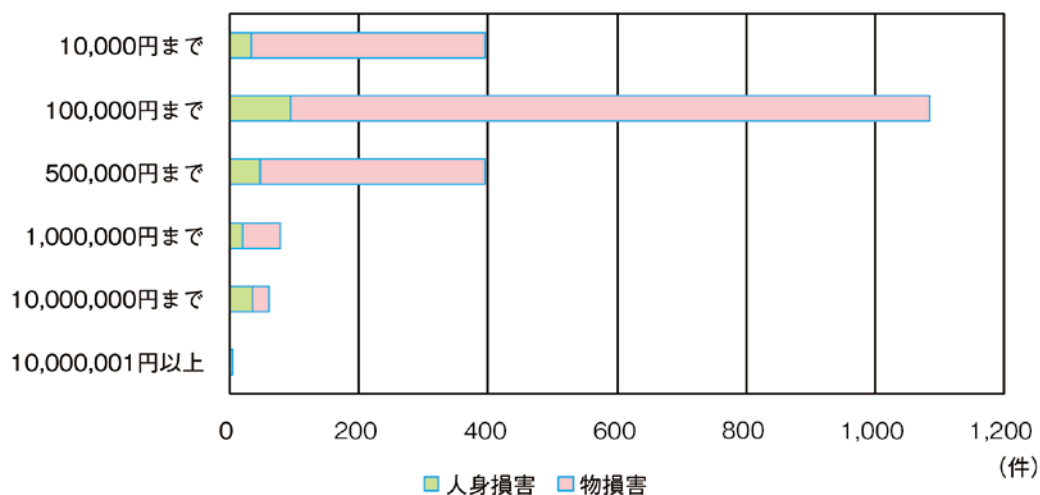


図10－⑦ 支払保険金額別の保険金支払件数

2016年度から2019年度までの4年間の事故については、事故件数は1,720 件(年平均430 件)、支払保険金額は421,645千円(年平均105,411 千円)となっています。2011年度から2015年度までの5年間の事故件数が1,648件(年平均330件)、支払保険金額が350,551千円(年平均70,110千円)

でしたので、年平均はそれぞれ1.3倍、1.5倍になっています。

事故件数は、2016年度から2018年度までは、2011年度から2015年度までと同じように年々増加していましたが、2019年度から減少傾向に転じ、2020年度は2019年度から44%減少し、236件になっています。

保険金支払対象区分別(活動形態別)の事故件数の平均の比率は、正課中が47%、往復中が28%、臨床・看護等医療関連実習中が12%、学校行事中が5%、その他(インターンシップ中、介護体験活動中、教育実習中、保育実習中、ボランティア活動中)が8%となっており、往復中と正課中で75%となっています。なお、臨床法学実習等における人格権侵害については発生していませんでした。

支払保険金額は、年度により人身損害に係る支払保険金額の差が大きく、前年度との比較がもつ意味はそれほど大きくはないのですが、2016年から2019年まで年々増加しており、2019年度の支払保険金額は2016年のその4倍に大きく増加していましたが、2020年度は2019年度から62%減少し、66,207千円になっています。

保険金支払対象区分別(活動形態別)の支払保険金額の平均の比率は、往復中が61%、正課中が33%、学校行事中が3%、臨床・看護等医療関連実習中が1%、その他(インターンシップ中、介護体験活動中、教育実習中、保育実習中、ボランティア活動中)が1%となっており、往復中と正課中で93%と高くなっています。そして、往復中の事故件数の比率が28%であったことを踏まえると、支払保険金額の61%を占めている往復中の事故における支払保険金額の大きさが目立ちます。

人身損害と物損害に分けて見てみると、人身損害と物損害の比率においては、支払件数では12%:88%と物損害が7.5倍と多くなっていますが、支払保険金額では56%:44%と逆転しています。2011年度から2015年度までの平均の比率と比較してみると、支払件数では人身損害は3ポイント減少しているのに対して、支払保険金額では人身損害は5ポイント増加しており、人身損害での支払保険金額の増加が際立っています。これは、支払件数で例年30%程度を占める往復中の事故における人身損害で高額な保険金が支払われていることが、大きく影響しています。

支払保険金額の分布を見てみると、1万円以下が354件(20%)、1万円を超えて10万円までが961件(54%)、10万円を超えて50万円までが347件(19%)で、50万円を超えるものが124件(7%)となっており、2011年度から2015年度までと概ね同じ分布傾向になっています。

なお、保険金支払件数1件あたりの支払保険金額は、人身損害が1,145千円、物損害が113千円になっており、2011年度から2015年度までの1.59倍、0.98倍になっています。

(4)付帯学総における保険金支払状況

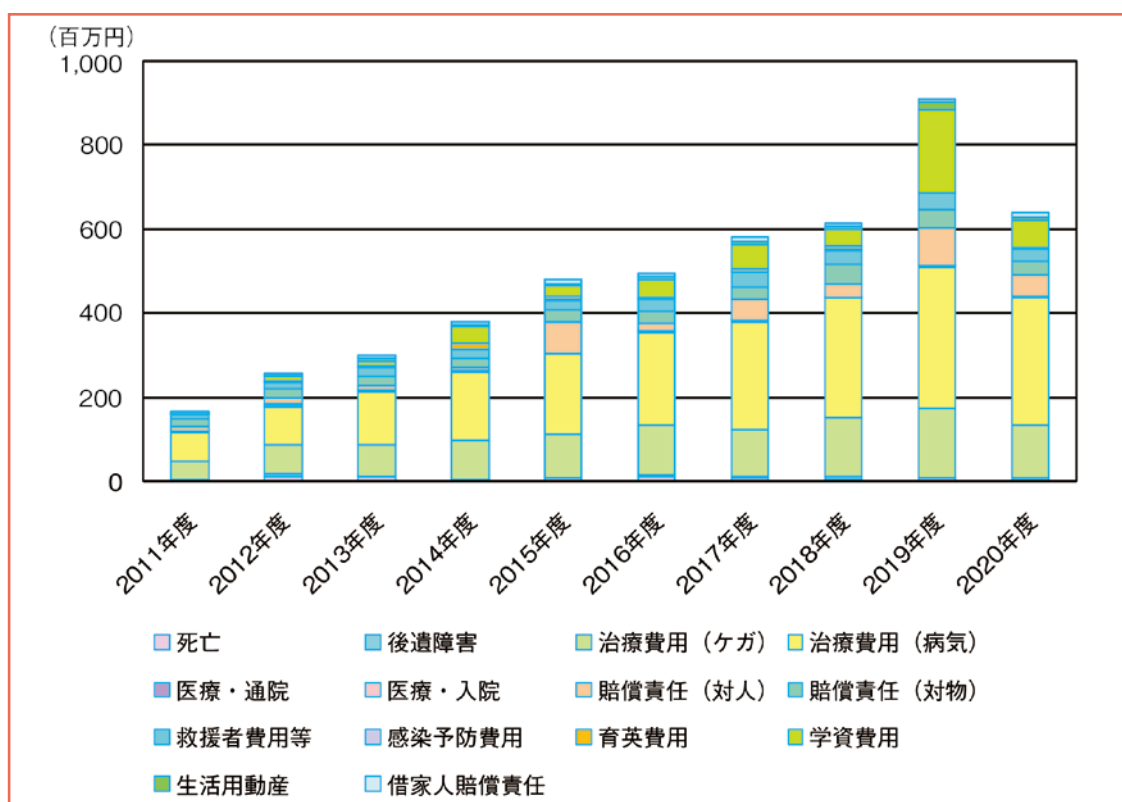
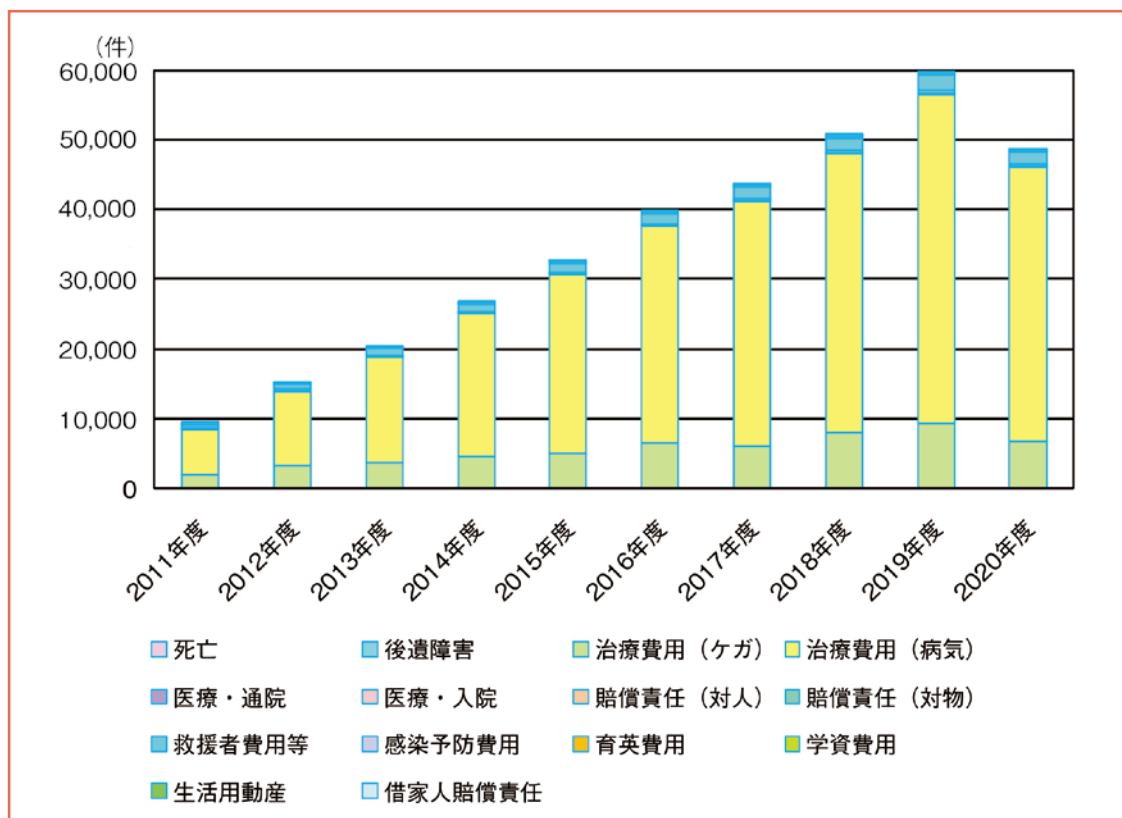
2016年度から2020年度までに付帯学総において保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額を表12、保険金支払件数及び支払保険金額の推移を図11-①及び図11-②、保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額の平均の比率を図11-③及び図11-④に示しています。

表12 保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分 (活動形態)	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
死亡	6	12.0	6	6.0	5	5.0	6	6.0	1	1.0
後遺障害	14	3.8	21	6.8	23	4.9	15	3.4	16	5.2
治療費用(ケガ)	6,553	118.0	6,131	110.1	8,039	141.6	9,253	164.7	6,728	126.7
治療費用(病気)	31,071	221.2	35,065	257.7	39,917	283.6	47,287	336.1	39,426	305.1
医療・通院	12	0.7	25	1.1	27	1.3	45	1.5	29	1.5
医療・入院(注1)	1	0.0	6	1.2	2	0.0	11	0.4	5	0.4
賠償責任(対人)(注2)	49	19.0	63	49.6	66	33.0	143	89.4	50	52.2
賠償責任(対物)	281	30.6	307	31.0	316	45.4	353	43.2	259	31.1
救援者費用等	1,506	27.0	1,703	34.6	1,906	35.4	2,112	40.6	1,758	28.0
感染予防費用	31	0.4	55	0.7	74	0.7	46	1.5	33	0.4
育英費用	4	4.0	4	8.0	5	7.0	11	0.0	5	5.0
学資費用	25	43.8	25	57.3	29	41.1	61	198.8	29	62.7
生活用動産	74	5.1	112	5.9	146	6.0	227	15.5	165	8.2
借家人賠償責任	110	7.6	138	11.1	137	7.1	136	7.7	179	12.0
計	39,737	493.4	43,661	581.0	50,692	612.0	59,706	919.8	48,683	639.6

(注1):医療・入院には、手術保険金も含まれます。

(注2):賠償責任(対人)には、争訟費用も含まれます。



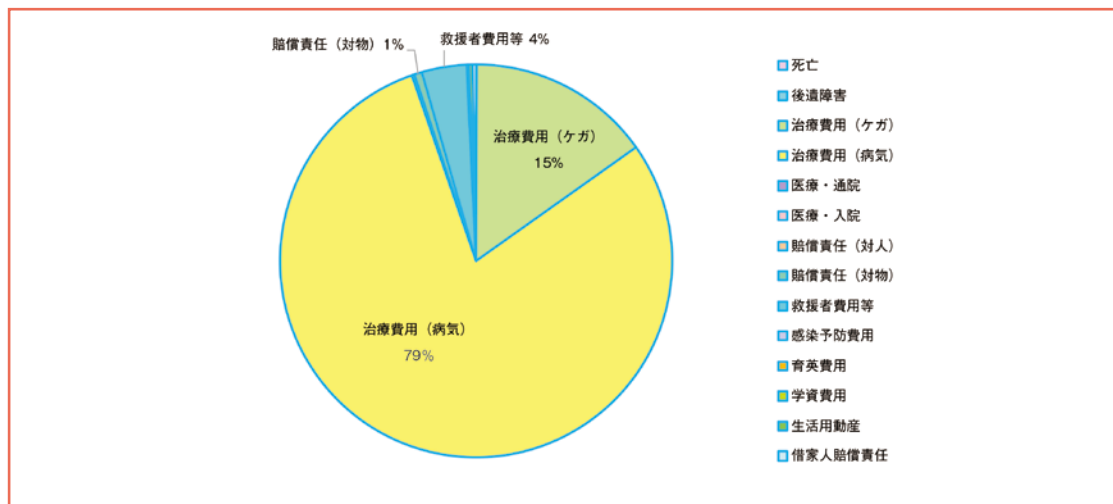


図 11 - ③ 保険金支払件数の平均の比率

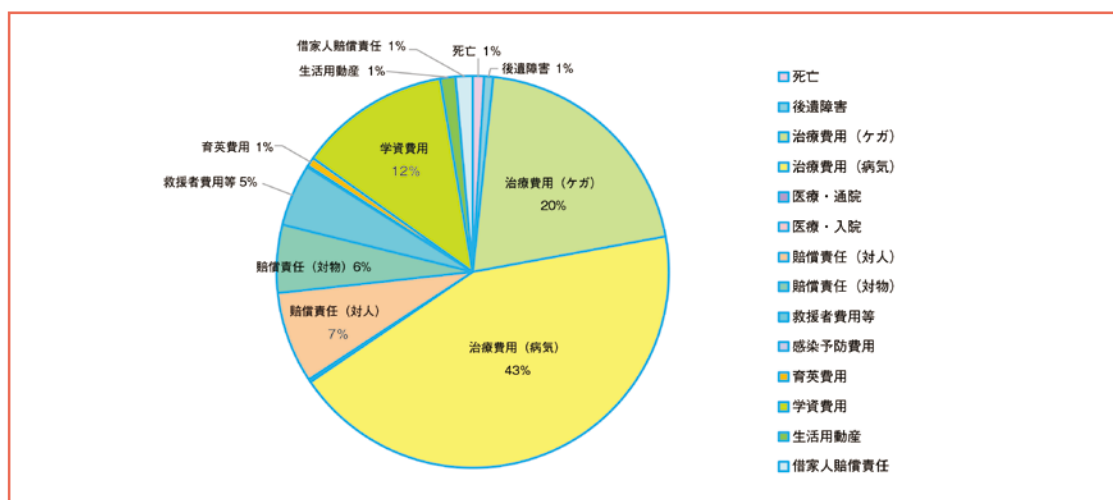


図 11 - ④ 支払保険金額の平均の比率

2015年度から2019年度までの4年間の事故については、保険金支払件数は193,796件（年平均48,449件）、支払保険金額は2,606,191千円（年平均651,548千円）となっています。2011年度から2015年度までの5年間の事故件数が103,888件（年平均20,778件）、支払保険金額が1,584,446千円（年平均316,889千円）でしたので、年平均はそれぞれ2.3倍、2.1倍になっています。

2019年度までの保険金支払件数は、2011年から2015年までと同じように年々増加しており、年平均で前年度比約16%増となっています。

保険金支払件数は、2016年度を100とした場合、2017年度が110、2018年度が128、2019年度が150となっています。2020年度の保険金支払件数が48,683件でしたので、2016年度を100とした場合123になり、2019年度と比較すると小さくなっていますが、2018年度と大差はありませんでした。

また、2019年度までの支払保険金額も年々増加しており、年平均で前年度比約19%増となっ

ています。

支払保険金額は、2016年度を100とした場合、2017年度が118、2018年度が124、2019年度が186となっており、2019年度の増加率が特に大きくなっています。2020年度の支払保険金額は、639,560千円でしたので、2016年度を100とした場合130になり、保険金支払件数と同様に、2019年度と比較すると小さくなっていますが、2018年度と大差はありませんでした。

2016年度の加入学生数を100とした場合、2019年度の加入学生数は112、2020年度が118になっていることと比較すると、保険金支払件数及び支払保険金額の増加率の高さが分かります。

保険金種別の保険金支払件数は、治療費用(病気)79.5%、治療費用(ケガ)15.1%、救援者費用等3.7%でほとんどを占めており、それら以外の保険金種は非常に小さな割合でしかありません。一方、保険金種別の支払保険金額は、治療費用(病気)43.2%と治療費用(ケガ)20.4%を合わせても63.6%、さらに救援者費用等の5.1%を含めても68.7%にとどまっています。そして、学資費用が12.4%、賠償責任(対人)が7.5%、賠償責任(対物)が5.6%となっており、保険金支払件数の少ない保険金種においても支払保険金額では小さくない割合を占めているのが分かります。

(5)付帯海学における保険金支払状況

2016年度から2020年度までに付帯海学において保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額を表13、保険金支払件数及び支払保険金額の推移を図12-①及び図12-②、保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額の平均の比率を図12-③及び図12-④に示しています。

表13 保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分 (活動形態)	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
治療・救援費用(ケガ)	159	19.2	195	16.0	296	29.1	475	46.1	148	38.7
治療・救援費用(病気)	1,021	62.0	1,584	120.7	2,500	154.8	4,054	275.2	1,212	115.8
治療・救援費用(救援者)	0	0.0	12	2.9	10	8.6	22	6.9	12	7.2
携行品損害	353	12.6	461	16.8	1,216	58.3	785	26.4	385	13.8
賠償責任・留学生賠償責任	27	0.7	24	0.6	27	0.9	25	1.6	20	2.1
航空機遅延費用	15	0.2	129	1.3	494	6.7	355	4.2	274	4.5
航空機寄託手荷物遅延等費用	8	0.1	31	1.1	62	1.3	65	1.9	11	0.3
緊急一時帰国費用	0	0.0	1	0.1	2	0.1	6	1.2	2	0.6
旅行変更費用	0	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0	16	1.4
救援者費用	0	0.0	0	0.0	3	0.7	0	0.0	1	0.8
歯科治療費用	0	0.0	0	0.0	13	0.4	27	1.4	18	1.0
計	1,583	94.9	2,438	159.6	4,623	260.9	5,814	365.0	2,099	186.1

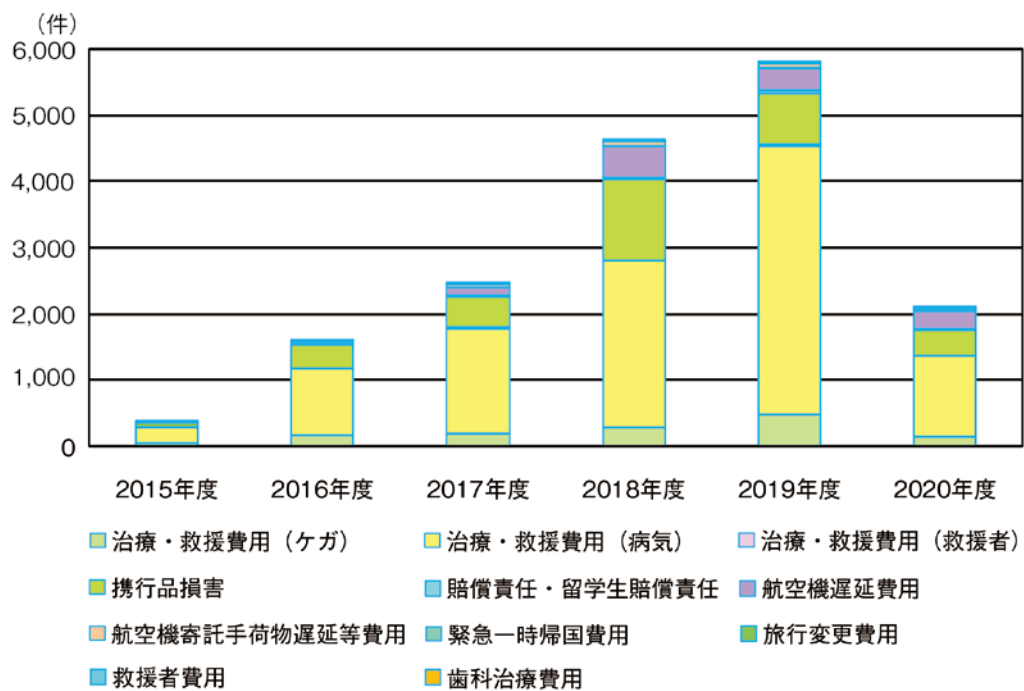


図 12－① 保険金支払件数の推移

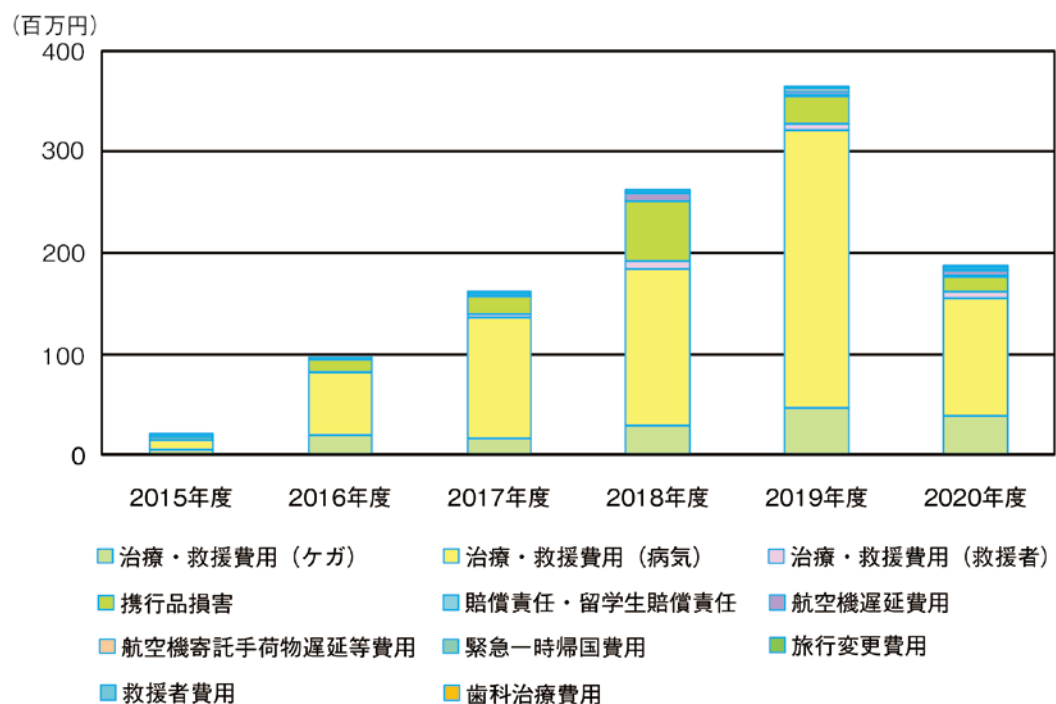


図 12－② 支払保険金額の推移

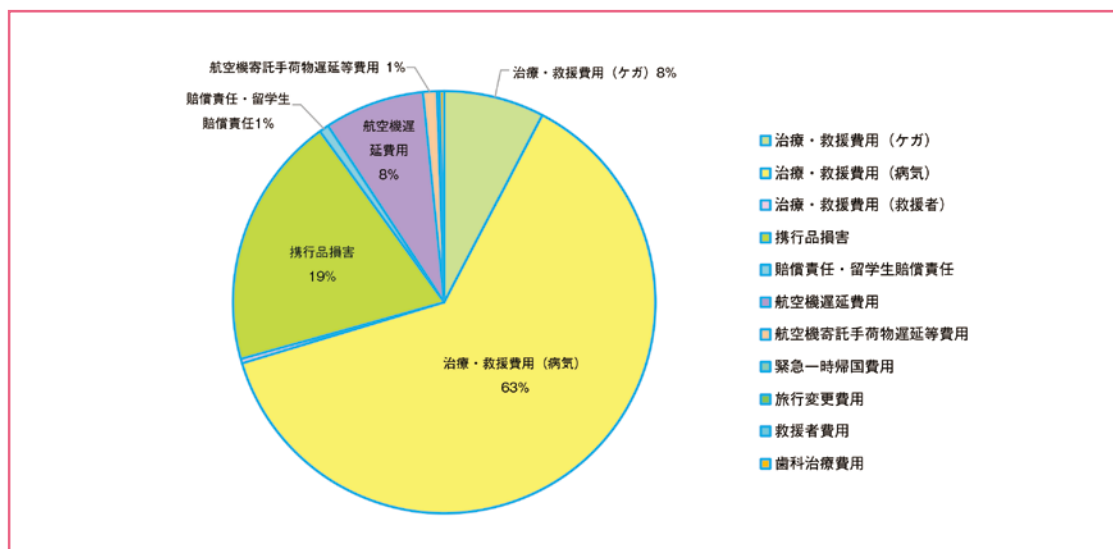


図 12－③ 保険金支払件数の平均の比率

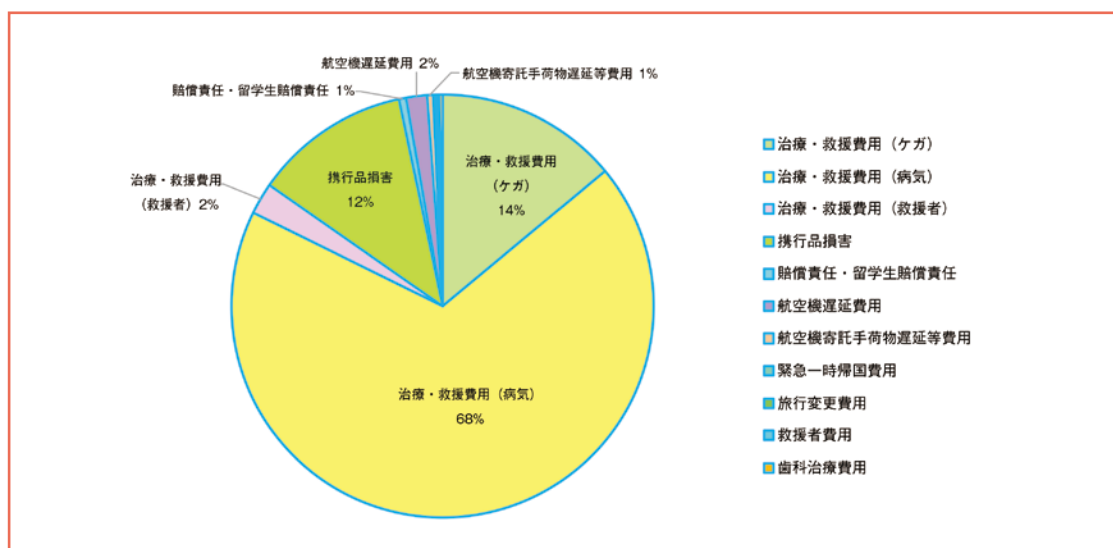


図 12－④ 支払保険金額の平均の比率

2016年度から2019年度までの4年間においては、年々増加しており、その累計は、保険金支払件数が14,458件、支払保険金額が880.5百万円となっていました。2020年度は大きく減少し、保険金支払件数が2,099件、支払保険金額が186.1百万円となっています。

付帯海学の加入学生数は、2016年度を100とした場合、2017年度が155、2018年度が219、2019年度が259と年々増加していますが、それに伴い、保険金支払件数と支払保険金額も増加しています。2016年度を100とした場合、保険金支払件数は、2017年度が154、2018年度が292、2019年度が367に、支払保険金額は、2017年度が168、2018年度が275、2019年度が385になっています。

なお、2020年度は、2016年度を100とした場合、加入学生数が37、保険金支払件数が133、支払保険金額が196となります。また、2019年度と比較すると、加入学生数が86%減、保険金支払件数が64%減、支払保険金額が49%減となっています。

保険金種別の事故件数では、治療・救援費用(病気)62.6%、携行品損害19.3%、治療・救援費用(ケガ)7.7%の順に多く、これらが89.7%を占めています。支払保険金額では、治療・救援費用(病気)68.3%、治療・救援費用(ケガ)14.0%、携行品損害12.0%の順に多く、これらが94.3%を占めています。

治療・救援費用(病気)では、発熱、腹痛などの症状が多く、肺炎や急性胃炎による入院、扁桃腺の手術などで高額を支払いが発生しています。携行品損害では、カメラ、携帯電話、パソコン、スーツケースなどの盗難や破損が多くなっています。そして、治療・救援費用(ケガ)では、交通事故やスキーでの骨折、食中毒による入院などで高額を支払いが発生しています。

2

保険金支払状況からみた事故の概況

3 保険金支払状況からみた死亡事故の推移と傾向

リスク管理の観点からは、発生確率が低くても、取り返しのつかない結果を招く事案への対処は極めて重要です。学生の死亡はそのような事案の典型であり、大学等における死亡事故防止のための取組みの重要性に鑑みて、ここでは、死亡事故を取り上げます。

(1) 死亡事故件数の推移

2016年度から2020年度までの学研災における死亡事故件数の推移は表14及び図13－①、保険金支払対象区分別（活動形態別）の死亡事故件数の平均の比率は図13－②のとおりです。

表14 死亡事故件数の推移(単位:件)

保険金支払対象区分(活動形態)		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
正課中	体育実技中	0	0	0	0	0
	理科系の実験中	0	0	0	0	0
	医療系の実習中	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	1	0
学校行事中		1	1	0	0	0
学校施設内		1	2	0	0	1
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	0	2	0	0	0
	学校施設外	3	3	3	4	0
通学中		7	4	6	9	4
学校施設間移動中		0	1	0	0	0
計		12	14	9	14	5

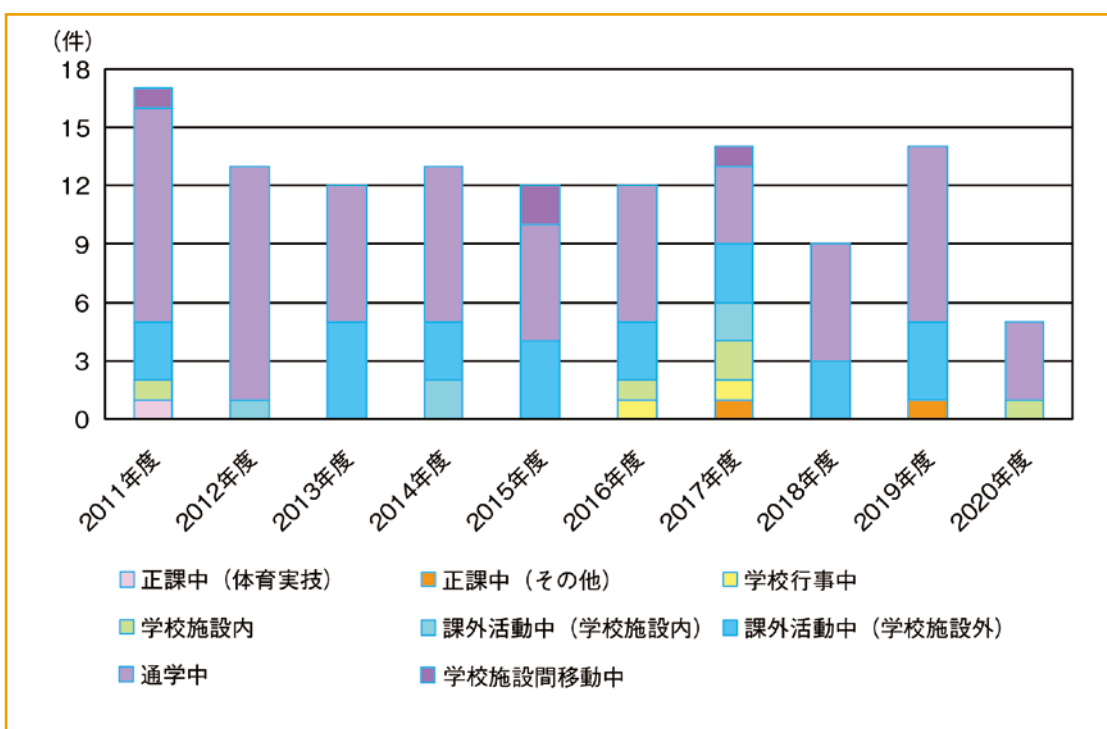


図13－① 死亡事故件数の推移

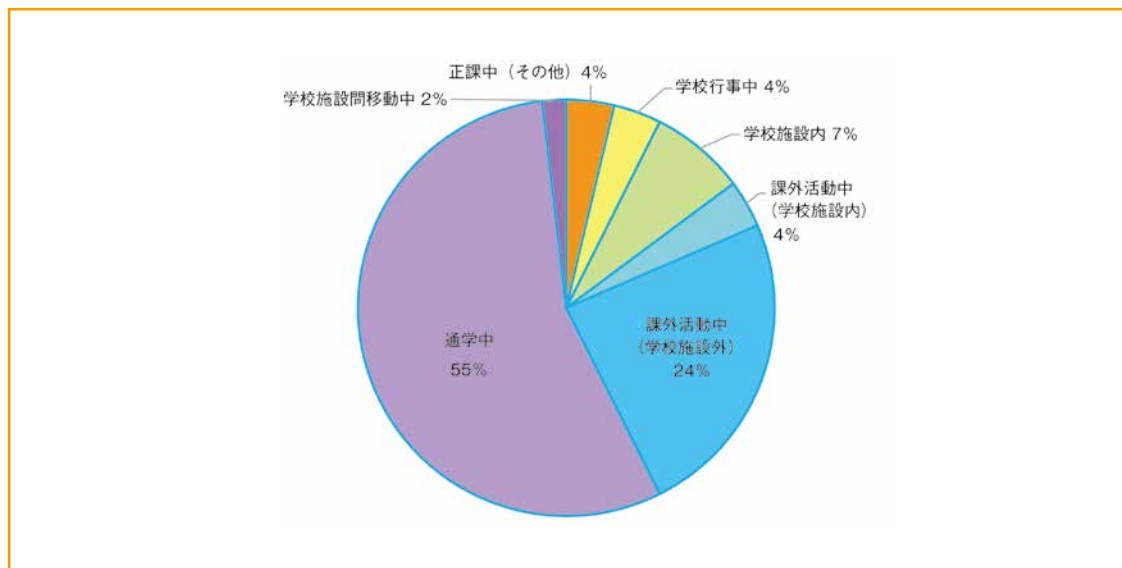


図13-② 死亡事故件数の平均の比率

2016年度から2020年度までの5年間で54件の死亡事故が発生しており、死亡事故率としては、学研災加入学生100万人あたり年間3.9件の割合です。9件だった2018年度と5件だった2020年度を除いて、2012年度以降は年間12～14件で推移していました。

活動形態別の内訳（構成比率）を見ると、正課中（その他）に2件（3.7%）、学校行事中に2件（3.7%）、学校施設内で4件（7.4%）の事故が発生していますが、これらは死亡事故の14.8%であり、残りの85.2%は、課外活動（クラブ活動）中の15件（27.8%）と通学中・学校施設間移動中の31件（57.4%）でした。また、2012年度以降、正課中（体育実技中、理科系の実験中、医療系の実習中）の死亡事故は発生していません。

(2) 死亡事故の傾向

ア 課外活動（クラブ活動）中の事故

2016年度から2019年度までの4年間の課外活動（クラブ活動）中の死亡事故15件の中では、競技種目の特性に起因しない事故が8件、合宿中の事故が4件発生しています。また、溺死が11件で73.3%と高い割合になっていました。

なお、2020年度の課外活動（クラブ活動）中の死亡事故はありませんでした。また、2011年度から2015年度までの5年間で3件発生していた合宿中の飲酒に起因すると思われる死亡事故も2016年度以降は発生していません。

イ 通学中・学校施設間移動中の事故

2016年度から2020年度までの5年間の通学中・学校施設間移動中の死亡事故31件における移動手段別の事故件数は、徒歩が5件（16.1%）、自転車が8件（25.8%）、原付が1件（3.2%）、バイクが12件（38.7%）、自動車が4件（12.9%）となっており、バイクでの事故が最も多く発生し

ています。単独事故も5件発生していますが、その全てがバイクでの事故でした。

また、被保険者の移動手段にかかわらず、相手が車の事故が23件で74.2%と高い割合になっており、毎年、頭蓋骨骨折や脳挫傷など頭部を損傷して死亡する事故が発生しています。

4 保険金支払状況からみた後遺障害事故の推移と傾向

後遺障害事故を伴う事故についても、死亡事故と同様に、事故防止のための取組みが重要になります。

(1)後遺障害事故件数の推移

2016年度から2020年度までの学研災における後遺障害事故件数の推移は表15及び図14－①、保険金支払対象区分別(活動形態別)の後遺障害事故件数の平均の比率は図14－②のとおりです。

表15 後遺障害事故件数の推移(単位:件)

保険金支払対象区分(活動形態)		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
正課中	体育実技中	13	2	8	1	2
	理科系の実験中	7	3	7	2	3
	医療系の実習中	0	0	2	1	0
	その他	12	11	5	3	5
学校行事中		4	8	3	3	1
学校施設内		3	6	8	10	6
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	35	33	45	35	10
	学校施設外	24	21	30	21	19
通学中		75	96	91	60	61
学校施設間移動中		3	0	3	2	1
計		176	180	202	138	108

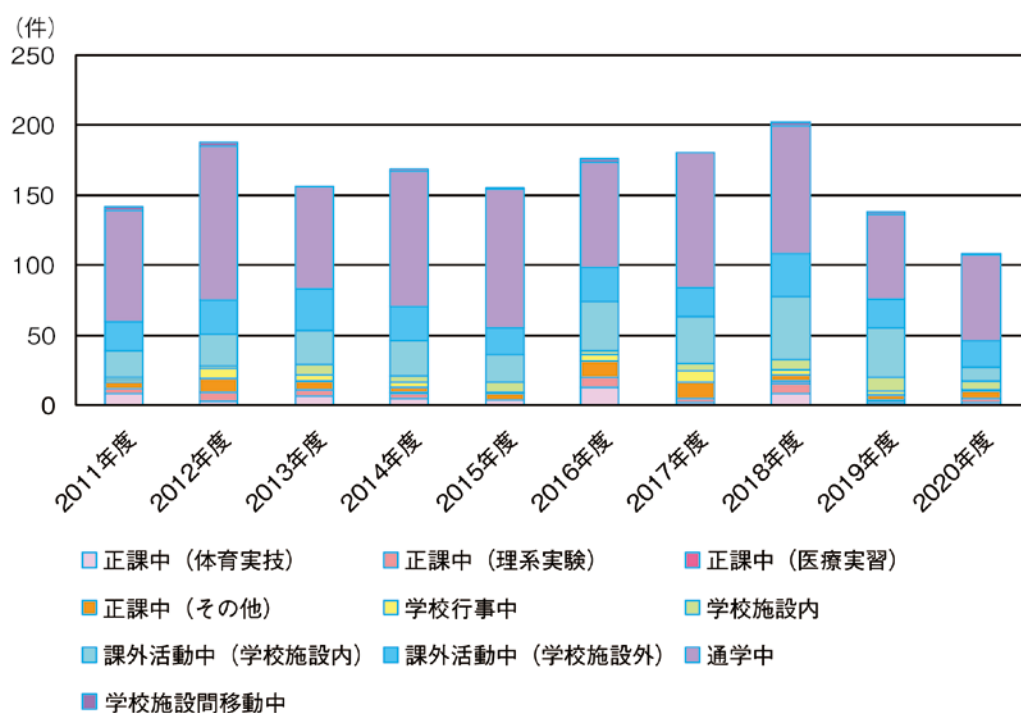


図14－① 後遺障害事故件数の推移

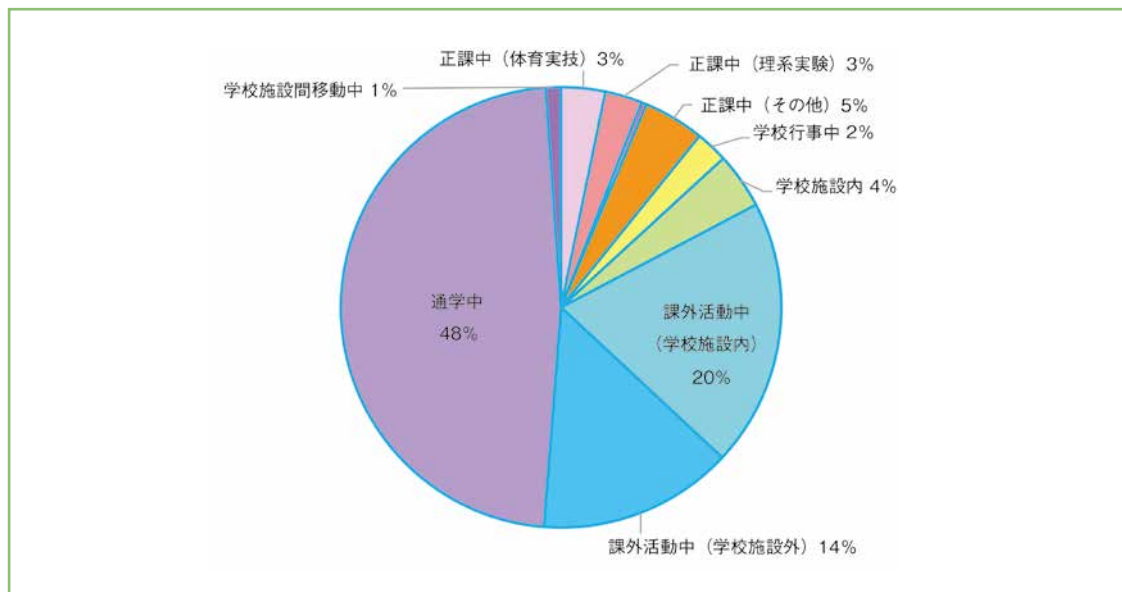


図 14-② 後遺障害事故件数の平均の比率

2016年度から2020年度までの5年間で804件の後遺障害事故が発生しており、後遺障害事故率としては、学研災加入学生10万人あたり年間5.7件の割合です。2015年度から2018年度までは増加傾向にありましたが、2019年度は前年度比で32%減少し、2020年度はさらに22%減少しています。

活動形態別の内訳（構成比率）を見ると、正課中に87件（10.8%）、学校行事中に19件（2.4%）、学校施設内で33件（4.1%）の事故が発生しています。後遺障害事故においてこれらの活動での事故は、後遺障害事故全体の17.3%となっています。残りの82.7%は、273件（34.0%）が課外活動（クラブ活動）中に、392件（48.8%）が通学・学校施設間移動中に発生していました。2017年度以降は、課外活動（クラブ活動）中と通学中・学校施設間移動中の事故が85%前後を占めています。

2016年度から2020年度までの正課中（体育実技中）の事故が8,639件であったのに対して、同じ期間の正課中（体育実技中）の後遺障害事故は26件でしたので、正課中（体育実技中）の事故の中で後遺障害を伴う事故の割合は0.3%となります。同様に、課外活動（クラブ活動）中の事故55,075件に対して、課外活動（クラブ活動）中の後遺障害事故は273件でしたので0.5%となります。

活動形態によって保険金支払いの対象となる治療日数が異なるため単純な比較はできませんが、通学中・学校施設間移動中の後遺障害事故は、7,715件に対して392件（5.1%）発生していることから、正課中（体育実技中）や課外活動（クラブ活動）中と比較して、高い確率で後遺障害が発生していることが分かります。

後遺障害の内容については、全般的には、局部に神経症状を残すもの、局部の機能に障害を残すもの、外貌に醜状を残すもの、脊柱に変形を残すものなどが多く、重い障害の中では、神経系統の機能又は精神に著しい障害を残すものや脊柱に変形を残すものが多くなっています。

(2)後遺障害事故の傾向

ア 正課中(体育実技中)の事故

2018年度から2019年度までの2年間の正課中(体育実技中)の後遺障害事故では、ソフトボールが2件、バスケットボール、バレーボール、サッカー、柔道がそれぞれ1件、その他が3件で計9件発生しています。

傷害種別では約半数が骨折でした。後遺障害事故の件数が少ないため、事故の傾向とまでは言えませんが、正課中(体育実技中)では骨折による事故で重い障害が残ることが多いようです。

イ 課外活動(クラブ活動)中の事故

2018年度から2019年度までの2年間の課外活動(クラブ活動)中の後遺障害事故は、131件発生しています。

競技種目別の事故件数は、野球が18件、ラグビーが17件、サッカーが12件、アメリカンフットボールが8件、バスケットボール、体操競技が6件、柔道、陸上競技が5件、ラクロス、ソフトボールが4件、バレーボール、ハンドボール、レスリング、スキー、自転車が3件となっています。事故全体で件数が多かった競技種目(サッカー、ラグビー、柔道、野球、アメリカンフットボール、バスケットボールなど)で、後遺障害事故が多く発生しています。

課外活動(クラブ活動)中の後遺障害事故は、死亡事故の場合とは異なり、活動に直接関係して発生したものがほとんどで、競技種目の特性に起因して、ボールや相手選手の体の一部が目当たる事故、相手選手と接触して骨折や脱臼する事故、関節を捻って靱帯を損傷する事故などが、毎年複数件発生しています。

また、件数は少ないものの、合宿中の交通事故や懇親会等での事故も発生しており、頭部の挫傷や頸部の骨折など、障害の部位や程度によっては重い障害が残る事故となっています。

傷害部位は、手指、顔部(目)、腰部、顔部(その他)、膝、頸部、顔部(歯)が多くなっています。また、傷害種別は、骨折が最も多く、後遺障害事故の約半数を占めており、じん帯損傷、脱臼、挫傷、打撲などが多くなっています。

ウ 通学中・学校施設間移動中の事故

2016年度から2020年度までの5年間の通学中・学校施設間移動中の後遺障害事故における移動手段別の事故件数を表16に示しています。また、移動手段別の事故件数の推移を図15－①に、移動手段の比率を図15－②、移動手段別の男女比率を図15－③に示しています。

表16 後遺障害事故における移動手段別の事故件数(単位:件)

移動手段	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
徒歩	3	3	3	6	4	6	2	2	2	5
自転車	13	12	21	16	22	22	13	12	13	12
原付	9	7	12	7	10	3	5	4	9	4
バイク	21	3	21	3	21	2	15	3	14	0
自動車	3	2	1	4	3	1	2	3	0	3
その他	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0
計	50	28	60	36	60	34	38	24	38	24

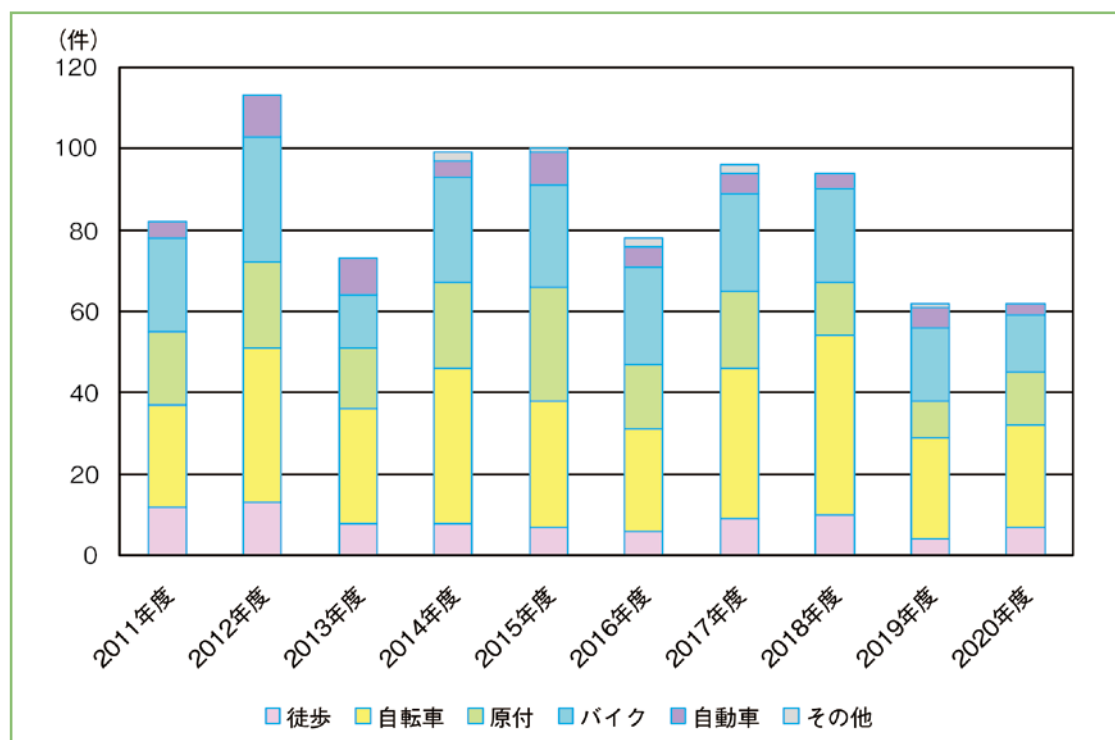


図15－① 後遺障害事故における移動手段別の事故件数の推移

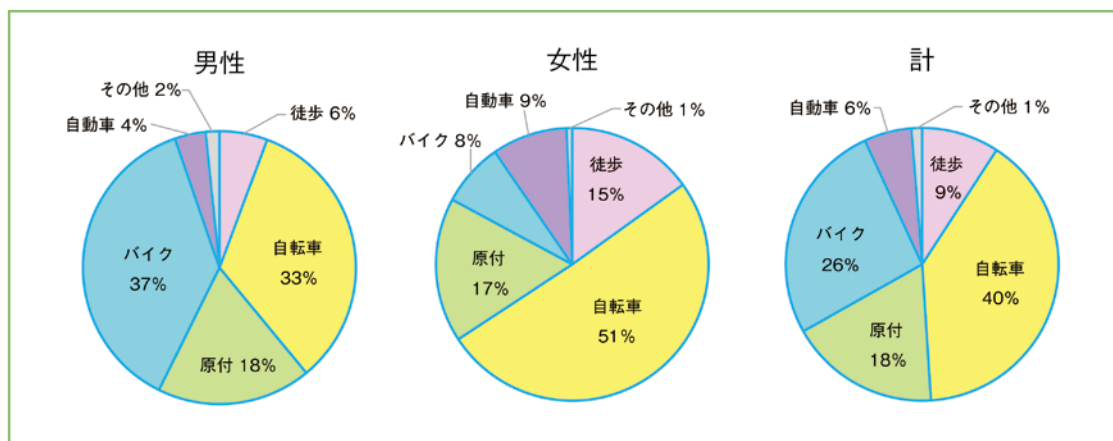


図 15-② 後遺障害事故における移動手段の比率

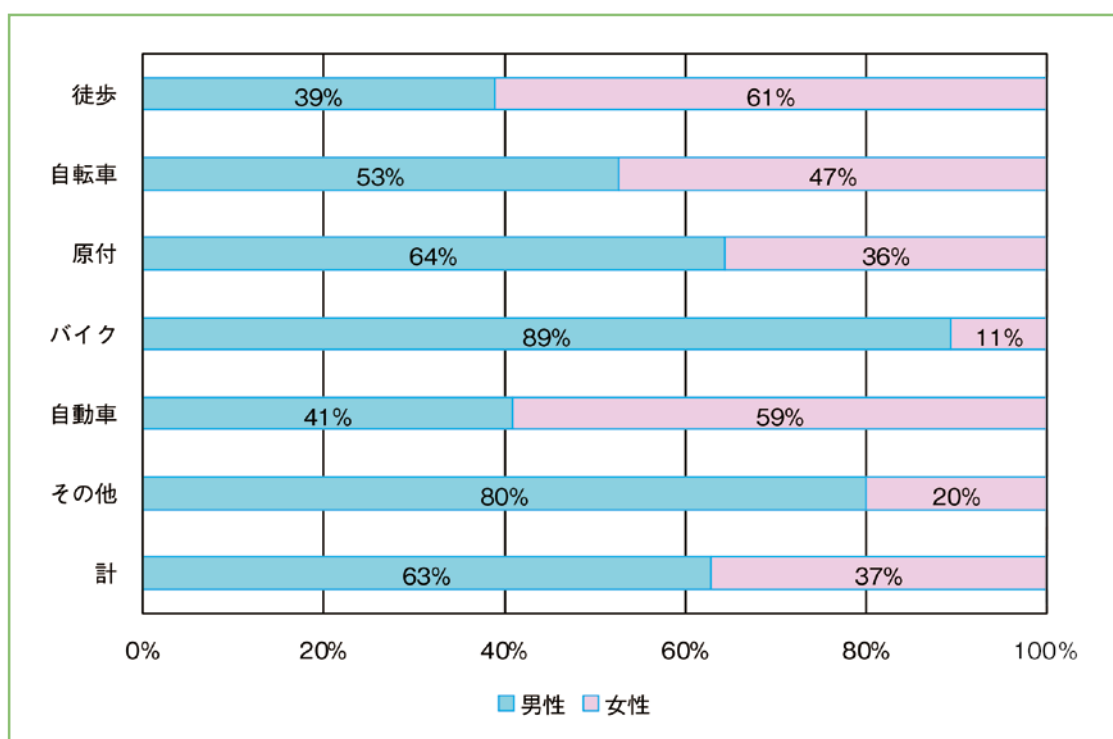


図 15-③ 後遺障害事故における移動手段別の男女比率

通学中・学校施設間移動中の事故では、他の活動形態と比較して、高い確率で後遺障害事故が発生していますが、2011年度から2015年度までの5年間における通学中・学校施設間移動中の後遺障害事故件数の平均が93.4件であったのに対して、2016年度から2020年度までの5年間の平均は78.4件でしたので、16ポイント以上減少しています。

2016年度から2020年度までの5年間の通学中・学校施設間移動中の後遺障害事故件数は392件で、移動手段別の事故件数の比率は、徒歩が36件(9.2%)、自転車が156件(39.8%)、原付が70件(17.9%)、バイクが103件(26.3%)、自動車が22件(5.6%)となっており、自転車での事故が最も多く発生しています。また、死亡事故と同様、移動手段にかかわらず、相手が

車の場合の事故が高い割合となっています。毎年、腰部や顔部の骨折、頭部の挫傷・打撲が多く発生し、頭部、頸部、腰部の骨折が重い障害になっています。

自転車、原付、バイクでの事故の合計が通学中・学校施設間移動中の事故の83.9%を占めていますが、男女別で見ると、自転車、原付、バイクそれぞれの比率は、男性が33.3%、18.3%、37.4%、女性が50.7%、17.1%、7.5%となっています。

通学中・学校施設間移動中の事故における移動手段別の比率を勘案すると、バイクでの事故が大きな事故に繋がることが多いことが分かりますが、この傾向は特に男性において顕著に見られますが、女性においても件数は少ないものの同じような傾向が見られます。

2011年度から2015年度までの比率と比較すると、男性のバイク、女性の自転車での事故の比率が高い傾向は変わりませんが、男女ともに原付が4ポイント程減少しているのに対して、自転車は、男性で3ポイント、女性で10ポイント程増加しており、自転車での事故の増加が目立っています。

なお、女性の徒歩での移動中の事故は、件数では男性の1.6倍、比率では男性の2.6倍になっており、2011年度から2015年度までの事故と同じような傾向になっています。

5 保険金支払状況からみた留学生がかかわった事故の推移と傾向

(1) 学研災における保険金支払状況

ア 留学生がかかわった学研災における事故の推移

2016年度から2020年度までに学研災の保険金が支払われた事故の中で、留学生がかかわった事故について、保険金支払対象区分別（活動形態別）の事故件数及び支払保険金額を表17、事故件数及び支払保険金額の推移を図16-①及び図16-②、保険金支払対象区分別（活動形態別）の事故件数及び支払保険金額の平均の比率を図16-③及び図16-④に示しています。

表17 留学生がかかわった事故の件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分（活動形態）		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
正課中	体育実技中	18	1,249	23	597	28	727	21	569	6	398
	理科系の実験中	24	188	32	190	24	125	22	125	21	4,729
	医療系の実習中	2	30	4	63	1	15	1	15	2	18
	その他	17	514	13	6,330	16	810	18	84	9	84
学校行事中		13	137	12	164	8	177	10	255	3	12
学校施設内		5	258	11	690	26	2,971	14	371	11	696
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	68	4,616	50	2,370	38	1,854	64	3,192	23	1,116
	学校施設外	11	1,214	7	624	9	518	14	960	4	490
通学中		52	4,762	42	4,261	57	2,547	45	3,624	22	3,756
学校施設間移動中		0	0	2	23	1	110	0	0	0	0
計		210	12,968	196	15,312	208	9,854	209	9,195	101	11,299

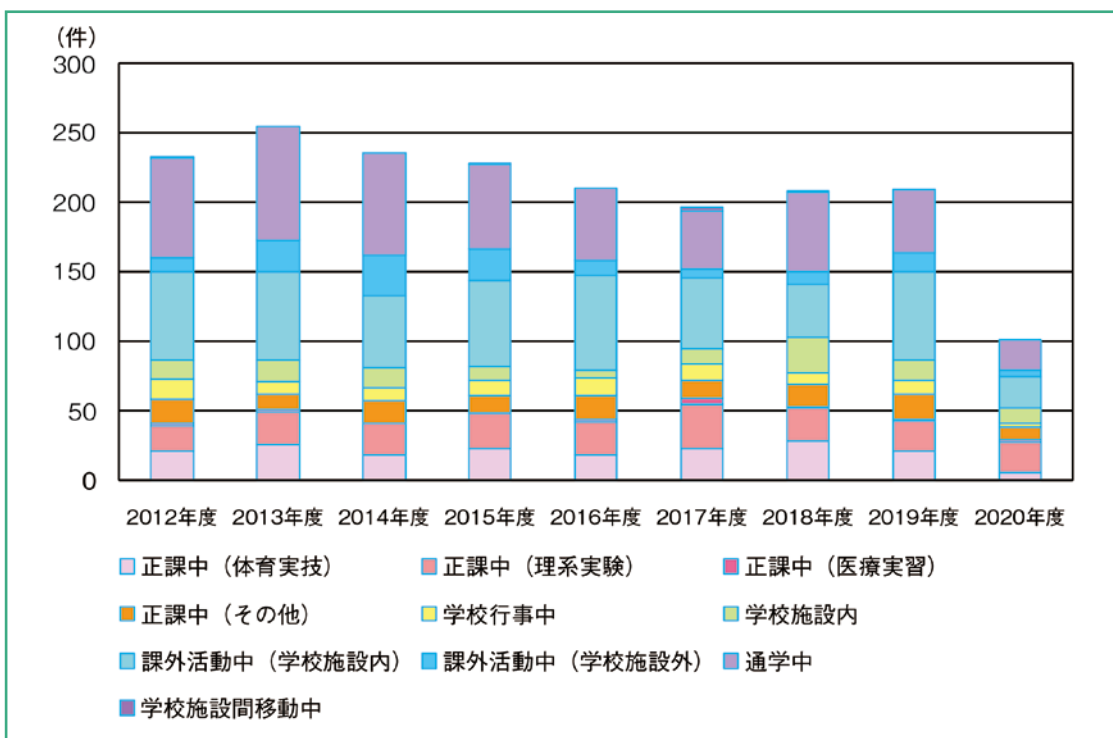


図16-① 事故件数の推移

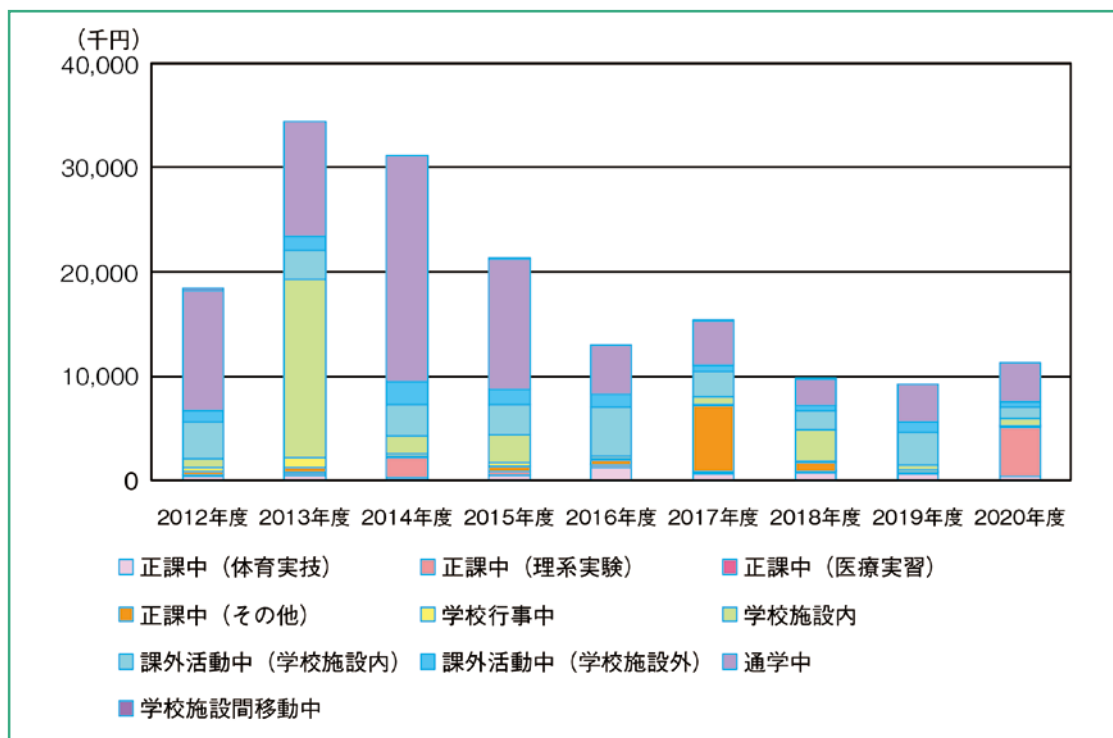


図 16－② 支払保険金額の推移

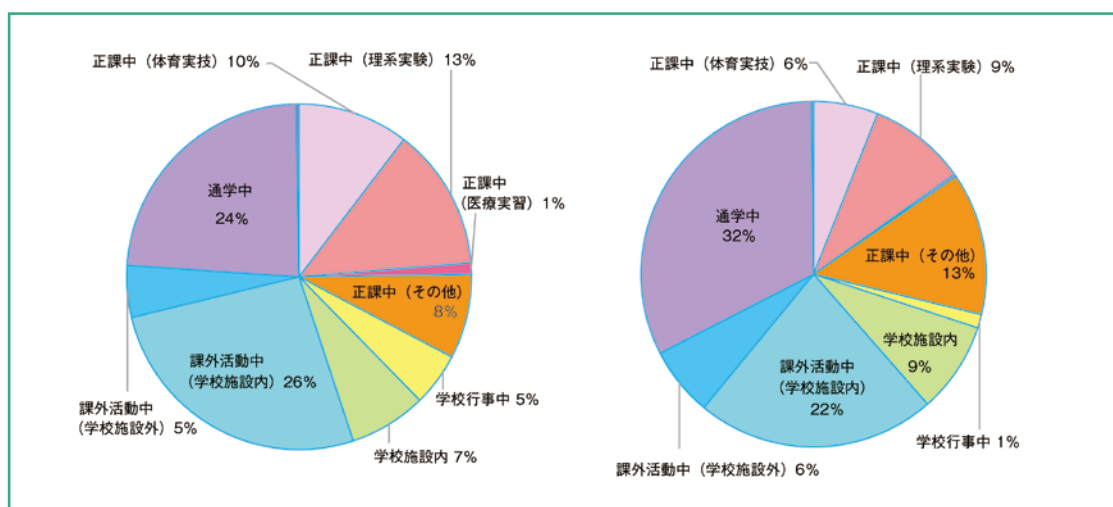


図 16－③ 事故件数の平均の比率

図 16－④ 支払保険金額の平均の比率

2016年度から2019年度までの4年間で、留学生がかかわった事故件数の平均は206件／年、支払保険金額の平均は11,832千円／年となっており、日本人学生がかかわった事故と留学生がかかわった事故を合わせた事故全体に対しては、件数は約1.1%、支払保険金額は約0.8%を占めています。

2012年度から2015年度までの4年間は、事故件数の平均が238件／年（事故全体の約1.5%）、支払保険金額の平均が26,322千円／年（事故全体の約2.1%）でしたので、事故件数、支払保険金額ともに減少しています。

そして、2020年度においては、事故件数では2019年度より52%減少していましたが、支払

保険金額では2019年度より23%増加していました。

事故件数は近年200件前後ですが、支払保険金額については、年度による差異が著しくなっています。これは、事故件数が比較的少ないために、後遺障害事故による高額な保険金の支払いが大きく影響しているためで、2020年度の支払保険金額が2019年度より増加していたのも正課中(理系実験)での後遺障害事故での支払保険金額が影響しています。

なお、留学生がかかわった事故の統計を取り始めた2012年以降、留学生に対して学研災の死亡保険金が支払われた事故は発生していません。

保険金支払対象区分別(活動形態別)の傾向については、留学生がかかわった事故では、正課中、課外活動(クラブ活動)中、通学中・学校施設間移動中の事故の比率が高くなっています。

一方、日本人学生がかかわった事故と留学生がかかわった事故を合わせた事故全体との比較においては、正課中や通学中・学校施設間移動中の事故は多く、課外活動(クラブ活動)中の事故は少なくなっています。日本人学生を含めた事故全体では、正課中、課外活動(クラブ活動)中、通学中・学校施設間移動中の事故の比率は、件数では19.6%、66.3%、9.3%、支払保険金額では10.8%、60.3%、23.4%になっているのに対して、留学生がかかわった事故は、件数では32.7%、31.2%、23.9%、支払保険金額では28.8%、28.9%、32.5%になっています。

また、件数も支払保険金額も低いものの、学校施設内の事故の比率が高くなっており、事故全体における比率との比較では、件数で2.9倍、支払保険金額で2.8倍となっています。

イ 留学生がかかわった学研災における事故の男女別の傾向

次に、男女別の留学生の事故の傾向について検討します。

2016年度から2020年度までの男女別の留学生の事故件数を表18、その男女比率を図17—①に示します。また、留学生の支払保険金額の男女比率を図17—②に示します。

表18 男女別の留学生の事故件数(単位:件)

保険金支払対象区分(活動形態)		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
正課中	体育実技中	12	6	12	11	17	11	14	7	2	4
	理科系の実験中	9	15	16	16	14	10	7	15	13	8
	医療系の実習中	2	0	2	2	0	1	1	0	2	0
	その他	7	10	6	7	9	7	9	9	3	6
学校行事中		7	6	7	5	4	4	3	7	2	1
学校施設内		3	2	7	4	10	16	5	9	6	5
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	64	4	40	10	34	4	58	6	21	2
	学校施設外	9	2	7	0	5	4	10	4	4	0
通学中		25	27	17	25	30	27	27	18	14	8
学校施設間移動中		0	0	2	0	1	0	0	0	0	0
計		138	72	116	80	124	84	134	75	67	34

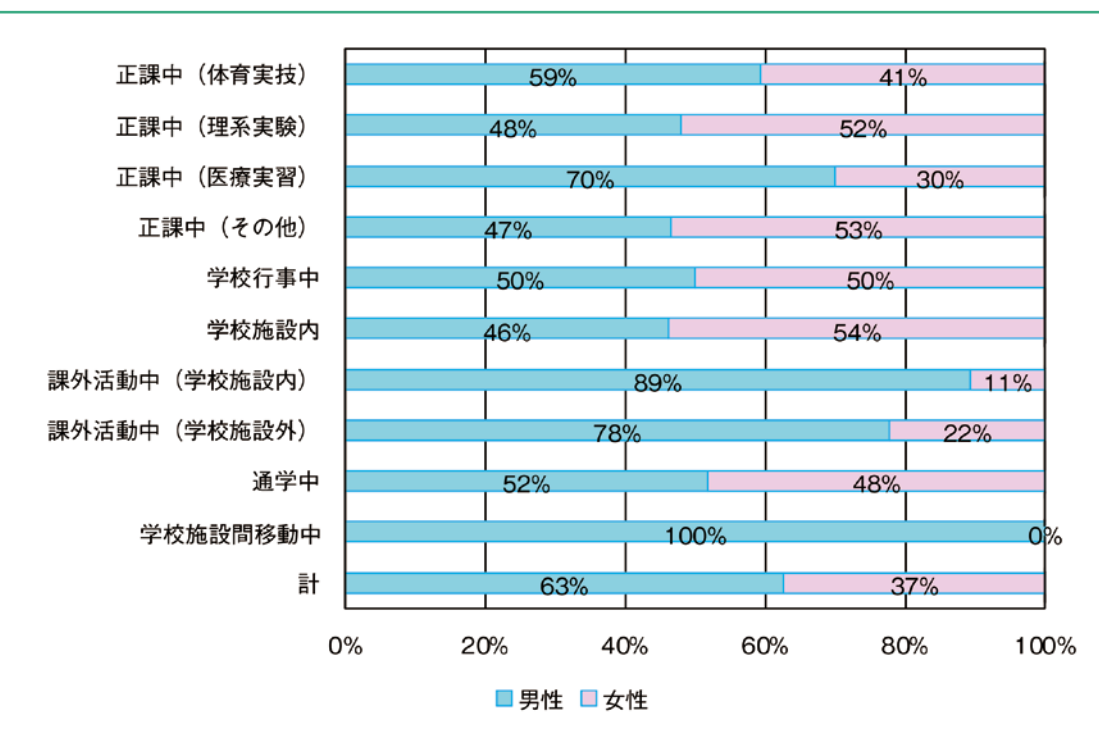


図 17 - ① 留学生の事故件数の男女比率

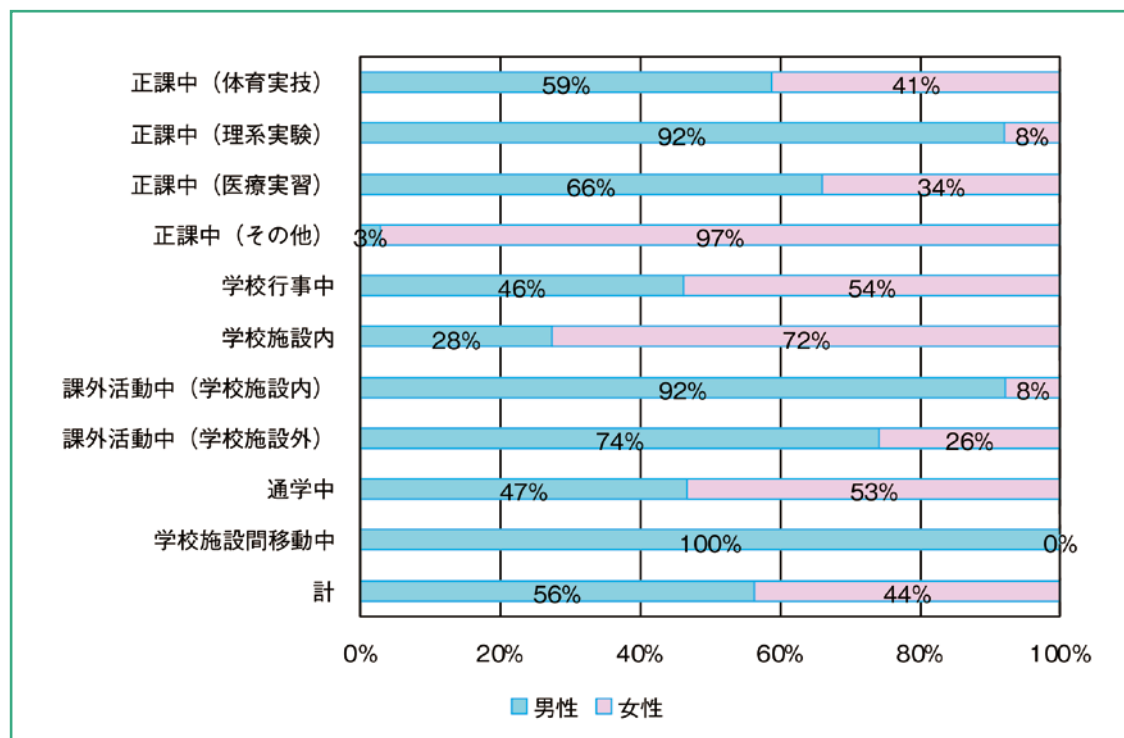


図17-② 留学生の支払保険金額の男女比率

事故件数の合計における男女比率は、男性63%、女性37%となっており、男性が女性の1.7倍になっています。保険金支払対象区分別（活動形態別）の事故件数における男女比率は、事故全体と概ね同じ傾向を示しており、正課中(52%:48%)、学校行事中(50%:50%)、学校施設内(46%:54%)、通学中・学校施設間移動中(52%:48%)における男女比率はほぼ同程度で、課外活動(クラブ活動)中(88%:12%)では男性が女性の7倍になっています。

一方、支払保険金額における男女比率については、課外活動(クラブ活動)中(88%:12%)及び合計(56%:44%)においては、事故全体の傾向と同様に、事故件数における男女比率と同じ傾向で男性が多くなっていますが、学校行事中(46%:54%)、学校施設内(28%:72%)、通学中・学校施設間移動中(47%:53%)においては、後遺障害保険金の支払いなどの影響で、女性が多くなっています。

なお、正課中(43%:57%)の理系実験で男性の、その他で女性の比率が極端に大きくなっているのも後遺障害保険金の支払いの影響によるものです。

ウ 留学生がかかわった学研災における後遺障害事故の推移と傾向

2016年度から2020年度までの学研災における後遺障害事故の中で、留学生がかかわった事故について、事故件数及び支払保険金額の推移は表19及び図18-①、図18-②、保険金支払対象区分別（活動形態別）の事故件数及び支払保険金額の平均の比率は図18-③、図18-④のとおりです。

表19 留学生の後遺障害事故件数及び支払保険金額の推移

保険金支払対象区分(活動形態)		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
正課中	体育実技中	1	900	0	0	0	0	0	0	0	0
	理科系の実験中	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4,500
	医療系の実習中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	6,000	1	720	0	0	0	0
学校行事中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学校施設内		0	0	0	0	1	2,250	0	0	0	0
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	1	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0
	学校施設外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通学中		2	1,500	3	2,370	0	0	1	1,500	1	2,250
学校施設間移動中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		4	3,900	4	8,370	2	2,970	1	1,500	2	6,750

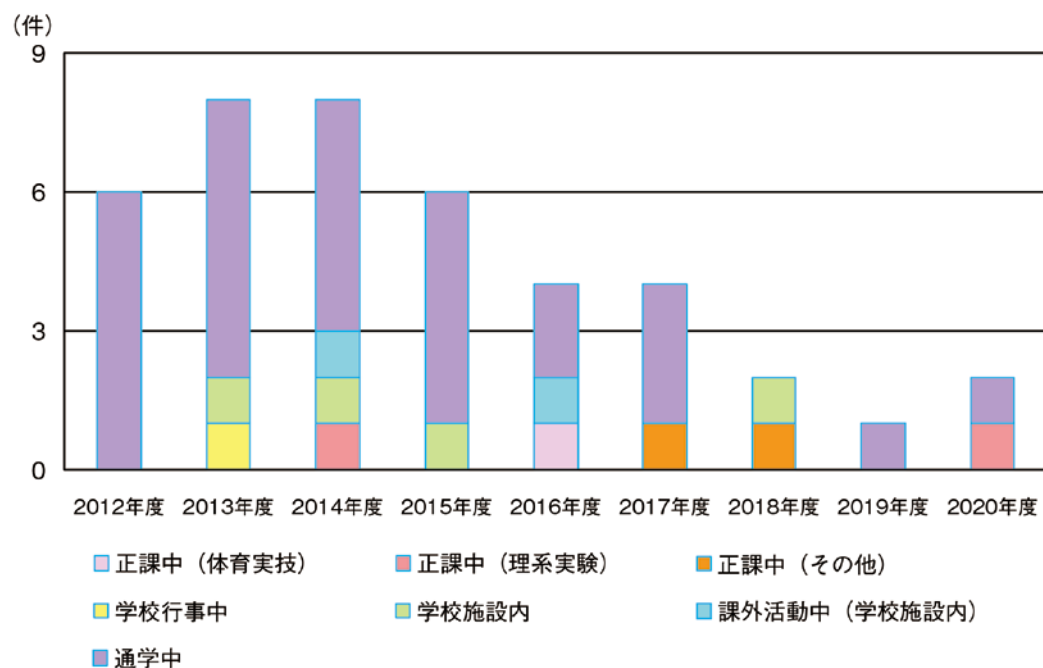


図 18－① 事故件数の推移

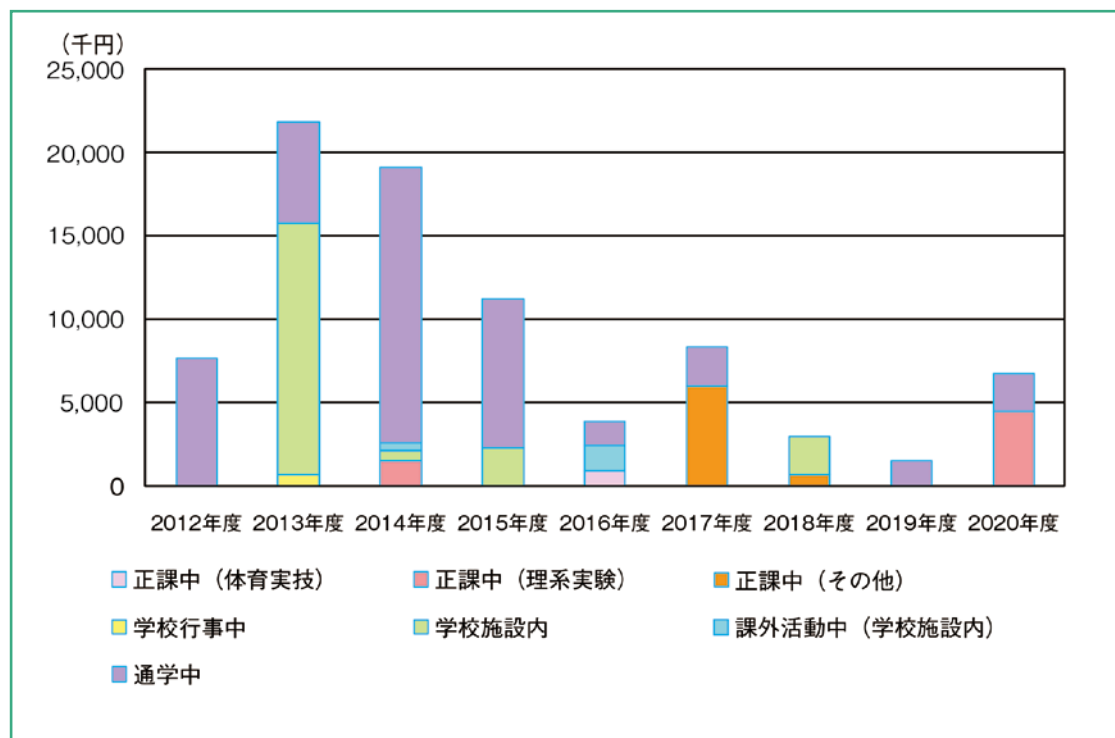


図 18 - ② 支払保険金額の推移

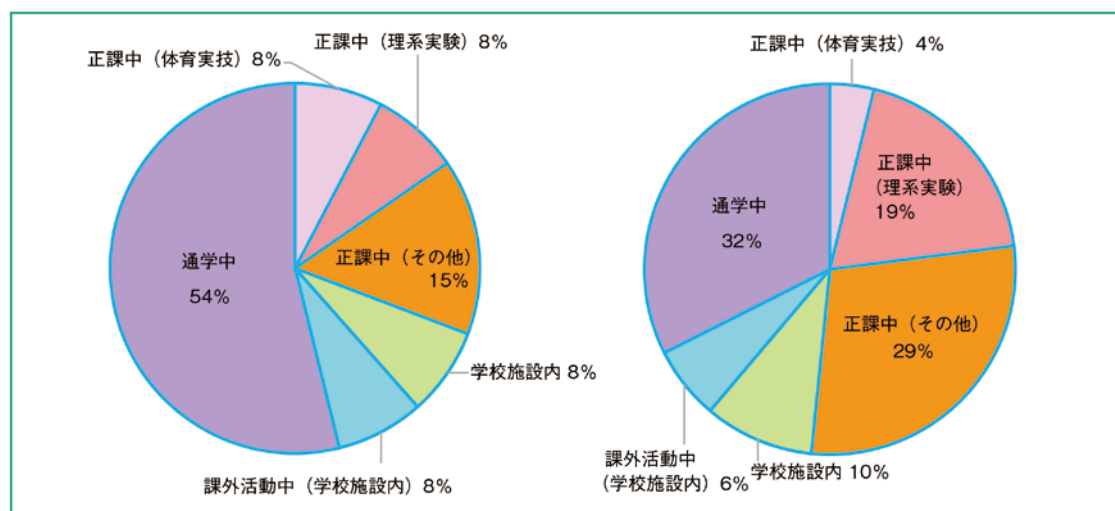


図 18 - ③ 事故件数の平均の比率

図 18 - ④ 支払保険金額の平均の比率

留学生がかかわった後遺障害事故は、2016年度から2019年度までの4年間で11件発生していますが、年々減少しています。2012年度から2015年度までの4年間では後遺障害事故の件数の平均は7件／年でしたが、2016年度から2019年度までの4年間では2.8件／年と半減しています。

2016年度から2019年度までの4年間の後遺障害事故全体に対しては、留学生がかかわった後遺障害事故における件数は約1.6%、支払保険金額は約1.0%を占めています。この数字は、事故全体に対しての留学生がかかわった事故の比率が、それぞれ1.1%、0.8%であったこと

を鑑みると、留学生はやや高い確率で後遺障害事故に遭遇しているということになります。2020年度は、正課中(理系実験)と通学中に各1件の後遺障害事故が発生しています。正課中(理系実験)の事故における支払保険金額が高額であったために、支払保険金額は2019年度の4.5倍になっています。

(2)インバウンド付帯学総における保険金支払状況

2017年度から2020年度までにインバウンド付帯学総において保険金が支払われた事故の保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額を表20、保険金支払件数及び支払保険金額の推移を図19-①及び図19-②、保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額の平均の比率を図19-③及び図19-④に示しています。

表20 保険金支払対象区分別(保険金種別)の保険金支払件数及び支払保険金額

保険金支払対象区分 (活動形態)	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
死亡	0	0	0	0	1	1,000	0	0
後遺障害	0	0	0	0	0	0	0	0
治療費用(ケガ)	0	0	0	0	91	683	61	818
治療費用(病気)	144	853	396	3,723	750	6,214	502	5,048
医療・通院	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・入院	0	0	0	0	0	0	0	0
賠償責任(対人)	1	14	1	149	7	1,644	1	56
賠償責任(対物)	3	281	8	1,039	22	2,311	20	2,767
救援者費用等	0	0	9	1,009	15	888	5	290
生活用動産	0	0	0	0	0	0	0	0
借家人賠償責任	0	0	0	0	0	0	2	136
計	148	1,149	414	5,920	886	12,741	591	9,116

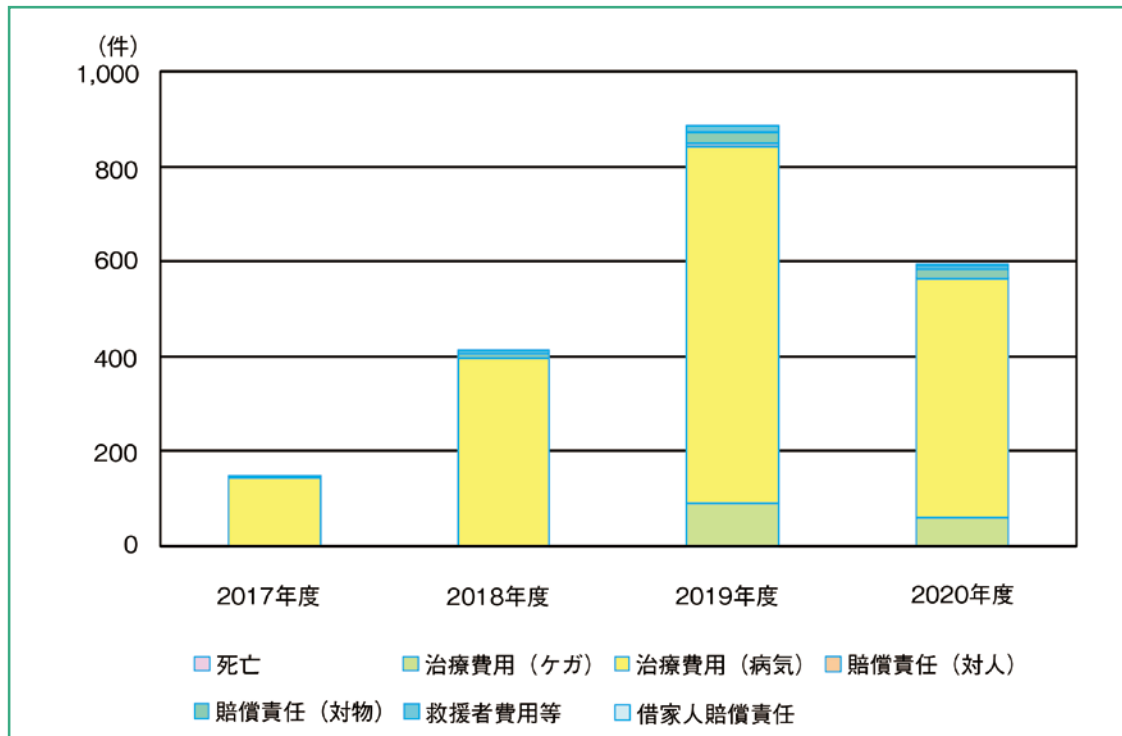


図 19 - ① 保険金支払件数の推移

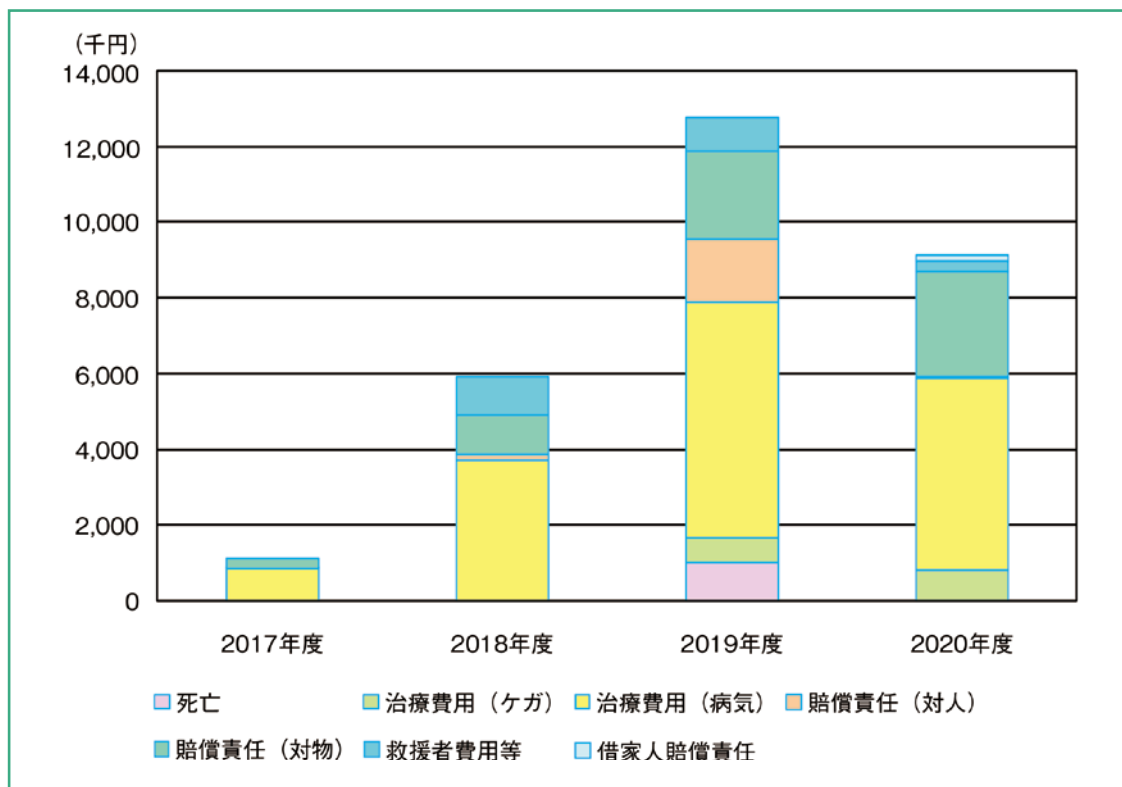


図 19 - ② 支払保険金額の推移

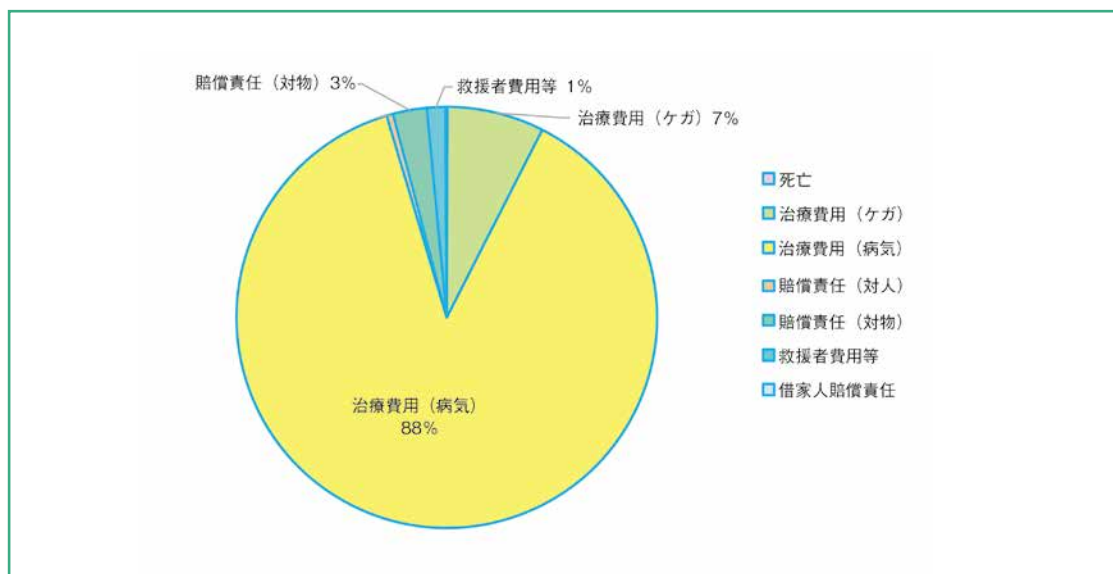


図 19-③ 保険金支払件数の平均の比率

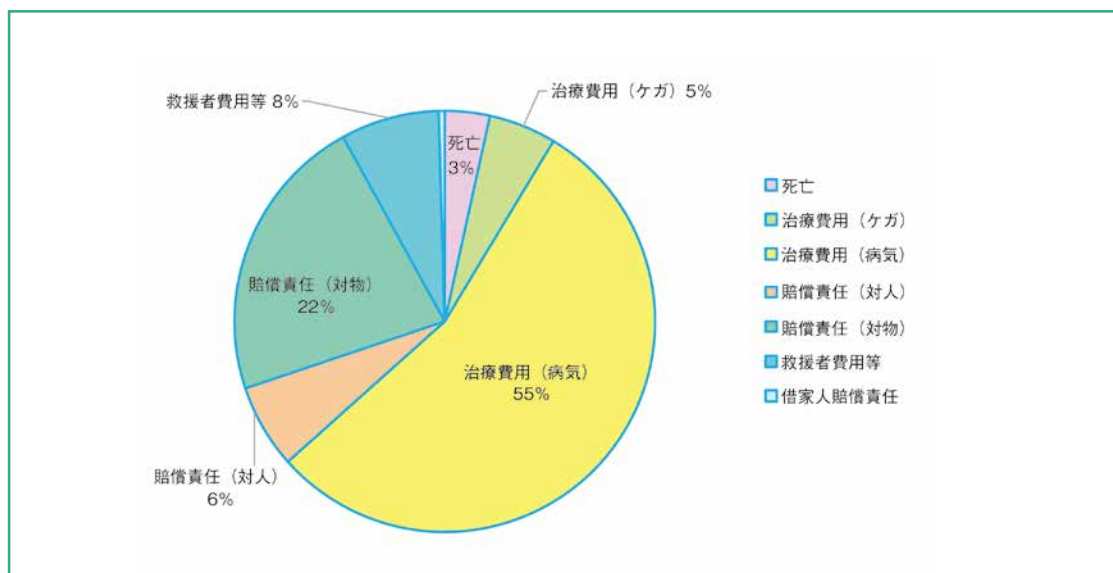


図 19-④ 支払保険金額の平均の比率

2017年度から2019年度までの3年間における保険金支払件数は1,448件、支払保険金額は19,809千円となっています。保険金支払件数は、年々増加しており、2017年度を100とした場合、2018年度が280、2019年度が599となっています。また、支払保険金額も年々増加し、2017年度を100とした場合、2018年度が515、2019年度が1,109となっています。

インバウンド付帯学総の加入学生数が、2017年度を100とした場合、2018年度が245、2019年度が364となっていることと比較すると、保険金支払件数及び支払保険金額の増加率が高いことが分かります。

なお、2020年度は、保険金支払件数が591件、支払保険金額が9,116千円となっており、2017年度を100とした場合、加入学生数が347、保険金支払件数が399、支払保険金額が794となっています。

保険金種別の保険金支払件数は、付帯学総と同様に、治療費用（病気）88%と治療費用（ケガ）7%でほとんどを占めています。

支払保険金額は、治療費用（病気）が55%と治療費用（ケガ）が5%となっていますが、付帯学総ではプランによっては補償対象となる学資費用がインバウンド付帯学総では補償の対象となっていないため、賠償責任（対人、対物）が30%、救援者費用が8%と比較的高くなっています。そして、2019年度には死亡事故が1件発生し、支払保険金額の3%を占めています。

5

保険金支払状況からみた留学生がかかわった事故の推移と傾向

6 新型コロナウイルス感染症の影響

(1)大学等の対応状況

ア 第1回目の緊急事態宣言発令時の対応

文部科学省資料(https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00016.html)によると、新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況として、第1回目の緊急事態宣言が7都府県に発令されていた2020年4月10日時点で、通常の授業の開始時期の延期や、遠隔授業などを実施又は検討中の大学等は全国で90%以上でした。緊急事態宣言の対象の7都府県(東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡)においては、全ての大学等において、通常の授業の開始時期の延期や、遠隔授業などを実施又は検討中でした。そして、緊急事態宣言が全国に拡大された期間においては、全国の約90%の大学等において、学生を集めて行う通常の授業の開始時期等を延期していました。例年通りの時期に実施している大学等でも、ほとんどが、遠隔授業の実施を決定又は検討していました。

緊急事態宣言が解除された以降においては、授業の実施状況について回答のあった大学等のほとんどで授業が実施されるようになりました。5月20日時点では、対面授業が実施されている大学等は遠隔授業との併用を含めても10%ほどで、約90%の大学等で、対面授業は実施されておらず、遠隔授業によって授業が実施されていましたが、その後、対面授業が徐々に再開され、6月1日時点で、学生を通学させて行う対面授業が実施されている大学等が約10%、対面授業と遠隔授業が併用されている大学等が約30%、遠隔授業によって授業が実施されている大学等が約60%となっていました。

イ 2020年度における授業の実施形態

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた大学等の前期授業の実施状況や後期授業の実施方針についての文部科学省の調査結果に基づく、2020年度における大学等の授業の実施形態を表21-①に、全体における授業の実施形態の比率を及び図20-①に示します。

ここでは、前期においては2020年7月1日時点の授業の実施方法について全国の国立大学86校、公立大学102校、私立大学824校、高等専門学校57校(計1,069校)を母数として、後期においては8月下旬から9月上旬における調査時点での授業の実施方針について国立大学86校、公立大学102校、私立大学815校、高等専門学校57校(計1,060校)を母数として集計しています。また、公立大学・私立大学には、それぞれ専門職大学・短期大学を含み、通信制課程のみを持つ大学を除いています。

表21-① 2020年度における授業の実施形態(単位:校)

	2020年度前期				2020年度後期			
	対面授業	対面・遠隔を併用	遠隔授業	計	対面授業	対面・遠隔を併用	その他	計
全体	173	642	254	1,069	205	849	6	1,060
国立大学	1	55	30	86	3	83	0	86
公立大学	8	72	22	102	10	91	1	102
私立大学	145	492	187	824	160	650	5	815
高等専門学校	19	23	15	57	32	25	0	57

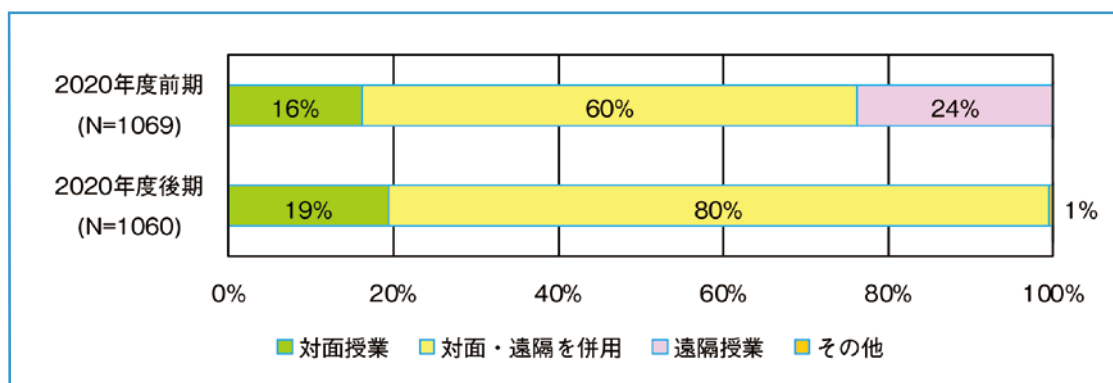


図20-① 2020年度における授業の実施形態の比率

2020年度前期における授業の実施方法は、対面授業が全面的に実施されている大学等が16%、対面授業と遠隔授業が併用されている大学等が60%、遠隔授業が全面的に実施されている大学等が24%となっていました。一方、2020年度後期においては、ほぼ全ての大学等が対面授業を実施し、80%が対面と遠隔の併用することを予定していました。

2020年度後期における授業の実施形態について、対面・遠隔を併用する場合を「ほぼ対面」、「7割対面」、「ほぼ半々」、「3割対面」、「ほぼ遠隔」に細分化して集計した学校数を表21-②に、その比率を図20-②に、地域別に集計した学校数を表21-③に、その比率を図20-③に示しています。地域別の集計においては、学研災における地域区分と異なり、表21-④に示す「北海道・東北」、「関東」、「中部」、「近畿」、「中国・四国」、「九州・沖縄」の6地域に区分して集計しています。

また、週に2日以上キャンパスに通うことができる学生の割合を表21-⑤及び図20-④に示しています。

表21-② 2020年度後期における授業の実施形態(単位:校)

	全面対面	対面・遠隔を併用					その他	計
		ほぼ対面	7割対面	ほぼ半々	3割対面	ほぼ遠隔		
全体	205	173	94	212	209	161	6	1,060
国立大学	3	6	6	22	43	6	0	86
公立大学	10	17	9	20	24	21	1	102
私立大学	160	138	76	165	140	131	5	815
高等専門学校	32	12	3	5	2	3	0	57

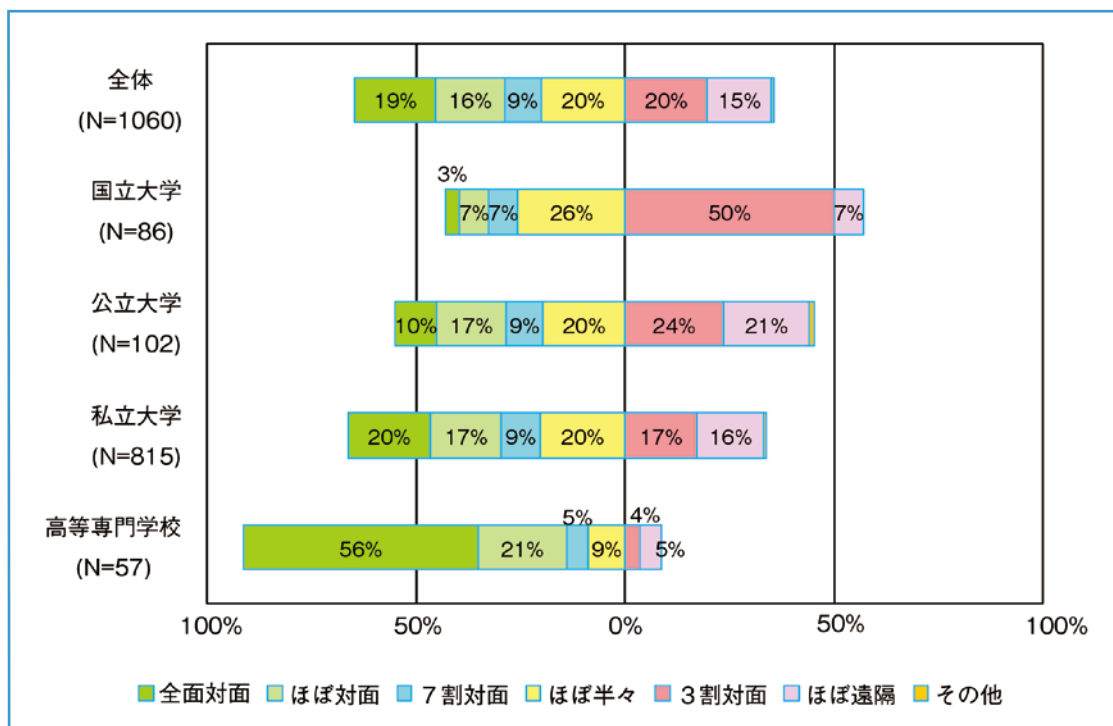


図 20-② 2020 年度後期における授業の実施形態の比率

表21-③ 2020年度後期における授業の実施形態(地域別)(単位:校)

	全面対面	対面・遠隔を併用					その他	計
		ほぼ対面	7割対面	ほぼ半々	3割対面	ほぼ遠隔		
全国	205	173	94	212	209	161	6	1,060
北海道・東北	41	32	12	15	17	3	1	121
関東	29	32	23	56	89	97	3	329
中部	41	35	19	49	29	21	1	195
近畿	29	28	26	51	37	20	0	191
中国・四国	35	28	6	17	11	9	0	106
九州・沖縄	30	18	8	24	26	11	1	118

表21-④ 地域区分と都道府県

地域区分	都道府県
北海道・東北	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

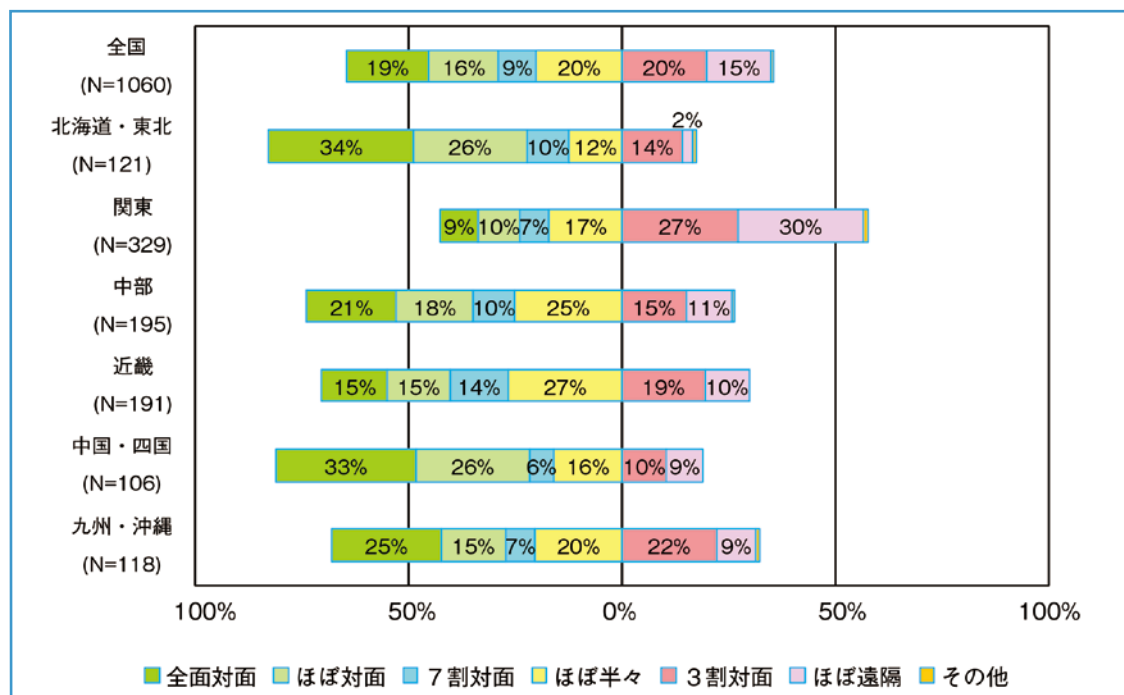


図 20-③ 2020 年度後期における授業の実施形態の比率（地域別）

表21-⑤ 週に2日以上キャンパスに通うことができる学生の割合（単位:校）

	ほぼ全員	2／3程度	半分程度	半分未満	原則入構不可	計
全国	619	123	123	194	1	1,060
北海道・東北	91	11	11	7	1	121
関東	124	42	53	110	0	329
中部	125	21	24	25	0	195
近畿	120	29	18	24	0	191
中国・四国	86	4	8	8	0	106
九州・沖縄	73	16	9	20	0	118

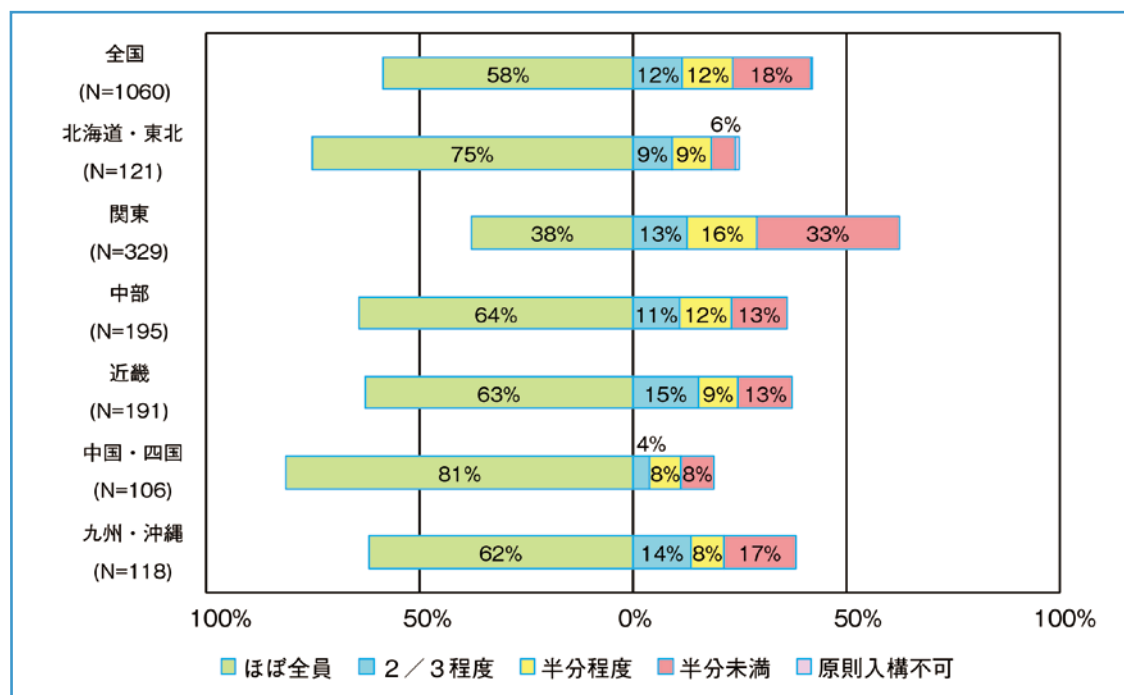


図 20-④ 週に2日以上キャンパスに通うことができる学生の割合

2020年度後期授業の実施形態としては、全体の65%がおおむね半分以上で対面授業を実施する予定となっていました。が、学校種別でこの比率をみると、国立大学(43%)や公立大学(55%)で低く、高等専門学校(91%)が高くなっています。

地域別では、おおむね半分以上で対面授業を実施する大学等の比率は、全国では65%ですが、関東(43%)が低く、北海道・東北(83%)や中国・四国(81%)が高くなっています。この比率は、通学機会と連関があり、ほぼ全員の学生が週に2日以上通学できると回答した大学等の比率は全国では58%ですが、遠隔授業の比率が高い関東(38%)では低く、遠隔授業の比率が低い北海道・東北(75%)や中国・四国(81%)では高くなっています。

(2)各保険における新型コロナウイルス感染症の影響

ア 事故件数の変化にみる新型コロナウイルス感染症の影響

支払保険金額は各保険の中でも加入しているタイプによって異なるため、新型コロナウイルス感染症が拡大する前後での事故件数又は保険金支払件数の変化から、2020年度の事故における新型コロナウイルス感染症の影響について考察します。

学研災、付帯賠償、付帯学総及び付帯海学における2016年度から2019年度までの事故件数又は保険金支払件数の平均と2020年度のそれとの比較を図21-①から図21-④に示しています。

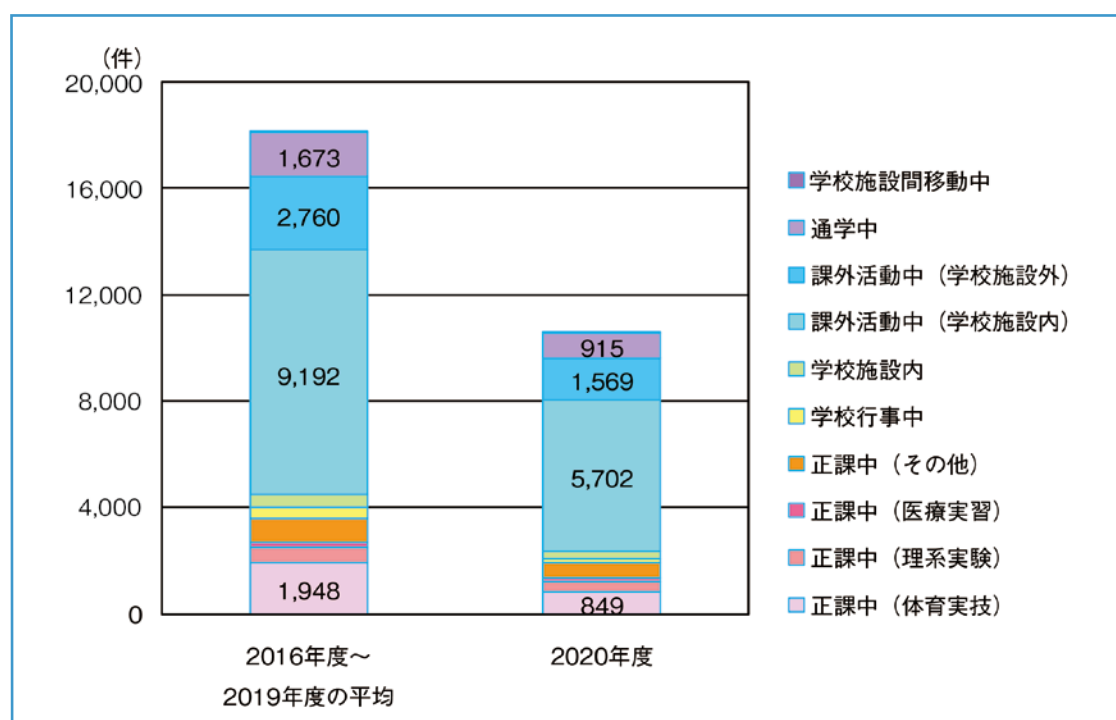


図21-① 学研災における事故件数の比較

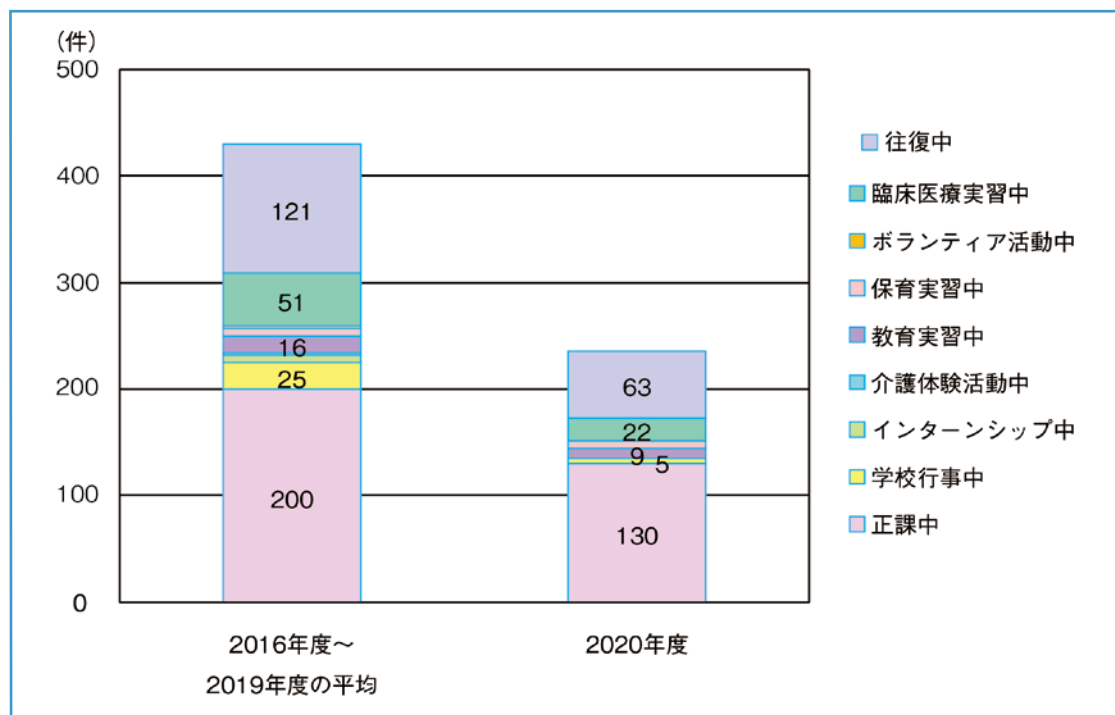


図 21 - ② 付帯賠償における事故件数の比較

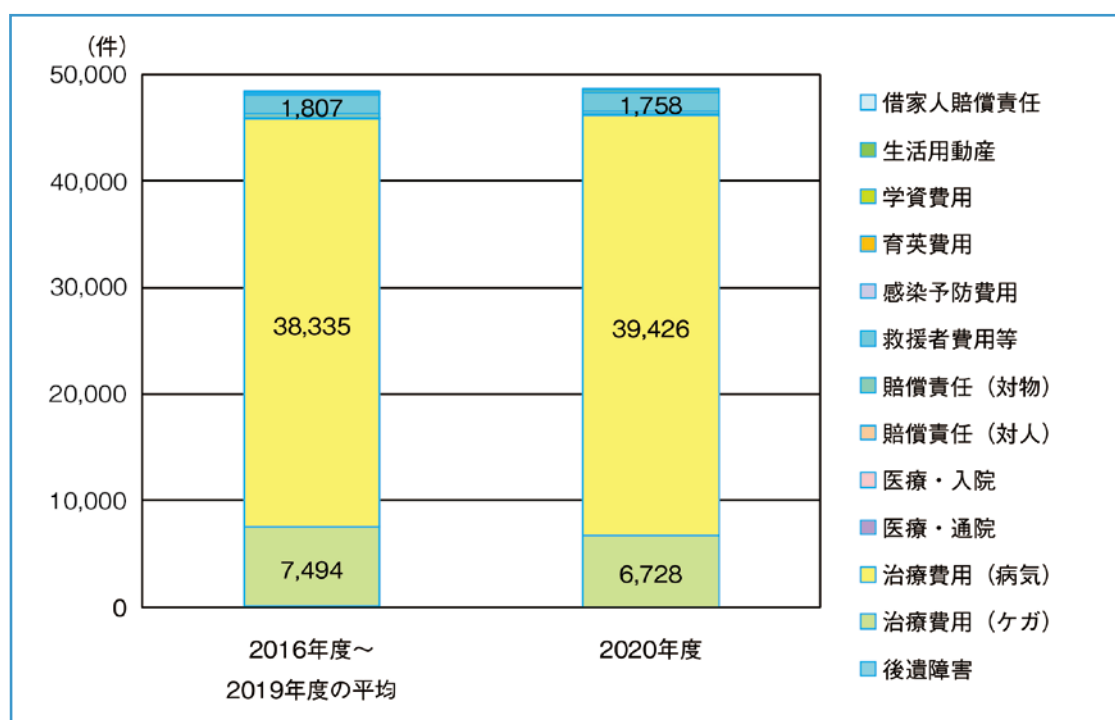


図 21 - ③ 付帯学総における保険金支払件数の比較

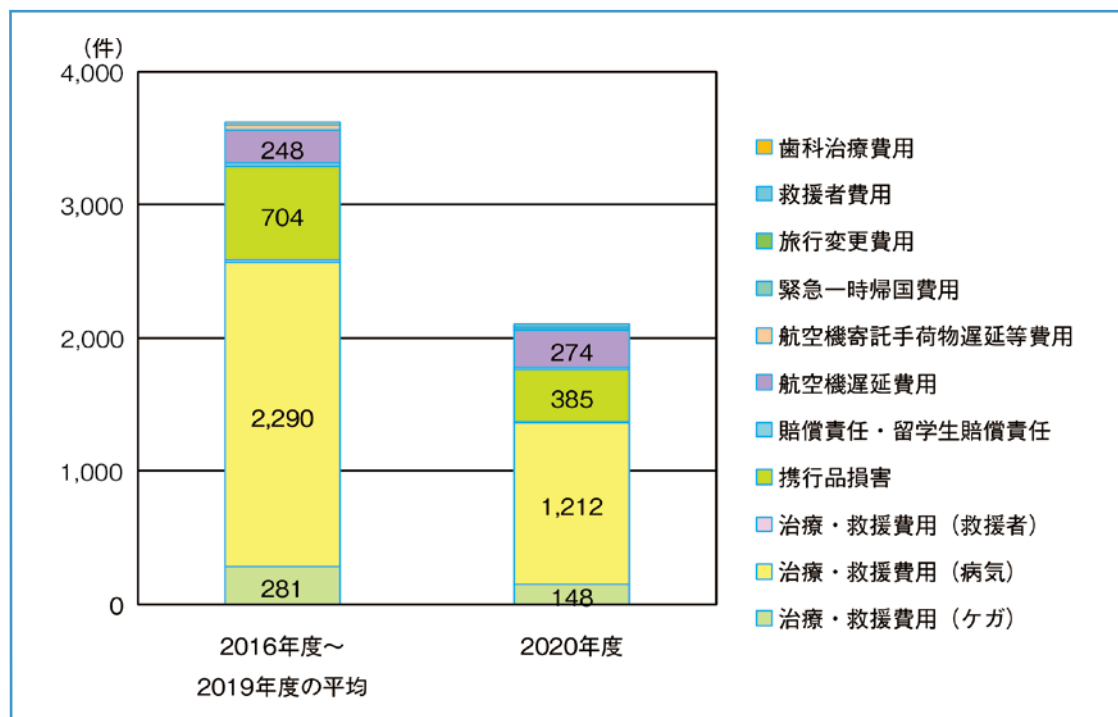


図 21 - ④ 付帯海学における保険金支払件数の比較

学研災における2020年度の事故件数は10,552件で、2019年度の事故件数の55.4%に、2016年度から2019年度までの事故件数の平均の58.2%に相当しています。2019年度までは前年度比5%前後で増加していたことを踏まえると、事故件数の大幅な減少は新型コロナウイルス感染症の影響によるものと推察できます。

事故件数の減少が大きかったのは、正課中(体育実技)で1,948件から849件に、課外活動中(学校施設内)で9,192件から5,702件に、課外活動中(学校施設外)で2,760件から1,569件に、通学中で1,673件から915件に、それぞれ減少しています。事故件数の減少率は、学校行事中の事故が73%減、正課中(体育実技)が56%減と大きくなっています。一方、学校施設内での事故や正課中(理系実験)は31%減、正課中(医療実習)は33%減となっており、他の活動形態に比較して小さな減少率にとどまっています。

付帯賠償における2020年度の事故件数は236件で、2019年度の事故件数の55.9%に、2016年度から2019年度までの事故件数の平均の54.9%に相当しています。

事故件数の減少が大きかったのは、学研災と同様の活動形態における、正課中で200件から130件に、学校行事中で25件から5件に、往復中で121件から63件に、それぞれ減少している他に、教育実習中で16件から9件に、臨床医療実習中で51件から22件に減少しています。また、インターンシップ中、介護体験活動中、ボランティア中の事故による保険金支払いは発生していませんでした。

付帯学総における2020年度の保険金支払件数は48,683件で、2019年度の保険金支払件数の81.5%に、2016年度から2019年度までの保険金支払件数の平均の100.5%に相当しています。

保険金支払件数の98%を占める治療費用(ケガ)、治療費用(病気)、救援者費用等は、2019年度と比較すると減少してはいますが、2016年度から2019年度までの平均と比較すると、それぞれ7,494件から6,728件に、38,335件から39,426件に、1,807件から1,758件になっており、治療費用(ケガ)と救援者費用等はやや減少していますが、治療費用(病気)は増加しています。

学研災や付帯賠償の事故件数がほぼ半減していたのに対し、付帯学総では日常的な事故や病気も含め24時間対応することができた結果、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることなく、ケガや病気の治療費用の保険金支払件数は例年同様の支払状況となっています。

付帯海学における2020年度の保険金支払件数は2,099件で、2019年度の保険金支払件数の36.1%に、2016年度から2019年度までの保険金支払件数の平均の58.1%に相当しています。2019年度からの減少率が学研災や付帯賠償以上に大きかったことを勘案すると、付帯海学では新型コロナウイルス感染症の影響がより一層大きかったことが窺えます。

保険金支払件数の91%を占める治療・救援費用(ケガ)、治療・救援費用(病気)、携行品損害は、2016年度から2019年度までの平均と比較すると、それぞれ281件から148件に、2,290件から1,212件に、704件から385件に減少しています。

他方で、航空機遅延費用が248件から274件に、旅行変更費用が0.25件から16件に増加しています。これらも、航空機の国際線運航への支障、留学計画の変更による中途帰国等、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響を少なからず受けたためと推測されます。

イ 保険金支払年度と事故発生年度の関係

ここまでの事故件数又は保険金支払件数については、当該年度に保険金が支払われた件数であり、当該年度に事故が発生した件数とは異なります。

2016年度から2020年度までの学研災における保険金支払年度別の事故発生年度の事故件数を表22及び図22-①に、保険金支払年度から3年度以内に事故が発生した事故件数の比率を図22-②に示しています。

また、2016年度から2020年度までの学研災における保険金支払年度別の事故発生年度の後遺障害事故件数を図22-③に、保険金支払年度から3年度以内に事故が発生した後遺障害事故件数の比率を図22-④に示しています。

表22 学研災における保険金支払年度別の事故発生年度の事故件数(単位:件)

		保険金支払年度					計
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
事故発生年度	2011年度以前	13	4	4	0	1	22
	2012年度	27	10	2	3	1	43
	2013年度	128	22	14	6	1	171
	2014年度	677	158	56	7	8	906
	2015年度	5,717	729	203	44	11	6,704
	2016年度	10,517	5,832	863	204	47	17,463
	2017年度		11,159	6,033	880	186	18,258
	2018年度			11,294	6,256	701	18,251
	2019年度				11,637	4,642	16,279
	2020年度					4,954	4,954
計		17,079	17,914	18,469	19,037	10,552	83,051

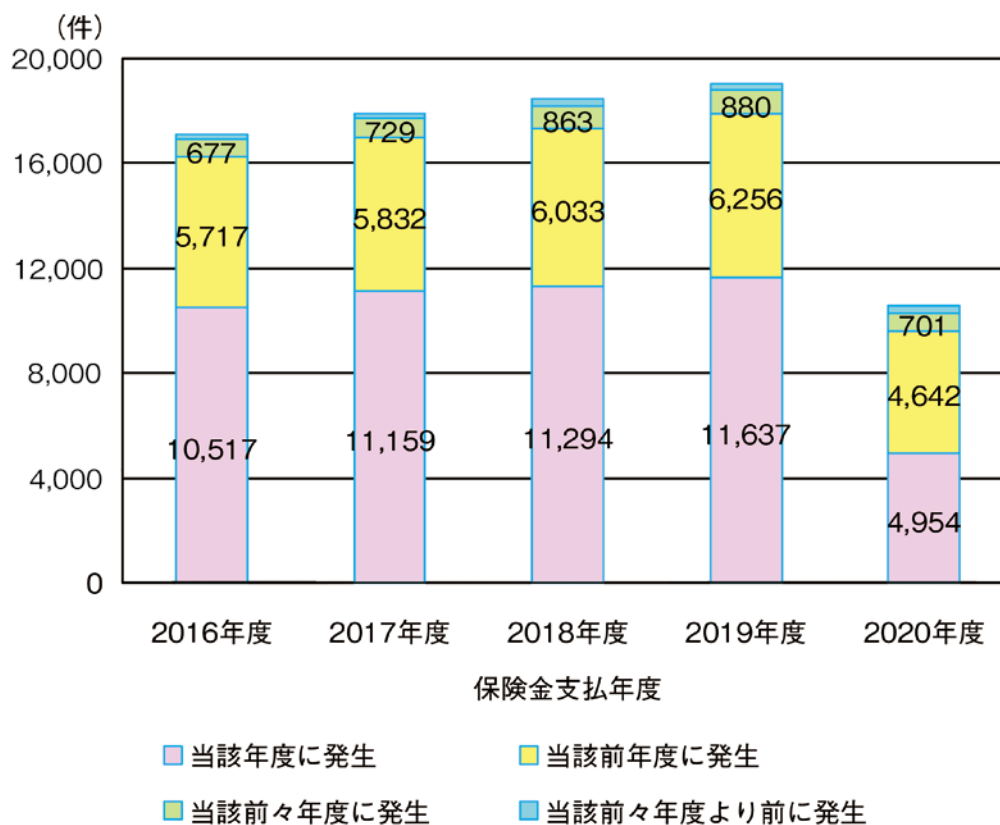


図 22 - ① 保険金支払年度別の事故発生年度の事故件数

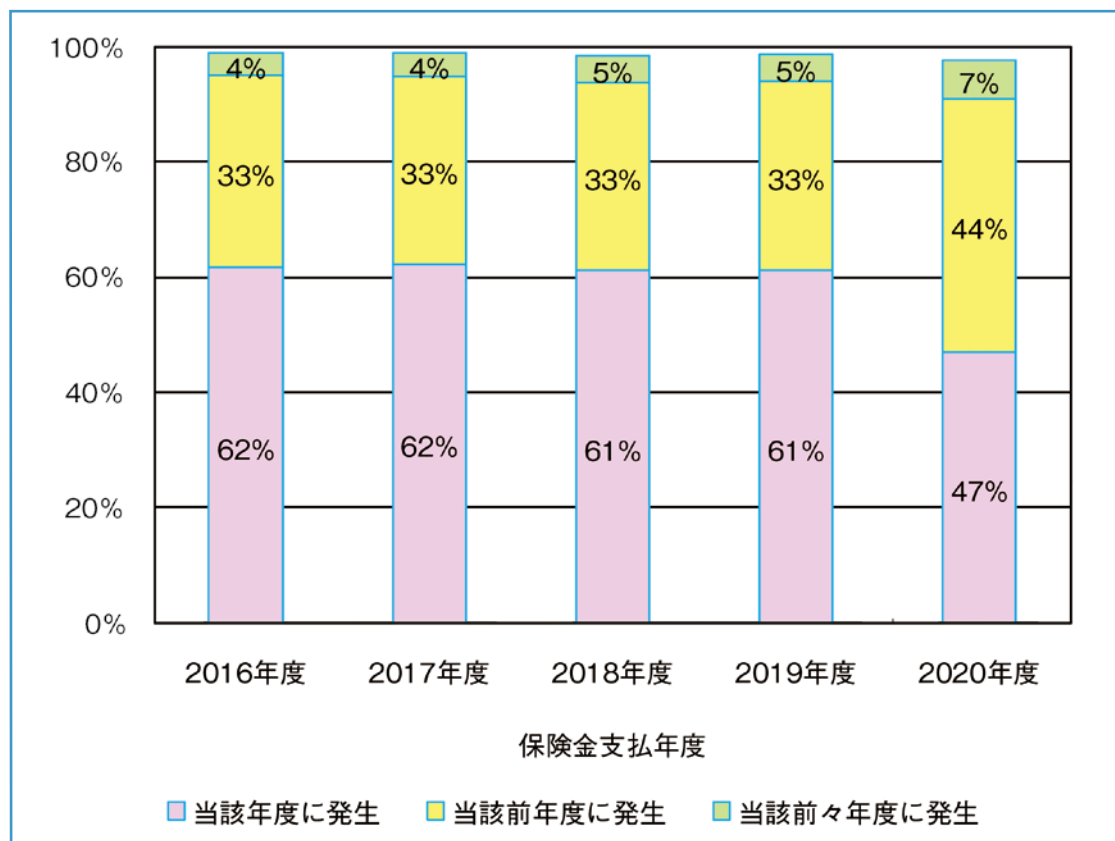


図 22 - ② 保険金支払年度から 3 年度以内に事故が発生した事故件数の比率

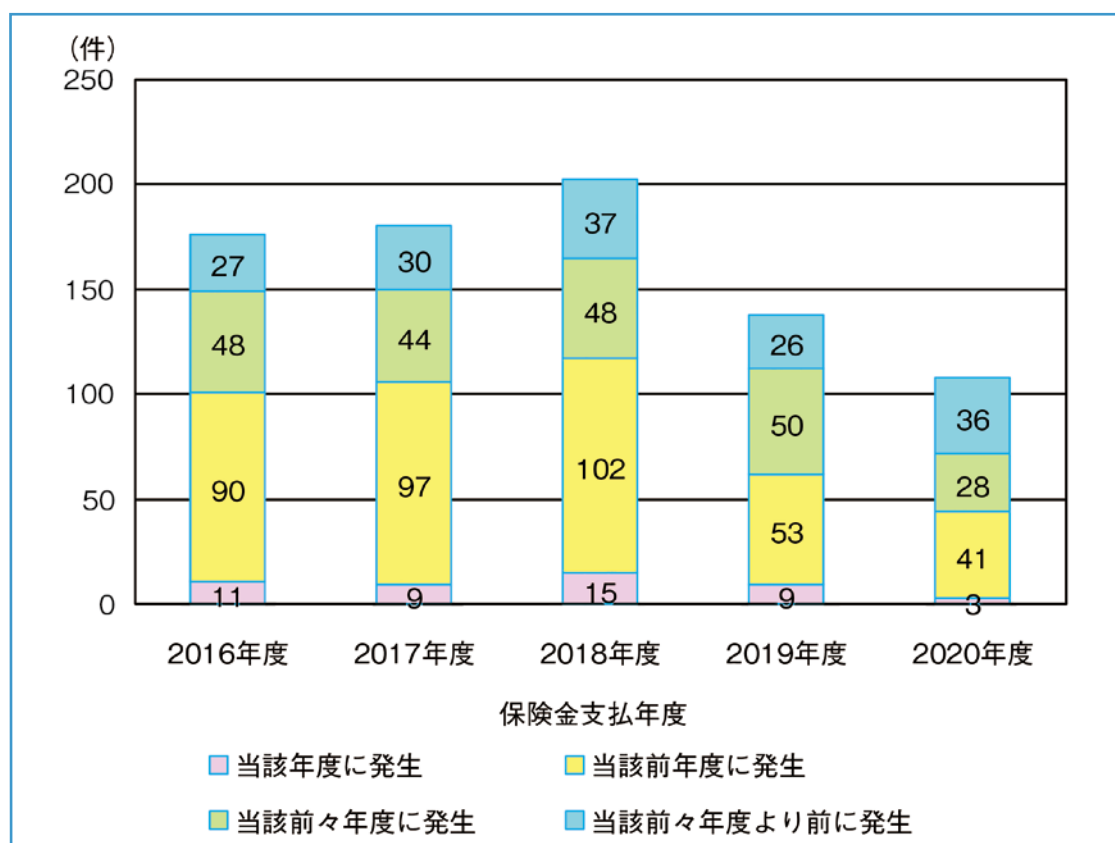


図 22 - ③ 保険金支払年度別の事故発生年度の後遺障害事故件数

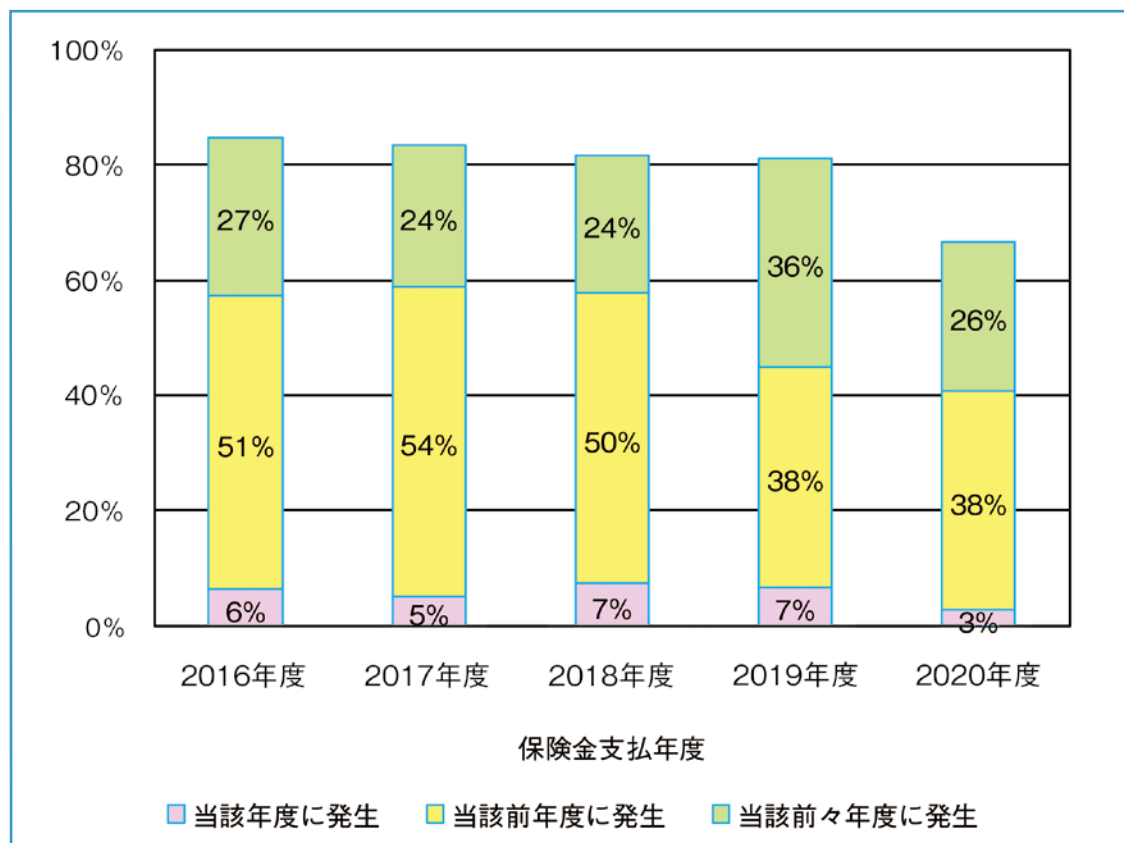


図 22 -④ 保険金支払年度から 3 年度以内に事故が発生した後遺障害事故件数の比率

2016年度から2019年度までにおいては、当該年度に保険金が支払われた事故件数に対する当該年度に事故が発生した件数の比率の平均は62%、当該前年度が33%、当該前々年度が4%で、3年度以内に事故が発生した件数の比率はほぼ一定して99%となり、当該前々年度より前に事故が発生していた件数の比率は1%にしか過ぎません。

2020年度に保険金が支払われた学研災の事故の中で2020年度に発生した事故件数の比率は47%で、例年より15ポイント程度減少しています。また、2020年度は2019年度に発生した事故件数の比率(44%)が例年の当該前年度の比率(33%)よりも大きくなっていますが、これは2020年度における2019年度に発生した事故件数が例年よりも大きくなったためではなく、2020年度に発生した事故の件数の大幅な減少によって、相対的に大きくなったものと考えられます。

一方、当該年度に保険金が支払われた後遺障害事故件数に対する当該年度に後遺障害事故が発生した件数の比率の平均は6%、当該前年度が48%、当該前々年度が28%で、3年度以内に事故が発生した件数の比率は83%となり、当該前々年度より前に後遺障害事故が発生していた比率は17%になります。後遺障害を伴わない事故と異なり、後遺障害事故が発生したその年度に保険金が支払われることは少なく、4年度内で93%、5年度内でようやく97%となっています。

そして、保険金支払年度と事故発生年度の関係を勘案し、当該年度に発生した事故件数という観点から比較すると、2020年度に保険金が支払われた事故の中で2020年度に発生した事故の件数は4,954件で、2019年度に保険金が支払われた事故の中で2019年度に発生した事故の件数11,637件から57%の減少となっています。

一方、2020年度に保険金が支払われた事故の中で2019年度に発生した事故の件数は4,642件で、2019年度に保険金が支払われた事故の中で2018年度に発生した事故の件数6,256件から26%の減少となっています。保険金が支払われた年度の前年度に発生した事故の前年度比が2019年度までは前年度比で3%前後増加していたことを踏まえると、2021年度以降の保険金支払い状況によっては、2019年度に発生した事故の支払件数が増えて、2020年度に発生した事故の件数は2019年度と比較してより大きな減少となり、新型コロナウイルス感染症の影響がより大きなものであったと評価される可能性もあります。

ウ 月別の事故件数

2016年度から2019年度までに保険金が支払われた学研災の月別の平均事故件数と2020年度に保険金が支払われた学研災の月別の事故件数の比較(支払年度別)を図23-①に示しています。

そして、2020年度に保険金が支払われた学研災の事故の中で2020年度に発生した事故の月別の件数(活動形態別)を表23に、2016年度から2019年度までに保険金が支払われた学研災の月別の平均事故件数と2020年度に保険金が支払われた学研災の事故の中で2020年度に発生した月別の事故件数の比較(活動形態別)を図23-②に、2016年度から2019年度までの月別の事故件数の比率と2020年度に発生した月別の事故件数の比率の比較(活動形態別)を図23-③に示しています。

本来であれば、各年度に発生した事故の月別の件数を基に比較することが望ましいのかもしれませんが、各年度に発生した事故の全てで保険金が支払われているかは把握できないこと、複数年で平均をとることによって月別の事故の傾向は十分把握できることなどを勘案して、2016年度から2019年度までの月別の件数は当該年度に保険金が支払われた学研災の事故の月別の件数を基に比較しています。

また、2020年度の集計においては、2020年度に保険金が支払われた事故ではなく2020年度に発生した事故について考察することが、2020年度の事故における新型コロナウイルス感染症の影響について考察することに直結していることを踏まえ、2020年度の月別の件数は2020年度に発生した事故の月別の件数を基に比較しています。

いずれにしても、2020年度に発生した事故であっても、2020年度中に保険金が支払われていない事故は集計されていませんので、2020年度の事故における新型コロナウイルス感染症

の影響をより詳細に分析するためには、2021年度以降のデータが必要となります。

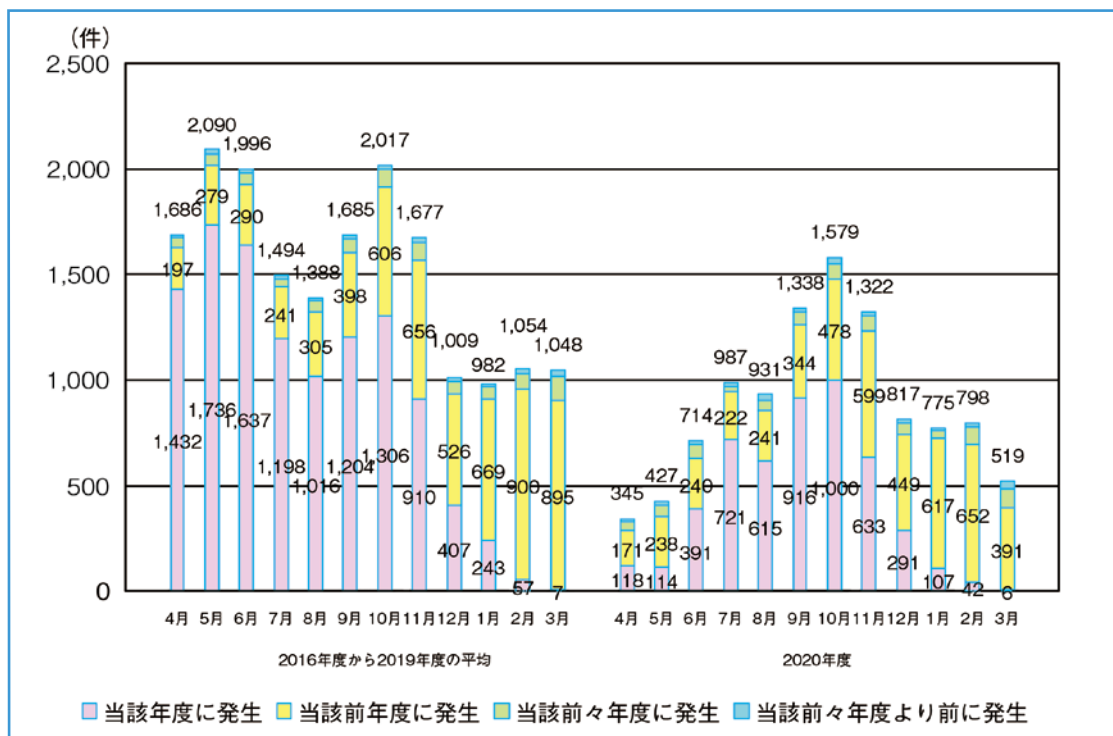


図 23－① 月別の事故件数の比較（支払年度別）

表23 2020年度に発生した事故の月別の件数（活動形態別）（単位:件）

保険金支払対象区分(活動形態)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
正課中	体育実技中	1	1	35	70	13	20	98	104	75	10	4	0
	理科系の実験中	4	2	30	45	27	36	55	46	44	24	12	2
	医療系の実習中	0	0	3	9	8	13	21	10	11	1	3	1
	その他	0	5	37	44	52	69	85	76	45	18	11	3
学校行事中		0	1	1	2	2	7	11	9	3	0	2	0
学校施設内		8	9	12	24	3	9	19	17	13	6	1	0
課外活動 (クラブ活動)中	学校施設内	88	83	222	426	426	609	547	261	54	35	5	0
	学校施設外	6	7	13	34	58	110	97	66	22	8	1	0
通学中		11	6	38	67	25	43	65	44	24	5	3	0
学校施設間移動中		0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0
計		118	114	391	721	615	916	1,000	633	291	107	42	6

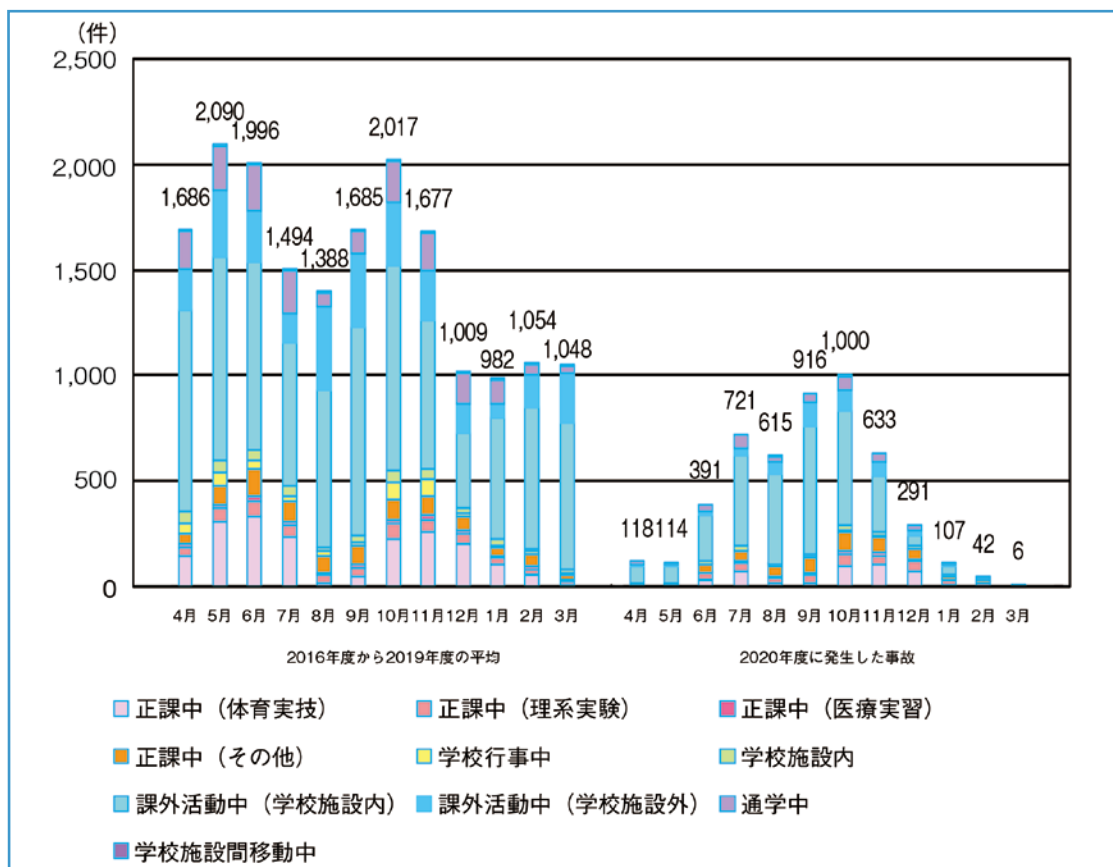


図 23 - ② 月別の事故件数の比較（活動形態別）

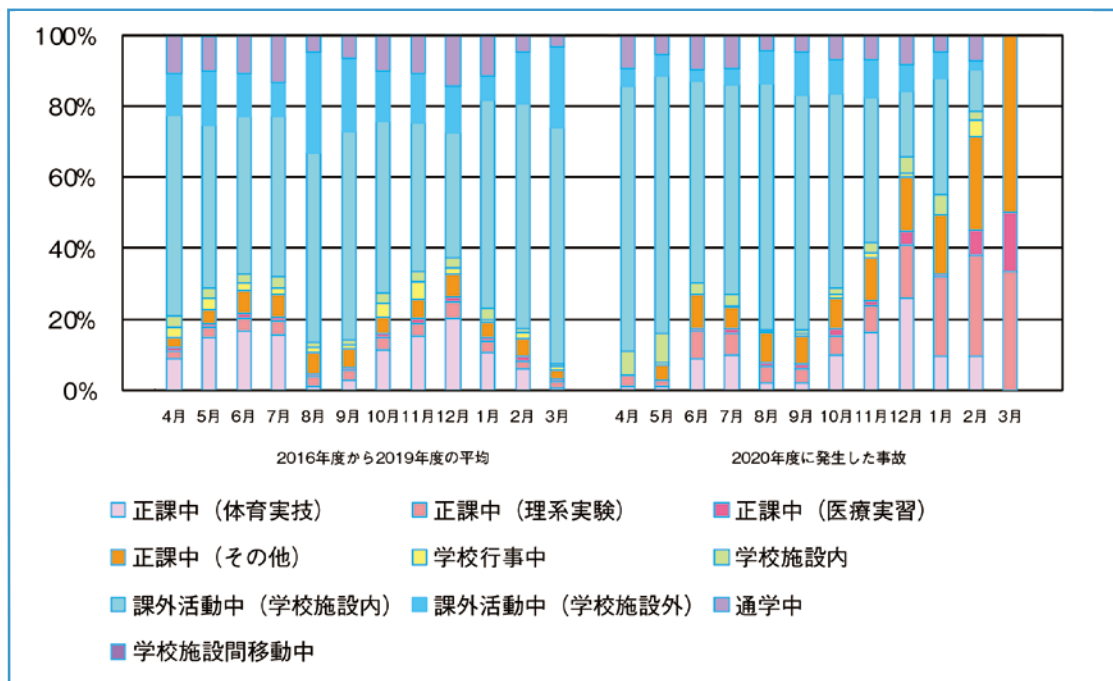


図 23 - ③ 月別の事故件数の比率の比較（活動形態別）

2016年度から2019年度までの事故の月別の平均件数において、当該年度に事故が発生した件数に着目すると、前期が多く、後期が少なくなっています。そして、1月以降特に、2月と3月では非常に少ない件数になっています。逆に、2月と3月は当該前年度に事故が発生し

た件数が高くなっています。

一方、2020年度の事故の月別の件数においては、2020年度に事故が発生した件数は、4月から徐々に増加した後、10月をピークにしてそれ以降減少傾向に転じています。そして、2月と3月は当該前年度に事故が発生した件数の比率が高いのは例年と同様ですが、件数が例年より大きく減少していることから、この頃から新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたものと考えられます。

2020年度に発生した事故の月別の件数について、活動形態別に見てみると、前期においては、緊急事態宣言の発令で授業開始時期が延期されたり、宣言解除後も約90%の大学等で対面授業は実施されておらず、正課中、学校行事中、通学中の事故は非常に少なく、4月と5月に発生した232件の事故の74%が学校施設内での課外活動(クラブ活動)中の事故でした。

その後、対面授業が徐々に再開され、遠隔授業との併用も含めて対面授業が実施されている大学等が6月には30%、7月には76%となり、課外活動中の事故以外の事故の件数も徐々に増加していました。例年は5月頃をピークにして6月から7月にかけての期間は事故件数が減少するのですが、2020年度においては6月から7月にかけての期間は、対面授業の増加に合わせるかのように、全ての活動形態で事故件数が倍増していました。

一方、後期においては、ほぼ全ての大学等で対面授業を実施していましたが、遠隔授業との併用も80%ありましたので、事故件数は例年の半分以下になっています。後期は、当該年度に発生した事故としては、ピークとなる10月以降は事故件数が減少傾向になる例年同様のパターンになっています。1月以降に極端に少ない件数になっているのは、当該年度内に保険金が支払われていない事故もあるためであり、例年と同様の傾向となっています。

月別の事故の活動形態別比率では、例年12月から3月にかけて高い比率になる課外活動中の事故ですが、2020年度に発生した事故では、12月から2月における課外活動中の事故の比率が低くなっているのが目立っています。

エ 地域別の事故件数

2020年度に保険金が支払われた学研災の事故の中で2020年度に発生した事故の地域別の件数(活動形態別)を表24に、2016年度から2019年度までに保険金が支払われた学研災の地域別の平均事故件数と2020年度に保険金が支払われた学研災の事故の中で2020年度に発生した事故の地域別の件数の比較(活動形態別)を図24-①に、2016年度から2019年度までの月別の事故件数の比率と2020年度に発生した事故の月別の件数の比率の比較(活動形態別)を図24-②に示しています。

表24 2020年度に発生した事故の地域別の件数（活動形態別）（単位:件）

保険金支払対象区分（活動形態）		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
正課中	体育実技中	13	23	89	83	110	42	11	60
	理科系の実験中	9	21	94	58	83	21	8	33
	医療系の実習中	4	8	23	20	10	6	6	3
	その他	22	40	114	78	94	37	8	52
学校行事中		4	2	6	7	10	3	1	5
学校施設内		5	9	20	17	21	14	1	34
課外活動（クラブ活動）中	学校施設内	109	40	987	283	794	139	3	401
	学校施設外	14	15	168	42	124	10	4	45
通学中		8	13	43	55	86	50	22	54
学校施設間移動中		0	0	0	2	1	0	0	0
計		188	171	1,544	645	1,333	322	64	687

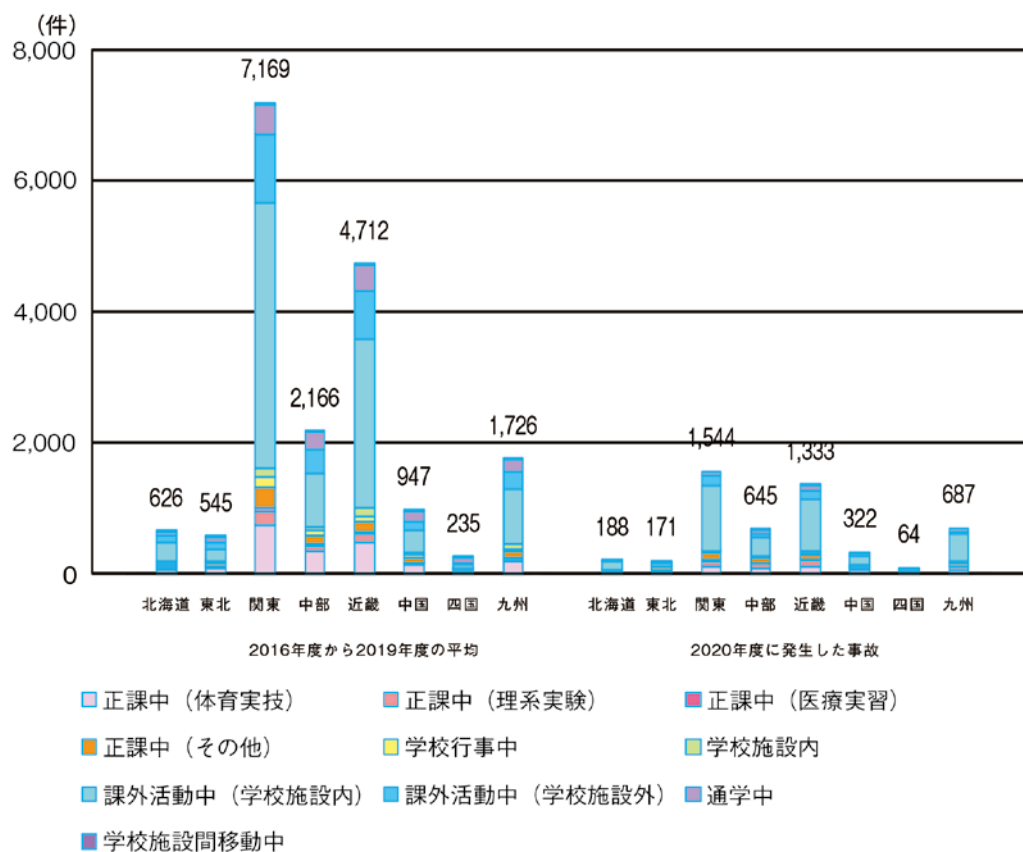


図 24 -① 地域別の事故件数の比較（活動形態別）

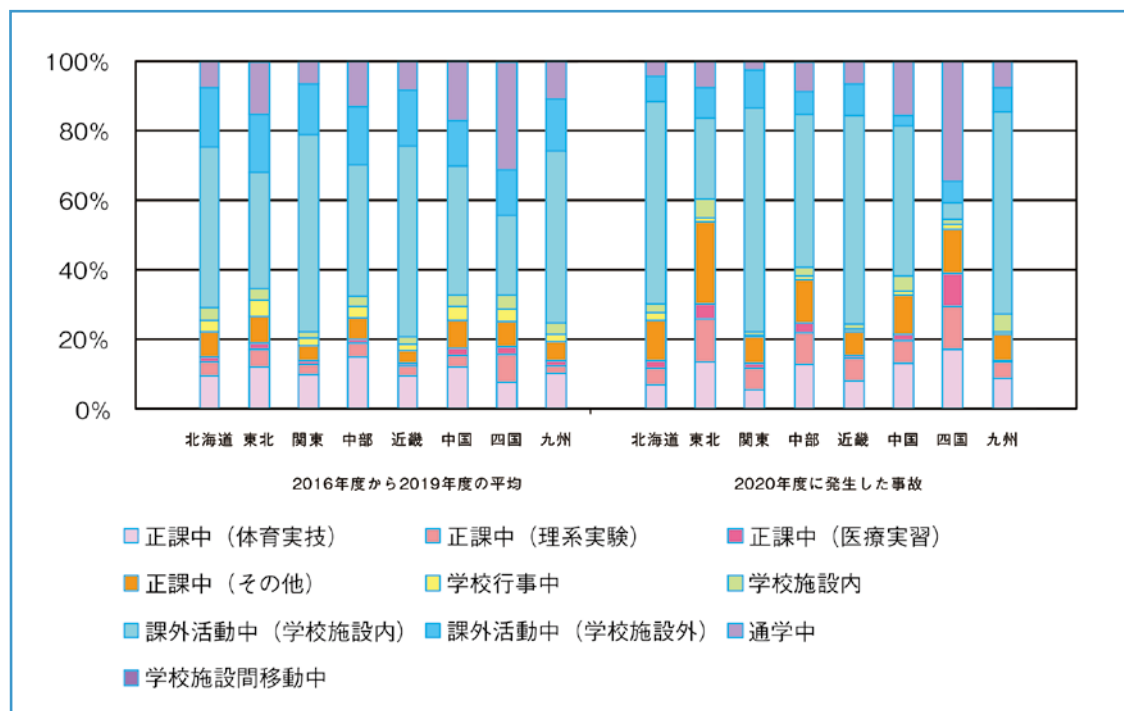


図 24-② 地域別の事故件数の比率の比較（活動形態別）

2020年度に北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州において発生した事故件数は、それぞれ、2016年度から2019年度の事故件数の平均の30%、31%、22%、30%、28%、34%、27%、40%に相当しており、関東で大きく減少しています。

2020年度に関東で発生した事故件数は、全国の事故件数の31%になっており、40%を占めていた2016年度から2019年度の平均事故件数における比率から8ポイント程度減少しています。また、関東、中部、近畿の3地域の比率も6ポイント程度減少し、71%になっています。活動形態別に見てみると、全国的にも減少の大きかった正課中（体育実技）、学校行事中、通学中の事故ですが、関東におけるそれぞれの活動形態での事故件数は、2016年度から2019年度の平均事故件数の12%、4%、9%に相当しており、大幅な減少によってこれらの事故件数の比率も小さくなっています。

北海道、中部、近畿、中国、九州では、正課中や学校施設内の課外活動中の事故件数の比率がやや大きく、学校施設外の課外活動中や通学中の事故件数の比率がやや小さくなっています。

東北や四国では、正課中の事故件数の比率が大きく、学校行事中や課外活動中の事故件数の比率が小さくなっている点では共通していますが、東北で通学中の事故件数の比率が小さくなっているのに対して、四国では大きくなっています。また、四国では課外活動中の事故件数の比率が大きく減少しているのが目立っています。

7 近年の主な事故の内容(事故事例)

近年の主な事故について、最初に死亡事故と後遺障害事故の事例を紹介し、次に重篤なもの以外の事例を4種類の保険(学研災、付帯賠償、付帯学総及び付帯海学)毎にまとめ、さらに外国人留学生がかかわった学研災、付帯賠償及びインバウンド付帯学総における事故事例をまとめています。

なお、個人情報保護等の観点から支払いに至る状況の説明が限られる場合があるため、事故内容には結論だけ反映している表現もあります。

(1)死亡事故

2016年度から2020年度までの死亡事故事例を、活動形態で区分して示します。

(ア) 正課中（その他）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	大学	理系	5階にある研究室のベランダ部分から滑落し、重傷頭部外傷等により死亡。	死亡 医療・入院	20,007,000
2	大学	文系	屋外実習活動で川の水流体験中に溺死。	死亡 医療・入院	20,007,000

(イ) 学校行事中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
3	大学	文系	体験活動プログラムでスキューバダイビング中に溺死。	死亡 医療・入院	20,007,000
4	大学	文系	教員採用試験対策の水泳特別練習中、プールの底に沈んでいたところを発見。救急搬送後、脳症により死亡。	死亡 医療・入院	12,110,000

(ウ) 学校施設内

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
5	大学	文系	学会のボランティアスタッフとして活動中、教室内で転倒し頭部を強打。急性硬膜外血腫により死亡。	死亡 医療・入院	10,098,000
6	大学	理系	トレーニングルームでベンチプレス中、バーベルが首に落ちた状態で発見。蘇生後脳症により死亡。	死亡 入院	10,024,000
7	大学	文系	トレーニングセンターでウエイトトレーニング中、頸部にバーベルを落とし窒息により死亡。	死亡	10,000,000
8	大学	文系	大学のプーラー一般開放に参加し、遊泳中に溺死。	死亡	6,000,000

(エ) 課外活動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
9	大学	医療系	アメリカンフットボール部の活動中、タックルの練習で倒れ意識不明。右急性硬膜下血腫により死亡。	死亡 入院	10,040,000
10	大学	文系	アメリカンフットボール部の活動中、走り込みをしていた際に熱中症により死亡。	死亡 入院	10,004,000
11	大学	文系	スノーボードサークルの合宿にて友人と入浴中に溺水により死亡。	死亡 入院	10,004,000
12	大学	理系	ヨット部の活動中、ヨットが転覆し溺死。	死亡 入院	10,004,000
13	大学	文系	アメリカンフットボール部の練習中、衝撃を受け脾臓が破裂し出血性ショックにより死亡。	死亡 入院	10,004,000
14	大学	理系	縦走登山中、道に迷い崖から転落。頭蓋骨骨折により死亡。	死亡 入院	10,004,000
15	大学	文系	サイクリング部のトレーニング中、自転車に跨ってダム柵に寄りかかった際にバランスを崩し、ダムから転落し脳挫傷により死亡。	死亡	10,000,000
16	大学	文系	バスケットボールサークルでの試合休憩中、湖で遊泳中に溺死。【同時に他の学生1名も溺死し、保険金10,000,000円の支払あり】	死亡	10,000,000
17	大学	理系	特殊な装備・技術等は不要な活動場所で探検部の活動中、河川を渡っていた際に誤って滑落し溺死。	死亡	10,000,000
18	大学	理系	テニス部の合宿中、レクリエーションの活動で川で水泳中に溺死。	死亡	10,000,000
19	大学	文系	演舞同好会活動のため車で移動中、同乗していた車が路外逸脱した際に車外に投げ出され頭部を強打し、びまん性脳挫傷により死亡。	死亡 医療・入院	6,086,000
20	大学	文系	野球部の合宿中、レクリエーションの活動で川に飛び込み低体温症により死亡。	死亡 入院	6,012,000
21	大学	文系	フットボールサークル合宿で海水浴中に溺死。	死亡	6,000,000

★水の事故が目立ちます。特に、合宿中に多く発生しています。

(オ) 通学中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
22	大学	文系	徒歩で帰宅中、横断歩道を渡っている際に直進車に轢かれ、外傷性くも膜下出血により死亡。〔復路〕	死亡 医療・入院	10,098,000
23	大学	文系	自転車で通学中、トラックと接触し脳挫傷により死亡。〔往路〕	死亡 医療・入院	10,051,000
24	大学	文系	部活の朝練参加のため自転車で通学中、交差点で車両と接触し急性硬膜外血腫等により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,032,000
25	大学	理系	自転車で通学中、トラックと接触し脳挫傷により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,026,000
26	大学	文系	自転車で通学中、車と出合頭に接触し転倒。重症頭部外傷により死亡。〔往路〕	死亡 医療・入院	10,022,000
27	大学	文系	自転車で通学中、車と衝突し急性硬膜下血腫により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,008,000
28	大学	文系	バイクで通学中、下り坂のカーブで対向車に接触後バランスを崩し、後続車と衝突。血気胸等により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
29	大学	理系	バイクで通学中、前の車を追い抜こうとした際に対向車と衝突し、外傷性出血性ショックにより死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
30	大学	理系	バイクで通学中、追い抜こうとした車が右折したため衝突し、腹腔内出血により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
31	大学	理系	バイクで通学中、転倒した際に中央分離帯のポールに衝突し、全身打撲による出血性ショックにより死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
32	大学院	医療系	バイクで通学中、トラックと衝突し、重傷頭部外傷による出血性ショックにより死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
33	大学	文系	自転車で通学中、横断歩道で左折車に巻き込まれ、多発外傷により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
34	大学	理系	徒歩で帰宅中、信号無視の車に轢かれ、外傷性脳幹損傷等により死亡。〔復路〕	死亡 入院	10,004,000
35	大学	文系	横断歩道を歩行中、車に撥ねられ多発性外傷により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
36	大学	理系	自転車で通学中、車と衝突し重傷頭部外傷により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
37	大学	文系	車で通学中、車同士で衝突。外傷性ショックにより死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
38	大学	文系	自転車で帰宅中、車に撥ねられ肺損傷等の出血性ショックにより死亡。〔復路〕	死亡 入院	10,004,000
39	大学院	理系	バイクで帰宅中、ガードレールにぶつかり転倒し側道に転落。頭を強打し脳挫傷により死亡。〔復路〕	死亡 入院	10,004,000
40	大学	文系	車で実習先に向かう途中、対向車と衝突。頭部骨折により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
41	大学	理系	バイクで部活に向かう途中、転倒。車に衝突し外傷性胸部損傷により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
42	大学	理系	バイクで帰宅中、車と衝突し交通外傷により死亡。〔復路〕	死亡 入院	10,004,000
43	大学	文系	バイクで通学中、転倒し心破裂、気脳症等により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
44	大学	理系	バイクで通学中、ガードレールに衝突し全身多発性外傷により死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
45	大学	文系	車で通学中、バスと衝突し失血性ショックにより死亡。〔往路〕	死亡 入院	10,004,000
46	大学	文系	帰宅中、電車待ちのホームで体調不良のためふらつき線路に転落。電車に轢かれ全身打撲により死亡。〔復路〕	死亡	10,000,000

47	大学	体育系	バイクで部活から帰宅中、車に追突し脳挫創により死亡。〔復路〕	死亡	10,000,000
48	大学	文系	徒歩で帰宅中、横断歩道で信号無視の車に轢かれ、外傷性くも膜下出血等により死亡。〔復路〕	死亡 医療・入院	6,218,000
49	大学	文系	原付で部活へ向かう途中、車と衝突し心・大血管損傷により死亡。〔往路〕	死亡 入院	6,004,000
50	大学	文系	部活動からバイクで帰宅中、歩道の縁石に接触し転倒。頭蓋底骨折により死亡。〔復路〕	死亡	6,000,000
51	大学	文系	通学中、駅のホームから線路に転落。電車に轢かれ開放性頸部損傷により死亡。〔往路〕	死亡	6,000,000

★移動手段を問わず、交通事故による死亡が多発しています。

（カ）施設間移動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
52	大学	理系	部活終了後、車で大学へ移動中に車と衝突し頭部外傷により死亡。	死亡 入院	10,008,000

(2)後遺障害事故

2016年度から2020年度までの主な後遺障害事故事例を、活動形態で区分して示します。

(ア) 正課中（体育実技）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	大学	体育系	アスリート実習中、ランニング後のクールダウンのため海に向かう途中の砂浜で転倒し頸椎を骨折。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	31,020,000
2	大学	体育系	トレーニング実践演習の授業中、バーベルを使用してスクワットをしていた際にバーベルの下敷きになり腰椎を骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	10,340,000
3	大学	文系	鬼ごっこの授業中、滑り込んで床に腰を強打し腰椎を骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,515,000
4	大学	通信	体力測定で立ち幅跳び中、転倒し背骨を骨折した。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,515,000
5	大学	文系	跳び箱の授業中、転倒し腕を骨折。1上肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	3,050,000
6	短大	文系	サッカーの試合中、転倒し足の指を骨折した。足指の用を廃した後遺障害を負った。	後遺障害 医療	3,015,000
7	大学	文系	バードゴルフの授業中、友人の振ったクラブが顔面に接触し額に切り傷を受傷。外貌に醜状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	3,006,000
8	短大	文系	ソフトボールの授業中、ボールが手に当たり指を骨折。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,230,000
9	短大	文系	キンボールをしている時、友人の足に躓き転倒した。3歯以上に対し歯科補綴を加えた後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,230,000
10	短大	文系	ドッジボールの試合中、ボールを取ろうとした際に指を骨折。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	750,000

★体育の授業で重篤な事故が発生しています。

(イ) 正課中（理科系の実験・実習中）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
11	大学	理系	実験中、化学反応で瓶が破裂し頭部に硝酸を浴び、化学熱傷を受傷。外貌に醜状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	12,686,000
12	大学院	理系	装置のメンテナンス中、ガス注入時に爆発し、飛散したガラスで顔や首に切創を受傷。外貌に相当程度の醜状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	7,850,000
13	大学	理系	実験中、ガラス器具が破損し手に切り傷を受傷。1手の指の機能に著しい障害および局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	5,944,000
14	大学	理系	卒業研究中、垂れた油を拭こうとしてタオルと手がフライス盤に巻き込まれ、手の指を複数本切断。母指以外の指の機能に著しい障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,986,000
15	大学	理系	卒業計画の授業中、試験体(2t)を移動させようとした際に試験体が落下し足を打撲・骨折。1下肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残すとともに1足の第1の足指または他の4の足指の用を廃した後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,674,000
16	大学院	理系	コンクリートの練り混ぜと打ち込み作業中、稼働中のミキサーに指が巻き込まれ骨折。1手の示指、中指または環指を失った後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,610,000
17	大学院	理系	研究活動中、スライドドアが倒れ足の指に当たり骨折した。足指の用を廃した後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,134,000
18	大学院	理系	実験用の材料を準備中、電動ノコギリに触れ指を切断。1手の指の用を廃した後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,272,000
19	大学院	理系	実験中、蒸着装置の蓋が落下した際に指が挟まれ骨折。1手の母指以外の手指の一部を失った後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,358,000
20	大学	理系	研究室で実験中、実験器具に指を挟み指を切断。1手の母指以外の手指の指骨の一部を失った後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,274,000
21	大学院	理系	化学実験中、洗浄していたガラス器具が破損した際に手のひらを切り正中神経を断裂。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,238,000
22	大学	理系	実験中、ガラス管を折った際に指を切った。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,230,000

★理系の実験では、切傷や火傷の他、眼にも大きなケガを負っています。

(ウ) 正課中（医療実習）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
23	大学	医療系	義足モデル作成中、石膏が固まり手が抜けなくなり、石膏の熱で指を火傷。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,112,000

(エ) 正課中（その他）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
24	大学院	理系	研修先で横断歩道を歩行中、車に撥ねられ頭部に挫傷を負った。神経系統に機能または精神に著しい障害を残し特に軽易な労務以外の労務に服することができないおよび1眼の矯正視力が0.6以下になった後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	20,220,000
25	大学	文系	野外活動で立木を伐採中、倒木が腰に直撃し腰椎破裂骨折等受傷。脊柱に変形を残すおよび頑固な神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,178,000
26	短大	文系	介護実習先施設内の階段で転倒し、腰を打ち骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,598,000
27	大学	理系	研究室配属オリエンテーション中、段差で躓き転倒し腰椎を圧迫骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,550,000
28	大学	文系	表現の授業中、足が滑り転倒した際に手首をTFCC損傷。1上肢の3大関節中の1関節機能に著しい障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	3,900,000
29	短大	文系	保育の模擬授業中、鬼ごっこをしていた際に同級生と接触し膝の前十字じん帯を損傷。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,820,000
30	大学	文系	園芸実習中、泥のぬかるみで転倒し肩の腱板を断裂。1上肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,700,000
31	大学院	通信	施設実習中、車椅子介助中に別の生徒が乗った歩行器と衝突し腰椎骨折等を受傷。局部に頑固な神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	3,080,000
32	大学	文系	卒業制作中、自動カンナ盤に手の中指を巻き込み指を切断。1手の示指、中指または環指の用を廃した後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,023,000
33	大学	文系	フィールドアスレチック中、転落し胸椎を骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,934,000
34	大学	文系	ゼミ合宿中、ボートに乗っていた際に前方に座っていた学生と衝突し胸腰椎を圧迫骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,858,000
35	短大	文系	保育園での実習中、園児と走っていた際に転倒し膝下に裂傷を受傷。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,280,000
36	大学院	理系	学会に参加中、会場内の壁に手をついた際に手首を捻挫その他重症を負い、局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,280,000
37	大学	体育系	卒論研究中、台から転倒した際に肘を脱臼骨折。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,280,000
38	大学院	文系	児童施設実習中、ドッジボールをしている際にボールが指に当たり骨折。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,246,000
39	大学	文系	施設実習中、重機械に指を巻き込み、1手の母指以外の手指の指骨の一部を失った。	後遺障害 医療	1,215,000
40	大学	文系	ゼミ主催のバスケットボール大会に参加中、味方選手と接触した際に手を骨折。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,044,000
41	大学	文系	作品制作中、鉄を曲げる機械に手を挟まれ皮膚剥脱創を受傷。手の母指以外の手指の一部を失ったものおよび局部に神経症状を残すもの等の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	840,000

(オ) 学校行事中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
42	大学	体育系	学祭でトランポリン部の公開練習中、頭からトランポリン台に落下し頸椎損傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を要する後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	31,020,000
43	大学	文系	フェスティバル参加準備の際、修理中の神輿から落下し腰椎を骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,718,000
44	大学	文系	学祭でライブ鑑賞中、人波に揉まれて転倒、腰を骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	4,530,000
45	大学	医療系	学祭の模擬店を運営中、手が鍋に当たりこぼれた油が手足にかかり熱傷を負った。下肢の露出面に手のひらの3倍程度以上の瘢痕を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,142,000
46	大学	文系	留学生との交流会で花火をしていた際、打ち上げ花火が目直撃し、眼球が破裂。1眼の矯正視力が0.6以下になったものおよび1眼の外傷性散瞳による羞明の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,182,000
47	短大	文系	新入生歓迎会の移動中、段差で転倒した際に手をつき指を骨折。1手の指の用を廃した。	後遺障害 医療・入院	2,138,000
48	大学	通信	冬季スクーリング中、スキーで転倒し、右膝じん帯損傷、左股関節唇損傷を受傷。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,368,000
49	大学	文系	駅伝応援のチアリーディング中、上に乗っていた学生の踵が落下した際に自分の脛に当たり涙道閉塞症を受傷。局部に神経症状(1眼に常時流涙)を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,270,000
50	大学院	文系	クラス対抗バスケットボールの試合中、接触プレーで手の指を骨折。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,270,000
51	短大	文系	大学祭の模擬店で調理中、油が足にかかり火傷を負った。下肢に酷いあとを残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	750,000

(カ) 学校施設内

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
52	大学	文系	下校時、構内階段で2階から1階へ転落。頭部を強打し急性硬膜下血腫を受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
53	大学院	理系	キャンパスの駐輪場で自転車を行行中、階段から転落し胸椎多発性圧迫骨折を受傷。脊柱に変形または運動障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	7,586,000
54	大学	理系	学祭準備のため木材を電動ノコギリで切断中、手を巻き込んで指を不全切断。手および指の機能障害、上肢の醜状障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,886,000
55	大学	通信	スクーリング後、階段を上っている際に足を踏み外し落下。大腿骨を骨折し、1脚関節の機能に著しい障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,082,000
56	大学	文系	体育館で倒立前転の自習中、転倒し足首を骨折。1下肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,608,000
57	大学	医療系	キャンパス内でソリ遊び中、臀部を強打し腰椎を圧迫骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,350,000
58	大学院	理系	休み時間にバドミントンをしていた際、シャトルが目当たり外傷性前房出血を受傷。1眼の瞳孔の対光反射があるが不十分であり、羞明を訴え労働に支障をきたす後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	654,000

(キ) 課外活動（クラブ活動）中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
59	大学	体育系	体操競技部でつり輪の練習中、頭からマットに落下し頸椎骨折等を受傷。神経系統または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
60	大学	文系	プロレス同好会の活動中、マットに首から落下し頸髄損傷を受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
61	大学	文系	レスリング部の活動中、相手の首投げを受け首から転倒し頸髄損傷・頸椎脱臼。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
62	大学	文系	テニスサークルの合宿中、レクリエーションの時間に海へ飛び込んだ際に頸椎破裂骨折等を受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
63	大学	文系	バレーボール部の活動中、遠征試合終了後に車に分乗し大学へ戻る際に中央分離帯へ激突し、急性硬膜下血腫等を受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	16,020,000
64	大学	医療系	ラグビー部の活動中、タックルの練習で転倒した際、臀部を挫傷し、半身麻痺となった。神経系統に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	15,920,000
65	大学	文系	ゴルフ部の活動で大会運営のサポート中、買い出しのため同乗していた車が川へ転落し脊髄を損傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	15,920,000
66	大学	体育系	陸上競技部でバーベルを使用したウエイトトレーニング中、転倒し胸椎を脱臼骨折。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	15,624,000
67	大学	文系	チアリーディング部の活動中、タワーが崩れ上にいた部員が背中に落下し脊柱を脱臼骨折。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	10,020,000
68	大学	体育系	バスケットボール部活動中、他の選手と衝突し転倒した際に頭部を床に強打。高次脳機能障害、右不全片麻痺の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	7,028,000
69	大学	文系	ソフトボール部の活動中、ベースを踏む際に膝を捻じりじん帯を損傷。1下肢の3大関節中の機能に著しい障害を残す、1足の足指の機能に著しい障害を残す、第1の足指以外の1足指の機能に著しい障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	6,290,000
70	大学	理系	体操部の活動中、段違い平行棒から落下し胸椎圧迫骨折を受傷。脊柱に中程度の変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	5,302,000
71	大学	体育系	野球部の活動中、ボールが目当たり眼窩骨折を受傷。1眼に半盲症、視野狭窄または視野変状を残すものおよび1眼の矯正視力が0.06以下になった。	後遺障害 医療・入院	5,218,000
72	大学	理系	柔道部の活動中、相手に投げられ頭から落下し環軸関節亜脱臼を受傷。脊柱に変形、外貌に醜状痕および局部に頑固な神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,302,000
73	大学	文系	陸上部の活動中、ウォーミングアップしていた際にバイクと接触し頭部に挫傷等を受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、服することができる労務が相当な程度に制限される後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,160,000
74	大学	文系	馬術部活動中、歩かせていた馬が暴れて引きずられ半身を踏まれた際に足の指を欠損。1足の第1の足指または他の4の足指を失った後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	3,058,000
75	大学	医療系	スキー部で大会競技中、滑降後に停止ができずそのままリフト降り場の鉄柱に衝突し、胸椎骨折等を受傷。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,646,000
76	大学	文系	ラクロス部の活動中、足を滑らせ背中から落下し脊柱を骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,286,000
77	大学	理系	フリースタイルクラブの活動中、ボルダリングをしていた際にホールドが折れ落下し腕を脱臼骨折。肘の可動域制限を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,642,000
78	大学院	理系	フットサルサークルの活動中、試合中にスライディングタックルをされた際に壁に手をつき腕を骨折した。長管骨に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,550,000
79	大学	文系	ハングライダーサークルの活動中、パラグライダー（ここではモーター付きではないものを指します。似た呼称でも機能等が違い、対象外の場合があります）搭乗時の着地の際に足から強く接地し腰椎を圧迫骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,382,000
80	大学	文系	放送研究会の合宿中、宿舎の屋上の台から滑り落ち腰骨を骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	1,350,000

81	大学	文系	法学研究サークルの合宿中、レクリエーションでバスケットボールをしていた際、膝の前十字じん帯を損傷。1下肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,092,000
82	大学	文系	サッカー部の活動中、転倒し歯牙破折。5歯以上に対し歯科補綴を加えたもの。	後遺障害 医療	1,080,000
83	大学	文系	自転車競技部の活動中、車と衝突し鎖骨等骨折。局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	998,000
84	大学	文系	アメリカンフットボール部の活動中、相手に押され転倒した際に手をつき手首の骨を脱臼。1腕または1脚の機能に障害を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	934,000
85	大学	理系	アイスホッケー部の活動中、試合の審判をしていた際にバックが顔に当たり歯が折れた。3歯以上に対し歯科補綴を加えた後遺障害を負った。	後遺障害 医療	630,000
86	大学	文系	スケート部の活動でアイスホッケーの試合中、顔面にバックが当たり歯を破折。3歯以上に対し歯科補綴を加えた後遺障害を負った。	後遺障害 医療	390,000
87	大学	文系	音楽部の合宿中、練習室の防音扉に指を挟み指先を切断。1手の母指以外の手指の指骨の一部を失ったもの。	後遺障害 医療	360,000

(ク) 通学中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
88	大学	文系	自転車で部活動先に向かう途中、交差点で車と衝突し車両の下敷きとなり外傷性窒息等受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。〔往路〕	後遺障害 医療・入院	16,020,000
89	大学	医療系	徒歩で帰宅中、わき見運転の車に撥ねられ脳挫傷等受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。〔復路〕	後遺障害 医療・入院	16,020,000
90	大学	医療系	自転車で通学中、車と接触し頭部を打ち急性硬膜下血腫等受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。〔往路〕	後遺障害 医療・入院	16,020,000
91	大学	理系	原付で帰宅する途中、急ブレーキをかけ転倒しコンクリートの壁に激突した。頸椎破裂骨折により常に介護を必要とする後遺障害を負った。〔復路〕	後遺障害 医療・入院	16,020,000
92	短大	文系	徒歩で帰宅中、横断歩道で車に撥ねられ頭部を骨折。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、特に軽易な労務以外の労務に服することができないとともに両眼に半盲症、視野狭窄または視野変状を残す後遺障害を負った。〔復路〕	後遺障害 医療・入院	10,936,000
93	大学	体育系	バイクで通学中、急に進路変更した対向車と正面衝突し脳挫傷等受傷。神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、軽易な労務以外の労務に服することができないもの等の後遺障害を負った。〔往路〕	後遺障害 医療・入院	9,778,000
94	大学	通信	徒歩で帰宅中、歩道と車道の段差に躓き転倒し足を骨折した。1下肢の3大関節中の1関節の用を廃したものの。〔復路〕	後遺障害 医療・入院	5,346,000
95	大学	文系	自転車で通学中、車と出合頭に接触し転倒した際に頭蓋骨骨折等を受傷。1眼の矯正視力が0.06以下になった等の障害を残す後遺障害を負った。〔往路〕	後遺障害 医療・入院	5,166,000
96	大学	文系	車で通学中、雪でスリップした際にガードレールに衝突し頸椎を亜脱臼。脊柱の運動障害を残す後遺障害を負った。〔往路〕	後遺障害 医療・入院	4,768,000
97	大学院	理系	入学式出席のためタクシーに乗車中、車に追突され頸椎等骨折、胸に挫傷等受傷。外貌に相当程度の醜状痕を残す後遺障害を負った。〔往路〕	後遺障害 医療・入院	4,070,000
98	大学	理系	徒歩で帰宅中、台風の影響で飛んできた屋根が顔に当たり多発挫創等を受傷。外貌に相当程度の醜状を残す後遺障害を負った。〔復路〕	後遺障害 医療・入院	4,054,000
99	大学	通信	通信教育のスクーリングのため通学中、地下鉄車内で腰から転倒し腰椎を骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。〔往路〕	後遺障害 医療・入院	2,878,000
100	大学院	文系	帰宅中、駅の改札誤作動でゲートが閉まり、ゲートで身体を打ち尻もちをついた際に胸椎を圧迫骨折した。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。〔復路〕	後遺障害 医療・入院	2,692,000
101	大学	理系	電車内混雑のため車内のイスに膝が押し付けられ歩行が困難になった。腓骨神経麻痺のため局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療	650,000

★自転車での事故が目立ちます。女性の通学中の後遺障害事故の51%が自転車です。

★通学中の後遺障害事故の18%が原付です。

★バイクでも大きな事故が発生しています。男性の通学中の後遺障害事故の37%がバイクです。

(ケ) 施設間移動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
102	大学院	理系	バイクの二人乗りでキャンパス間を移動中、対向車と衝突し後部座席から投げ出され、腰椎を骨折。脊柱に変形を残すおよび局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,728,000
103	大学	理系	原付でキャンパス間を移動中、転倒し顔面を強打し頬骨骨折、鼻骨骨折等受傷。外貌に醜状および5歯以上に対し歯科補綴を加えたもの等の後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	2,488,000
104	大学	文系	資料作成のためキャンパス間を自転車移動中、車と衝突し頬骨骨折、第2趾基節骨折等受傷。1足の第2の足指の用を廃したものおよび局部に神経症状を残す後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	1,148,000

(3)保険別の事故

次に、学研災及び学研災に付帯する保険から保険金が支払われた近年の主な事故と特徴的な事故の内容（事故事例）を示します。

事故事例からは、学生生活のいろいろな場面で多種多様な事故が発生していることが分かります。

ア 学研災普通保険、通学特約及び接触感染特約

2016年度から2020年度までの主な事故事例を、活動形態等で区分して示します。

(ア) 正課中（体育実技中）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	短大	文系	跳び箱を跳んで着地した際に膝を捻り前十字じん帯を断裂した。	医療・入院	192,000
2	短大	通信	長縄跳びをしていた際に、着地の衝撃で膝のじん帯と半月板を損傷した。	医療・入院	142,000
3	短大	文系	バスケットボールの実技中、ディフェンスの際に膝を捻り前十字じん帯を損傷した。	医療・入院	70,000
4	大学	通信	ボートボールの試合中、転倒し手の指を骨折した。	医療・入院	58,000
5	大学	体育系	馬跳びをしていた際に着地に失敗し膝を捻挫した。	医療	50,000
6	大学	通信	サッカーの試合中、相手と接触した際に足の甲を骨折した。	医療	50,000
7	大学	体育系	ハンドボールの実技中、転倒し足関節のじん帯を断裂した。	医療	30,000
8	大学	文系	鉄棒の授業中、蹴上がりの際に顎が鉄棒に当たり切り傷を負った。	医療	15,000
9	短大	文系	フリスビーの授業中、転倒し足首を捻挫した。	医療	15,000
10	大学	医療系	マット運動中、腰を捻った。	医療	6,000
11	大学	文系	体力測定で背筋力の測定中、背中和腰に負荷がかかり腰部を捻挫した。	医療	6,000
12	大学	理系	バドミントンの実技中、転倒した際に眼鏡のフレームで頬に切り傷を負った。	医療	3,000
13	大学	理系	フラッグフットボール中、相手と接触した際に頭部に打撲を負った。	医療	3,000
14	大学	理系	ドッジボールの授業中、ボールが耳に当たり鼓膜振動を発症した。	医療	3,000
15	大学	理系	マット運動中、着地の際に膝が目当たり眼鏡のレンズで眼を切った。	医療	3,000
16	大学	体育系	柔道の授業中、投げられた際に後頭部を打ち脳震盪を起こした。	医療	3,000
17	大学	体育系	ハードル走の測定中、ハードルに足が引っ掛かり着地の際に足首を捻挫した。	医療	3,000
18	短大	文系	ダブルダッチの実技中、足の指にロープが引っ掛かり爪が剥がれて出血した。	医療	3,000
19	短大	通信	ソフトバレーボールの競技中、ボールを追いかけて壁に激突。頭部および腹部に打撲を負った。	医療	3,000
20	大学	理系	水球の授業中、ゴールに接触し目の上に裂傷を負った。	医療	3,000

(イ) 正課中（理科系の実験・実習中）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
21	大学院	理系	データ取集中、硫酸酸素を吸入し気絶した。硫酸酸素中毒症を発症した。	医療・入院	43,000
22	大学院	理系	アンモニアの燃焼実験中、タンクが爆発し爆発音で耳鳴り・難聴の音響外傷を負った。【この事故により複数人への支払あり】	医療・入院	35,000
23	大学	理系	実験中、液体窒素が手にかかり凍傷を負った。	医療	30,000
24	大学院	理系	X線写真撮影のため結晶の軸合わせの作業中、目に放射線を被曝した。	医療	15,000
25	大学院	理系	ドローンの研究中、回転しているプロペラに指が当たり切り傷を負った。	医療	15,000
26	大学	理系	実験中、蟻酸を吸引し咳が止まらなくなり、肺に炎症を起こした。	医療	15,000
27	大学	理系	研究室で実験中、機械が高圧状態になり劇物が飛散し、顔や目に炎症・化学眼外傷を受傷した。また、劇物を誤飲したことで有機溶剤中毒を発症した。	医療・入院	11,000
28	大学院	理系	風洞実験でドローンを飛ばしている際に制御が効かずドローンのプロペラが手足に当たり複数の切傷を負った。	医療	6,000
29	大学	理系	試験片を接着中、接着剤が手や腕に付着し接触性皮膚炎を発症した。	医療	6,000
30	大学院	理系	実験中、手の指が実験器具の刃に当たり切り傷を負った。	医療	6,000
31	大学	理系	実験中、薬品が足にかかり火傷を負った。	医療	3,000
32	大学	理系	卒業研究中、爆発により充満した有毒ガスが目に入り炎症を負った。【この事故により複数人への支払あり】	医療	3,000
33	大学院	医療系	血液を使った実験中、自分の血液を研究室の指導医が採取した際に針が神経に当たり痛みと痺れが生じ神経を損傷した。	医療	3,000
34	大学	理系	園芸学の実習中、牛の餌の藁のロールから落下し後頭部と臀部を打撲した。	医療	3,000
35	大学院	理系	研究活動中、有毒ガスが発生しフッ化水素ガス吸引の可能性があったため呼吸器の診断をした。【この事故により複数人への支払あり】	医療	3,000
36	大学	理系	実験中、爆発が起こり耳の鼓膜を損傷した。【この事故により複数人への支払あり】	医療	3,000
37	大学	理系	紫外線を直接目に照射し、角膜を損傷した。	医療	3,000
38	大学	理系	乗船実習中、船体が揺れた際に顔を打ち打撲を負った。	医療	3,000
39	大学	理系	卒業研究のため牛舎に入った際、牛に襲われ仙骨骨折・全身打撲を負った。	医療	3,000

★実験中の爆発事故等では、一つの事故により複数人の学生に対し保険金が支払われている事例も散見されます。

(ウ) 正課中（医療系の実習中）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
40	大学	医療系	病院実習でCT見学中、一時的な貧血で転倒した際に顎を骨折した。	医療・入院	194,000
41	短大	医療系	血圧測定の授業中、ヘアを組んで測定していた際に相手が血圧計を締めすぎて末梢神経障害を発症した。	医療	140,000
42	大学	理系	動物外科学実習中、実習犬にかまれて手に傷を負い、傷に対する治療および感染症の発症を予防することを目的に血液検査を受けた。	接触感染予防 医療	18,000
43	大学	医療系	抜歯の吸引助手をしていた際に患者の血液が目に入った。	接触感染予防 医療	18,000
44	大学	医療系	臨床実習中、他の実習生の穿刺練習で被験者となった際に手首に針を刺され橈骨神経を損傷した。	医療	15,000
45	短大	医療系	歯科衛生実習の片付け中、使用済みのエアスケーラーを太腿に刺した。感染症の発症を予防することを目的に血液検査を受けた。	接触感染予防	15,000
46	大学	医療系	手術見学中、腫瘍摘出時に腫瘍が破裂して腫瘍内容物を頭部から曝露した。感染症の発症を予防することを目的に血液検査を受けた。	接触感染予防	15,000
47	短大	医療系	筋肉注射を学生同士で体験中、相手の腕に刺した針が自分の指に刺さり出血した。感染症の発症を予防することを目的に血液検査を受けた。	接触感染予防	15,000
48	大学院	医療系	癌のモデルマウス作成中、癌細胞が入った注射器の針が手の指に刺さった。感染症の発症を予防することを目的に血液検査を受けた。	接触感染予防	15,000
49	大学	医療系	分娩助産実習中、血性羊水が両眼に入り、感染症の発症を予防することを目的に血液検査を受けた。	接触感染予防	15,000
50	大学	医療系	病院実習中、縫合の練習の際に縫合針を手に刺し、感染症の発症を予防することを目的に血液検査を受けた。	接触感染予防	15,000
51	大学院	医療系	司法解剖の補助作業中、手の指の付け根をメスで切り感染症の発症を予防することを目的に血液検査を受けた。	接触感染予防	15,000
52	短大	医療系	実習先で器具を洗浄中、探針で手のひらを刺し、血液検査を受けた。	接触感染予防	15,000
53	短大	医療系	家庭訪問実習時、正座から立ち上がった際に転倒し足を骨折した。	医療	6,000
54	大学	医療系	灸の施術中、被験者をしている際に灸がへそに入り、火傷を負った。	医療	3,000
55	大学	医療系	学生同士での採血実習中、肘窩内側から採血を受けたことによって腕と手に痺れと脱力を感じ正中神経障害を負った。	医療	3,000
56	大学	医療系	起き上がりの介助中、患者に殴られて胸を打撲した。	医療	3,000
57	短大	医療系	在宅看護論実習の訪問先へ自転車に向かっていて途中、車と接触しサイドミラーが首に当たり、打撲およびすり傷を負った。	医療	3,000
58	大学	医療系	滅菌作業中、ラテックスの手袋でかぶれた。	医療	3,000

(エ) 正課中（その他）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
59	短大	文系	保育の模擬授業で鬼ごっこをしていた際に、同級生と膝同士がぶつかり膝の前十字じん帯を損傷した。	医療・入院	820,000
60	大学院	理系	研究室内で転倒し足を骨折した。	医療・入院	326,000
61	大学院	理系	ゼミ合宿に向かう途中、乗車していた自動車が木にぶつかり、シートベルトに圧迫され大腸・腰を負傷し外傷性結腸損傷等を受傷した。	医療・入院	86,000
62	大学	通信	施設実習で天井の清掃作業中、階段から転落。頭部を打撲し急性硬膜下血腫を起こし、鎖骨も骨折した。	医療・入院	74,000
63	大学	文系	教育実習中、バスケットボールの部活動指導をしていた際に指にボールが当たり、剥離骨折を負った。	医療	50,000
64	大学	文系	スキューバダイビング中、海中で足を捻り腓骨を骨折した。	医療	50,000
65	短大	文系	施設実習中、体位交換の介助の際に、利用者の体重が腕と肩にかかり捻挫した。	医療	30,000
66	大学	文系	インターンシップ中、階段から落下し足首のじん帯を損傷した。	医療	15,000
67	短大	文系	図画工作の制作活動中、スライムを作る際に素手で触れ手が腫れ痒くなり、手の皮がむけた。両手に接触皮膚炎を発症した。	医療	6,000
68	大学	文系	授業中、トイレに行った際に一時的な貧血で倒れた際に柱の角に顔が当たり打撲と切り傷を負った。	医療	6,000
69	短大	理系	調理実習中、実習で作った魚料理を食べている際に骨が喉に刺さった。	医療	3,000
70	大学	文系	幼稚園で教育実習中、園児と縄跳びをした際に園児の頭が顎に当たり打撲を負った。	医療	3,000
71	大学	理系	ゼミ合宿中、蛾が耳に入り耳が傷ついた。	医療	3,000

(オ) 学校行事中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
72	大学	理系	フレッシュマンセミナー中、高所から飛び降りた際に足のじん帯損傷・距骨骨挫傷等を受傷した。	医療・入院	120,000
73	短大	文系	学外合同ゼミナール中、大縄跳びの際に転倒し膝に十字じん帯損傷を負った	医療・入院	110,000
74	大学	体育系	スキー実習に参加中、ジャンプした際にバランスを崩し肩から落下。肩を脱臼した。	医療・入院	74,000
75	大学	文系	卒業式でオーケストラ部の演奏に参加中、リハーサル室で転倒した際に手首を骨折した。	医療	50,000
76	大学	理系	スポーツ大会でバスケットボールの競技中、空中でバランスを崩し転倒した際に手を骨折した。	医療・入院	46,000
77	大学	医療系	卒業式に参加中、階段で滑り転倒した際に膝を強打し膝蓋骨を骨折した。	医療	30,000
78	大学	理系	入学式後の移動中、階段で足を踏み外し足を捻挫した。	医療	30,000
79	短大	文系	健康診断中、出口の段差に躓き足首を捻挫した。	医療	30,000
80	短大	理系	インターシップ先の厨房でスプーンを胸元にこぼし火傷を負った。	医療	15,000
81	大学	理系	運動会で騎馬戦に参加中、騎馬から落下し頭部打撲等を受傷した。	医療・入院	11,000
82	大学院	文系	健康診断で採血中、一時的に気を失い転倒した際に歯を破折した。	医療	6,000
83	大学	文系	避難訓練中、器具を使用し降下中に頸椎を捻挫した。	医療	3,000

(カ) 学校施設内にいる間

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
84	大学	医療系	大学構内を移動中、台風で倒れてきた大木で大腿部・腓骨・足関節を骨折した。	医療・入院	596,000
85	大学	理系	徒歩で帰宅中、凍結路面で転倒し足を骨折した。	医療・入院	170,000
86	大学	理系	大学構内を歩行中、雪で滑り足首を骨折した。	医療・入院	118,000
87	短大	文系	構内の階段を上っている時に、足を捻り足首を脱臼した。	医療・入院	116,000
88	大学	理系	グラウンドでキャッチボール中、遠投をしようと力が入り上腕部を骨折した。	医療・入院	114,000
89	大学	文系	昼休み中に友人と腕相撲をした際、上腕を骨折した。	医療・入院	74,000
90	大学	理系	大学キャンパス内の食堂でアルバイト中、出口の階段を踏み外し足首を捻挫した。	医療	50,000
91	大学	医療系	学内に停車中のスクールバスに着席する際、膝を捻りじん帯を損傷した。	医療	50,000
92	短大	理系	授業業間の移動中、エレベーターに乗ろうとしドアに挟まれ腕に打撲を負った。	医療	30,000
93	大学院	文系	自主作業で木彫りをしていた際に丸ノミが大腿部に刺さり傷を負った。	医療	6,000

(キ) 課外活動（クラブ活動）中（学校施設内）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
94	大学	文系	サッカー部の活動中、試合相手と接触した際に膝のじん帯を断裂した。	医療・入院	408,000
95	大学	体育系	柔道の練習中、後方から投げ足を受け膝を捻りじん帯を損傷した。	医療・入院	382,000
96	大学	理系	相撲部の活動中、相手の投げをこらえた際に膝を脱臼骨折した。	医療・入院	358,000
97	大学	文系	キンボールクラブの活動中、ネットに足を取られ転倒し、膝前十字じん帯と膝半月板を損傷した。	医療・入院	236,000
98	大学	理系	少林寺拳法部の活動中、バランスを崩し膝を捻った状態で転倒し、足の前十字じん帯を断裂した。	医療・入院	214,000
99	大学	通信	ホッケー部の活動中、ボールを受ける際に膝が内側に入るように滑り前十字じん帯を断裂した。	医療・入院	208,000
100	大学	文系	ミュージカルのサークル活動中、公演準備をしていた際に鉄パイプで手を挟み指の腱を断裂した。	医療・入院	138,000
101	大学	文系	キックボクシングの部活動中、サンドバッグを蹴っている際に足を捻り膝の前十字じん帯損傷を受傷した。	医療・入院	126,000
102	大学	体育系	陸上部の部活動中、やり投げの練習をしている際に踏ん張った際に膝の半月板損傷等を受傷した。	医療・入院	114,000
103	大学	文系	空手の部活動中、試合で組手をしている際に膝が内側に入り、前十字じん帯損傷等を受傷した。	医療・入院	114,000
104	大学	理系	ウエイトリフティング部の活動中、バーベルを持ち上げてしゃがんだ際に、膝の半月板を損傷した。	医療・入院	102,000
105	大学	文系	剣道場の部活中、竹刀を払われた際に手首を捻りじん帯を損傷した。	医療・入院	100,000
106	大学	文系	レスリング部の活動中、下腿にケガをした際に傷口から菌が入り、蜂窩織炎になった。	医療・入院	86,000
107	大学	通信	ラグビー部の活動中、コンタクトプレーで立ち上がろうとした際に、上から相手に乗りかかられ手首を骨折した。	医療	80,000
108	大学	理系	竿燈の練習中、竿の重さに耐えきれず肩を脱臼した。	医療・入院	70,000
109	大学	文系	アメリカンフットボールの部活動中、タックルをした際に肩を脱臼した。	医療・入院	66,000
110	大学	文系	野球部の活動中、ノックの際に転倒し足首を捻り骨折した。その後、固定していたプレートの抜去手術を受けた。	医療・入院	66,000
111	大学	理系	奇術クラブの活動中、机が足に倒れ、足の指を骨折した。	医療・入院	58,000
112	大学	体育系	体操競技の部活動中、着地の際に膝に前十字じん帯断裂・半月板損傷等を受傷した。	医療・入院	54,000
113	大学	文系	ボクシング部の活動中、ミットを付け相手のパンチを受けていた際に手首を捻挫した。	医療	50,000
114	大学	理系	茶道部での茶会の片付け中、転倒し足首を骨折した。	医療	50,000
115	大学	文系	英語劇のサークル活動中、大道具作成する際にカッターの刃が折れ手のひらを切り指の屈筋腱を断裂した。	医療・入院	42,000
116	大学	文系	アルティメット部の活動中、転倒し手首を骨折した。	医療・入院	42,000
117	大学	理系	水泳の部活動中、ゴールタッチの際に手を壁にぶつけ手の甲を骨折した。	医療	30,000
118	大学	理系	ダンスのサークル活動中、転倒した際に足を剥離骨折した。	医療	30,000

119	大学	理系	テコンドー部の活動中、ミットを蹴っていた際に膝を捻りじん帯を損傷した。	医療	30,000
120	大学	理系	競技ダンスの活動中、踵でターンをした際に足に負荷がかかり打撲を負った。	医療	30,000
121	大学	文系	少林寺拳法部の活動中、受け身をした際に太ももが肉離れになった。	医療	30,000
122	大学	理系	模型部の活動中、作品の制作の際にナイフで手の指の腱を切った。	医療	30,000
123	大学	医療系	インディアカ部の活動中、アタックを打った際、着地に失敗し腰を打撲した。	医療	30,000
124	大学	文系	音楽愛好会の活動中、ライブのリハーサルで飛び跳ねた際に高所から落下し腰椎横突起を骨折した。	入院	28,000

(ク) 課外活動（クラブ活動）中（学校施設外）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
125	大学	医療系	フライングディスク部の活動中、アルティメットの試合で相手の膝が自分の膝の外側に入り、膝の前十字じん帯を損傷した。	医療・入院	234,000
126	大学	理系	スキージャンプの練習中、着地の際に転倒し足関節を骨折した。	医療・入院	234,000
127	大学	文系	パラグライダーの部活動中、飛ばうとした際に木に引っ掛かり枝が折れ落下し、腰椎を粉碎骨折した。	医療・入院	134,000
128	大学	理系	駅前で「よさこい」の演技中、転倒し膝を骨折した。	医療・入院	134,000
129	大学	体育系	バレーボール部の活動中、アタックを打ち着地した際に膝の前十字じん帯を断裂した。	医療・入院	122,000
130	大学	文系	フリースタイル部の活動中、ボルダリングジム(子供も使用する一般的なジム)を登っていた際に転落し肋骨を骨折した。	医療・入院	122,000
131	大学	文系	鉄棒の練習中、肩から落下し鎖骨を骨折した。	医療・入院	122,000
132	大学	理系	写真部でスノーボード中、部員を撮影しようとした際に立木に衝突し、腎損傷・脾臓損傷を受傷した。	医療・入院	82,000
133	大学	医療系	水泳部の合宿先で就寝中、ベッドから転落し、足首を骨折した。	医療・入院	82,000
134	大学	文系	アイスホッケー部の活動中、転倒した際にフェンスに衝突し背部と臀部に打撲を負った。	医療	80,000
135	大学	文系	気球部の活動中、熱気球フライトの着陸の際に手の甲を挫創および腱を断裂した。	医療・入院	78,000
136	大学	文系	サイクリングの部活動中、走行中にバランスを崩し転倒した際に腕を骨折した。	医療・入院	70,000
137	大学	理系	ハンドボールの部活動中、相手選手と接触し転倒した際に腕に脱臼等を受傷した。	医療・入院	66,000
138	大学	医療系	弓道部で合宿中、友人とぶつかり頬骨を骨折した。	医療・入院	66,000
139	大学	文系	ワンダーフォーゲル部の合宿中、食事の際に鍋が倒れ足に熱湯がかかり火傷した。	医療・入院	62,000
140	大学	医療系	演劇サークルの活動中、照明設備を準備していた際に梯子から落下し、膝を剥離骨折した。	医療・入院	62,000
141	大学	理系	ソフトボールの部活動中、守備をしていた際に相手ランナーと接触し転倒した際に腰椎を骨折した。	医療	50,000
142	大学	理系	空手部の活動中、組手の試合で相手の足蹴りを手で受けた際に指を骨折した。	医療・入院	46,000
143	大学	文系	応援指導の部活動中、野球場の階段から転落し足首のじん帯を損傷した。	医療	30,000
144	大学	文系	ウインドサーフィンの部活動中、道具を持ち上げる際に腰を捻挫した。	医療	30,000
145	短大	理系	柔道部の活動中、相手の技をよけた際に板の間の床に膝を打ち付け膝の後十字じん帯を損傷した。	医療	30,000
146	大学	理系	トライアスロン部の活動中、自転車の練習で転倒し肩を脱臼した。	医療	30,000
147	大学	文系	ヨットの部活動中、ヨットをスロープから下ろしていた際に膝に大きな負荷がかかり半月板を損傷した。	入院	28,000
148	大学	文系	剣道部の活動中、相手の蹴りが目に当たり眼窩底を骨折した。	入院	20,000
149	大学	理系	ダイビングクラブの活動中、スキンドビングをしていた際に水中で溺れ、呼吸困難になった。	入院	16,000
150	大学	医療系	ライブハウスでバンド活動中、意識を失い一過性の貧血で倒れた。	入院	8,000

(ケ) 通学中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
151	大学	文系	徒歩で通学中、横断歩道で車と接触し足を骨折した。〔往路〕	医療・入院	498,000
152	大学	文系	原付で通学中、出会い頭に車と衝突し頭蓋骨折・脳挫傷・くも膜下出血等を受傷した。〔往路〕	医療・入院	308,000
153	大学院	理系	企業説明会に参加後、自転車で帰宅中に転倒し足のじん帯を損傷した。〔復路〕	医療・入院	260,000
154	短大	理系	自転車で通学中、雪でスリップし転倒した際に足を骨折した。〔往路〕	医療・入院	176,000
155	大学	体育系	電車内で立って帰宅中、電車が揺れ隣の乗客がぶつかって、バランスを崩し膝を脱臼した。〔復路〕	医療・入院	130,000
156	大学	文系	スクールバスで通学中、スクールバスに車が衝突し上半身に打撲を負った。〔往路〕	医療	110,000
157	大学	文系	スケートボードで通学中、バランスを崩した際に転倒し足を骨折した。〔往路〕	医療・入院	98,000
158	大学	理系	親が運転する車で通学中、信号待ちで停止していた際に車に追突され首と肩に打撲を負った。〔往路〕	医療	80,000
159	大学	文系	バスで通学中、人身事故が発生し急ブレーキがかかった際に首・肩に打撲を負った。〔往路〕	医療	80,000
160	大学	文系	キックスケーターで通学中、前輪が外れ転倒した際に肘を骨折した。〔往路〕	医療	50,000
161	大学	医療系	通学中、駅構内のエスカレーターを昇り切った際に転倒し、膝と肘を打撲した。〔往路〕	医療	50,000
162	大学	文系	スクールバスで通学中、右折車がバスに衝突し座席に腰等を打ち付け挫傷を負った。〔往路〕	医療	50,000
163	大学	文系	入学式出席のため、徒歩で大学に向かう途中、転倒し足首を捻挫した。〔往路〕	医療	50,000
164	短大	文系	徒歩で通学中、信号待ちをしていた際に見知らぬ男からハンマーで襲われた。頭部陥没骨折等受傷した。〔往路〕	医療・入院	47,000
165	高専	理系	自転車で帰宅中、転倒し肘関節を打撲した。〔復路〕	医療	30,000
166	大学	文系	友人の車に同乗し通学中、車同士で衝突し首を捻挫した。〔往路〕	医療	30,000
167	大学	文系	通学中、母親の運転する車に同乗中、車と衝突し全身を強打し打撲等を負った。〔往路〕	医療	15,000
168	短大	理系	通学中、アパートの階段から足を踏み外し頸椎を捻挫した。〔往路〕	医療	15,000
169	大学	文系	徒歩でサークル活動から帰宅中、他人の飼い犬に手を差し出した際に、指にかみつかれ傷を負った。〔復路〕	医療	15,000
170	大学	文系	自転車で帰宅中、不審者に自転車を引っ張られ顔を鉄の棒に打ち付け挫創を負った。〔復路〕	医療	6,000
171	大学	理系	インターンシップ先へ通勤中、駅のホームで歩行者と衝突した際にホームから線路へ落下し、肩・腰を挫傷した。〔往路〕	医療	6,000
172	大学	文系	車で通学中、コンクリートの壁に衝突した際に全身に打撲を負った。〔往路〕	医療	6,000
173	大学	理系	電車で通学中、車内が揺れた際に隣の人から足を踏まれ、足の指を骨折した。〔往路〕	医療	6,000
174	大学	医療系	車で帰宅中、車同士で衝突した際にエアバッグが開き、エアバッグの火薬で手に熱傷を負った。〔復路〕	医療	6,000
175	大学	文系	通学中、駅の駐車場にバイクを止める際に、隣のバイクのマフラーに足が触れ、火傷を負った。〔往路〕	医療	6,000
176	短大	文系	車で通学中、雪でスリップし石垣に衝突。首・足に打撲を負った。〔往路〕	医療	6,000

(コ) 施設間移動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
177	大学	理系	原付でキャンパス間を移動中、車と衝突し両膝を打撲した。	医療	110,000
178	大学院	理系	学会終了後、片付けのため大学へバイクで戻る途中で転倒し、膝にすり傷等を負った。	医療	30,000
179	大学	医療系	自転車で大学からサークル活動先へ向かう途中、車と衝突し腰椎を捻挫するとともに肘および膝に打撲を負った。	医療	30,000

(サ) 海外での事例（活動形態は【 】に記載）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
180	大学院	文系	アメリカの大学でインターシップ中、徒歩で帰宅していた際に車と接触し足を骨折・腰椎を圧迫骨折。脊柱に変形を残す後遺障害を負った。【通学中】	後遺障害 医療	2,280,000
181	大学	文系	アイルランドでラグビーの試合中、ステップを踏んだ際に膝の前十字じん帯を断裂した。【課外活動中】	医療・入院	208,000
182	大学院	体育系	ポルトガルで試合前の公式練習中、ジャンプをした際にアキレス腱を断裂した。【課外活動中】	医療・入院	134,000
183	大学	文系	オーストラリアでフットボールの練習試合中、相手と接触し膝を捻り倒れた。膝の前十字じん帯および半月板を断裂した。【課外活動中】	医療・入院	106,000
184	大学	医療系	オーストリアで空手の試合中、相手の突きが目当たり網膜剥離を受傷した。【課外活動中】	医療・入院	70,000
185	大学	医療系	タイのマッサージ専門学校でマッサージの授業中、腰を捻挫した。【正課中】	医療・入院	55,000
186	大学	理系	マレーシアで研究活動中、斜面で足を滑らせ鉗で手の指の腱を断裂した。【正課中】	医療	50,000
187	大学院	文系	オランダで研究プロジェクトの活動中、熱中症になって倒れ橈骨神経麻痺を発症した。【正課中】	医療	50,000
188	大学	文系	水球部でインドネシアに遠征中、サルモネラ感染症で高熱と下痢を発症し帰国後に入院した。【課外活動中】	入院	40,000
189	大学	文系	中国でゼミの研修中、施設見学中に転倒し両手の手のひらにすり傷を負った。【正課中】	医療	15,000
190	大学院	理系	フランスの研究所からを自転車で帰宅中、ロータリーの横断歩道を走行していた際に車と接触。頭部裂傷と手の指を骨折した。【通学中】	医療	15,000
191	大学	理系	カンボジアで研修中、食中毒症状で病院を受診した。【正課中】	医療・入院	11,000
192	大学	医療系	ドイツでの研修中、宿泊先でダニを疑う虫刺され症状が全身に発症し、帰国後に受診した。【正課中】	医療	3,000
193	大学	文系	ベトナムで研修中、食事後に腹痛・吐き気・下痢の食中毒症状を発症した。【正課中】	医療	3,000
194	大学	文系	ロシアで研修中、食後にノロウイルスに感染した。【正課中】	医療	3,000
195	大学院	理系	トンガで実験活動中、海岸で何かに刺され、足が腫れて炎症を起こした。【正課中】	医療	3,000
196	大学院	理系	マレーシアから帰国中の飛行機内で、激しい気圧の変化により航空性中耳炎になった。【正課中】	医療	3,000

(シ) 熱中症等の事例（活動形態は【 】に記載）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
197	大学	文系	アメリカンフットボール部の活動中、熱中症から肝障害を起こし入院した。【課外活動中】	医療・入院	106,000
198	短大	文系	ソフトボールの部活動中、試合後に急に目がくらみ気を失った。熱中症と診断された。【課外活動中】	医療・入院	74,000
199	大学	医療系	プール実習中、痙攣や嘔吐および脱水症状が発生し、熱中症と診断された。【正課中】	医療・入院	55,000
200	大学院	理系	自転車で通学中、熱中症で意識不明となり転倒し打撲等を受傷した。【通学中】	医療	30,000
201	大学	文系	教室内での講義中、脱水症状となり意識を消失し倒れ、救急車で搬送された。熱中症と診断された。【正課中】	医療・入院	15,000
202	大学	体育系	バレーボール部の活動中、頭痛と腹痛を感じ熱中症と腸炎を発症した。【課外活動中】	入院	8,000
203	大学	医療系	運動会で脱水症状が起き熱中症になった。【学校行事中】	医療	3,000
204	大学	文系	オープンキャンパス中、来場者の誘導の際に体調不良となり熱中症と診断された。【学校行事中】	医療	3,000

(ス) 食中毒の事例（活動形態は【 】に記載）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
205	短大	理系	キャンプ実習中、夕食のバーベキューが原因で食中毒と診断された。【正課中】	医療・入院	39,000
206	大学	文系	ホッケー部の遠征中、夕食後に腹痛・嘔吐・下痢・発熱の症状が出てカンピロバクター菌による感染性腸炎と診断された。【課外活動中】	入院	24,000
207	大学	文系	ゼミ活動中、海産物を食べ発熱・嘔吐を起こし急性食中毒により入院した。【学校行事中】	医療・入院	22,000
208	大学	文系	学食で昼食後、カンピロバクター食中毒を発症した。【学校施設内】	医療	15,000
209	大学	体育系	スキー実習中、宿泊施設でノロウイルスによる嘔吐・下痢・腹痛・発熱を発症した。【正課中】	医療	3,000
210	大学院	理系	研究室のゼミ旅行中、夕食後にカンピロバクター菌による感染症胃腸炎で体調不良となった。【正課中】	医療	3,000
211	大学	文系	合同ゼミでの懇親会で、飲食後に急性胃腸炎になった。【学校行事中】	医療	3,000
212	短大	理系	調理実習中、鶏肉に付着していたカンピロバクターが体内に入り食中毒と診断された。【正課中】	医療	3,000

(セ) その他の事例（活動形態は【 】に記載）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
213	大学院	理系	大学構内を原付で走行中、イノシシと衝突し転倒した際に足を脱臼骨折した。 【学校施設内】	医療・入院	150,000
214	大学	文系	部活の試合後、敷地内にいたマムシに指をかまれて咬傷を負った。【課外活動中】	医療・入院	70,000
215	大学院	理系	大学の放牧場で羊の捕獲中、突進してきた羊に飛ばされ顔・首等に打撲を負った。 【正課中】	医療	15,000
216	大学	理系	農作業中、足の甲をヤマビルにかまれた。1週間ほどたっても腫れがおさまらず化膿した。 【正課中】	医療	3,000
217	大学	理系	植物観察のフィールド演習中、足をマダニにかまれた。【正課中】	医療	3,000
218	大学院	理系	実習中、腕を毛虫に刺され、腫れとかゆみが発生した。【正課中】	医療	3,000
219	大学	文系	山羊を教室へ移動させる際、腕をかまれ筋肉内出血を受傷した。【正課中】	医療	3,000
220	大学	理系	実習で牛の前足を測定中、腕を蹴られ打撲を負った。【正課中】	医療	3,000
221	短大	文系	幼稚園実習中、雑巾に付いていたムカデに手を刺された。【正課中】	医療	3,000
222	短大	文系	施設で実習中、利用者と話している際にいきなり顔面を叩かれ打撲を負い、鼻血が止まらなくなった。【正課中】	医療	3,000
223	大学	文系	特別支援学校での教育実習中、児童に顔を引っ掻かれ擦過傷を負った。【正課中】	医療	3,000
224	大学院	理系	河川敷で調査研究中、蜂に刺され手首が腫れた。【正課中】	医療	3,000
225	大学	理系	飼育当番中、犬にかまれて咬傷を負った。【正課中】	医療	3,000
226	大学	理系	動物実験中、指をマウスにかまれた。【正課中】	医療	3,000
227	大学	理系	研究室での診療中、患者の猫にかまれて手に咬傷を負った。【正課中】	医療	3,000
228	大学	理系	動物実験中、体重測定のためウサギを抱き上げた際に手首等を引っ掛かれ傷を負った。 【正課中】	医療	3,000

★この他に植物起因の事故(漆のかぶれ等)も発生しています。



イ 学研災付帯賠償責任保険(略称「付帯賠償」)

2016年度から2020年度までの主な事故事例を、活動形態等で区分して示します。

(ア) 正課中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	大学	理系	実験中、レーザーを照射する対象物を誤り、大学所有のサーモグラフィーに照射し破損した。(Aコース)	対物	8,128,000
2	大学	理系	水槽に水をためていた際に、蛇口を閉め忘れ漏水し、学内の建物および実験装置を損傷した。(Aコース)	対物	6,245,700
3	大学	理系	担当教員の指導のもと、実験を行い走査型顕微鏡を使用して金属を制作中、手順ミスで試料交換棒を壊した。(Aコース)	対物	3,667,000
4	大学院	理系	大学施設内で研究中、電子顕微鏡の対物レンズが試料に当たり、その衝撃でレンズの金属部分が変形した。(Aコース)	対物	3,006,000
5	大学院	理系	機械低温のサンプルを作成する際に、真空度が規定値に達していなかったが実験を進め予冷作業中に容器が破損した。(Aコース)	対物	2,680,600
6	大学院	理系	実験中、スピードカメラを大型風洞内に入れて使用した際にカメラのセンサーを損傷した。(Aコース)	対物	2,668,000
7	大学	理系	卒業研究中、遠心分離器のローター操作を誤り壊した。(Aコース)	対物	1,721,500
8	大学院	理系	実験室の電動シャッターを下ろす際、置いていた荷物にシャッターが引っ掛かりレールから外れシャッターを損壊した。(Aコース)	対物	1,557,700
9	大学院	理系	研究活動中、顕微鏡の操作時に誤ってレーザー増幅器とつながっているファイバーを切断し増幅器を破損した。(Aコース)	対物	1,424,200
10	大学	理系	実験の手伝いをしていた際にカメラやレーザーなどの機材を水槽に水没させた。(Aコース)	対物	952,300
11	大学	文系	体育実技の授業でバスケットボールの試合中、試合終了直前にボールをリングに向かって力いっぱい投げた際に、リング上の壁面にあたり壁面が壊れた。(Aコース)	対物	563,700
12	大学	理系	調理学実習中、砂糖を加熱し溶けた状態で鍋からスプーンでトレイに移していた際に、加熱した砂糖が飛び散り友人が火傷した。(Aコース)	対人	344,100
13	大学院	理系	海外に行った際にスーツケースに虫が入っていたため、帰国し大学研究施設内にてその虫が発生し駆除が必要となった。専門業者の駆除費用と布団・シーツのクリーニング代を負担した。(Aコース)	対物	152,400
14	大学	理系	機械を倒した際に二重構造のガラスを破損した。(Aコース)【本件は2名で按分したものの。一人当たり120,700円支払。】	対物	120,700
15	短大	理系	授業の実験中、陶器製のシンクの流しを清掃中に誤って器具を落とし流し台が割れた。(Aコース)	対物	105,600
16	大学院	理系	大学から派遣され物理学学会に参加中、宿泊先のホテルで入浴した際に転倒し浴室のドアを破損した。(Aコース)	対物	97,200
17	大学	体育系	スキーの授業中、滑走していた際にスノーボーダーに衝突しケガを負わせた。(Aコース)	対人	93,500
18	大学	文系	実習中のカフェで片付けをしていた際、誤ってクーラーボックスのコンセントを抜き、中にあった棒アイス溶かしてしまった。(Aコース)	対物	65,500
19	大学	文系	体育の授業中、フットサルをしていた際に蹴ったボールで体育館のガラスを割った。(Aコース)	対物	36,500
20	大学	文系	マリンバのレッスンで、演奏中に大きな音を出した際にマリンバの音盤が割れた。(Aコース)	対物	29,700
21	大学	理系	授業中にトイレに行った際、トイレの扉を勢いよく押したためガラス部分が破損した。(Aコース)	対物	16,200
22	短大	文系	市内ホールで発表会のリハーサル中、大道具を移動した際、ホール所有のピアノに接触し複数の傷を付けた。(Aコース)【本件は4名で按分したものの。一人当たり10,800円支払。】	対物	10,800
23	短大	文系	レンタルしていたカラードレスを試着した際に躓き、ドレスの生地を破損した。(Aコース)	対物	9,300
24	大学	医療系	体育の授業のスキー実習中、宿泊施設の貴重品ロッカーの鍵を紛失した。(Cコース)	対物	5,000

(イ) 学校行事中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
25	大学	理系	学校行事のソフトボールの競技中、打ったバットが手から抜け応援者に当たり、歯牙複数破折および複雑骨折を負わせた。(Aコース)	対人	7,349,000
26	大学	文系	布を洗うための水槽に水を注いだままその場を離れたところ、ラウンジ床および階下が水浸しになった。(Aコース)	対物	2,430,000
27	大学	文系	オープンキャンパス準備中、資料を取り出すためホールロビーの鍵を事務室から借用した際に紛失した。(Aコース)	対物	396,200
28	大学	文系	ワークショップ(ダンス)に参加中、誤って後ろにいた被害者の手の指を足で踏みケガを負わせた。(Aコース)	対人・ 争訟費用	256,500
29	大学	理系	研修旅行中、旅行先の部屋の鍵を紛失した。(Aコース)	対物	177,900
30	大学	理系	インターンシップ先のワイナリーでワインタンクバルブを誤って捻り、ワイン約20リットルを漏出した。(Aコース)	対物	33,800
31	大学	文系	学校行事中に書道の墨を誤って大学所有の布製の椅子にこぼして汚した。(Aコース)	対物	9,300

(ウ) インターンシップ中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
32	大学	理系	同乗した実習先の車から外に出る際に、ドアの角が駐車中の車に当たり傷をつけた。(Aコース)	対物	56,300
33	短大	文系	ホテルで職業体験中、荷物カートを客の車に接触させ車体を傷つけた。(Aコース)	対物	50,400
34	大学院	理系	受入れ企業の宿舍で、荷物を部屋の備え付けの液晶テレビに当て画面を破損した。(Bコース)	対物	34,400

(エ) 介護体験活動中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
35	通信	文系	実習中、利用者が座ろうとしていた椅子を誤って引いてしまい、利用者がしりもちをつき打撲を負わせた。(Bコース)	対人	11,200
36	大学	文系	介護実習中、昼食の片付けの際に電話機に肩がぶつかり受話器を落とし壊した。(Bコース)	対物	3,000
37	大学	文系	生徒を車いすから降ろす際に、生徒の水筒を踏んで破損した。(Bコース)	対物	2,100

(オ) 教育実習中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
38	大学	文系	実習先の体育の授業中、体育館でバスケットボールをしてダンクシュートした際にボード部分にヒビが入った。(Aコース)	対物	671,700
39	短大	通信	実習先の掃き出し窓を開けようとし、開閉部分のパーツを破損した。(Aコース)	対物	66,900
40	大学	文系	生徒とバスケットボールをした際に、生徒にパスしたボールが顔面に当たり眼鏡を壊した。(Aコース)	対物	16,500
41	大学	通信	実習先で借りていた教科書に飲み物をこぼし汚損した。(Aコース)	対物	600

(カ) 保育実習中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
42	短大	文系	保育園の実習中、園児と一緒に実習中に誤ってドアに衝突しドアを破損した。(Aコース)	対物	89,100
43	短大	文系	給食の時間、席につかない園児を連れ戻そうと、両手を取った際に園児がぶら下がったため手首が抜けた。(Bコース)	対人	16,800
44	大学	文系	実習先の宿泊施設内で、誤って電気ケトルを落としケトルの蓋を壊した。(Aコース)	対物	4,100
45	大学	理系	実習のため使用していたカメラのSDカードを紛失した。(Bコース)	対物	1,000

(キ) ボランティア活動中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
46	大学	理系	ボランティアクラブ活動中、ブランコに乗っていた子どもを後ろから押していたところ、子どもが鎖から手を離して前方に落下しケガをした。(Aコース)	対人	422,800
47	大学	文系	児童会館でボランティア活動中、床に貼ったガムテープを剥がす際に、床ウレタンも剥がれ跡が残った。(Aコース)	対物	96,100
48	大学	文系	ボランティア活動中、ブルーシートを運ぶ際に、机にぶつかり机が窓ガラスに当たり窓ガラスを破損した。(Bコース)【本件は2名で按分したもの。一人当たり8,100円支払。】	対物	8,100

(ク) 臨床・看護等医療関連実習中

No.	学校種別	学部分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
49	短大	医療系	実習先の歯科医院で実習中、ブラケット(矯正治療金属)を使用中にシートに当たりシートとブラケットの一部を破損した。(Cコース)	対物	2,157,000
50	大学	医療系	病院実習中、膀胱用超音波画像診断装置を落とし壊した。(Cコース)	対物	351,700
51	大学	医療系	口腔病理の実習中、顕微鏡を片付ける際に床に落とし壊した。(Cコース)	対物	136,100
52	大学	医療系	病院で実習中、分娩台の高さを調節する際にボタンを間違え助産師の足の指を挟んだ。(Cコース)	対人	98,700
53	短大	医療系	実習中、口腔内バキュームを倒しアーム接続部分を破損した。(Cコース)	対物	64,800

(ケ) 往復中

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
54	大学	理系	自転車で通学中、清掃作業員に衝突し相手にケガを負わせた。(Aコース)〔往路〕	対人・ 争訟費用	62,050,600
55	大学	文系	自転車で帰宅中、交差点に進入した際に自転車の後輪が相手に接触し転倒した際にケガを負わせた。(Aコース)〔復路〕	対人・ 争訟費用	45,793,900
56	大学	医療系	自転車で帰宅中、歩行者と接触し相手が亡くなった。(Cコース)〔復路〕	対人	15,452,000
57	大学	文系	自転車で帰宅途中、歩行者とぶつかりケガを負わせた。(Aコース)〔復路〕	対人・ 争訟費用	11,280,900
58	大学	理系	自転車同士で衝突し相手のケガの治療費と自転車修理費用を負担した。(Cコース)〔往路〕	対人・対物	8,250,400
59	大学	文系	電車から降りた際、横にいた相手と衝突しケガを負わせた。(Aコース)〔往路〕	対人・ 争訟費用	3,846,500
60	大学	文系	通学中、駅構内でエスカレーターで降りている際に、所持していたキャリーバックが落下し、相手に直撃し転倒させケガを負わせた。(Aコース)〔往路〕	対人	2,286,400
61	大学	理系	自転車で通学中、自転車同士で接触し相手にケガを負わせるとともに相手の自転車の修理費用が発生した。(Aコース)〔往路〕	対人・対物	976,300
62	大学	体育系	徒歩で帰宅中、高齢者と接触した際にケガを負わせた。(Aコース)〔復路〕	対人	601,200
63	大学	文系	地下鉄車両内で大学所有のパソコンの盗難に遭った。(Aコース)	対物	157,700
64	大学院	文系	電車を通学中、同じカバンに入れていたペットボトルの蓋が緩み漏れ出た液体で大学貸与のノートパソコンが濡れ基盤に損害を与えた。(Lコース)〔往路〕	対物	152,900
65	大学	理系	帰宅するため廊下を歩いていた際に転倒し、出口ドアのガラス部分に当たりガラスを破損した。(Aコース)〔復路〕	対物	74,400
66	短大	文系	講義のため廊下を歩いていた際に、滑って壁に手をつき壁に穴が空いた。(Aコース)〔往路〕	対物	70,200
67	大学院	理系	授業が終わり原付で帰宅した際、リュックサックに入れていた研究室所有のiPadの画面にヒビが入っていた。(Aコース)〔復路〕	対物	70,100
68	大学	理系	通学中、自宅前の階段で転倒し、手に持っていた大学貸与のノートパソコンを落とし液晶画面を破損した。(Aコース)〔往路〕	対物	40,000
69	大学	理系	大学からクラブ活動場所に徒歩で移動中、引いていたキャリーバッグで歩行者を転倒させ相手の眼鏡を壊した。(Cコース)	対物	15,500
70	大学	文系	大学図書館で借りていた本を紛失した。(Aコース)〔往路〕	対物	1,100

★往復中の事故原因は自転車に占められています。特に、対人では大きな事故が発生しています。

(コ) 海外での事故

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
71	大学	文系	台湾で研修を終え台北松山空港から羽田空港へ向かう途中、保安検査場内で大学が貸与しているノートパソコンを紛失した。(Aコース)	対物	192,200
72	大学院	理系	アフリカで研究調査中、試験器を充電する際に充電器が故障した。(Aコース)	対物	14,600
73	大学	理系	台湾でプログラム留学中、大学から借りた着物を留学先で紛失した。(Aコース)	対物	5,100

(サ) ゲートバーの事故

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
74	大学	理系	自転車で帰宅中、バーが開いていたので前の車に続きそのまま走行したところ、バーが降りてきたためバーを破損した。(Aコース)〔復路〕	対物	102,600
75	大学	理系	徒歩で通学中、入り口のゲートバーが降りていることに気付かずゲートバーを折ってしまった。(Aコース)〔往路〕	対物	76,400
76	大学	医療系	自転車で通学中、駐車場を通り抜けようとした際にゲートバーを破損した。(Cコース)〔往路〕	対物	62,700

ウ 学研災と付帯賠償

2016年度から2020年度までの事故の中で、一つの事故により学研災と付帯賠償の両方から保険金が支払われた事故の事例を、活動形態で区分して示します。

（ア）正課中

No.	保険 種別	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	学研災	大学	文系	ゴルフの授業中、友人がスイングした際に頭部にクラブが当たり、創傷を負った。【体育実技】	医療	3,000
	付帯 賠償	〃	〃	ゴルフの授業中、スイングした際に友人の頭部にクラブが当たり、ケガを負わせた。(Aコース)	対人	8,000
2	学研災	大学	理系 (生命医科学科)	学生同士で採血の実習中、腕および手指に痺れが残った。【医療実習】	医療	3,000
	付帯 賠償	大学	医療系	学生同士で採血の実習中、手順を誤ったため相手の腕および手指に痺れが生じた。(Cコース)	対人	130,000
3	学研災	大学	文系	正課中、体育館で卓球台をたたむ際に、卓球台が倒れ膝を打撲した。【体育実技】	医療	6,000
	付帯 賠償	〃	〃	正課中、体育館で卓球台をたたむ際に、卓球台が相手方に倒れケガを負わせるとともに体育館のフロアも破損した。(Aコース)	対人・対物	172,100

（イ）学校行事中

No.	保険 種別	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
4	学研災	大学	理系	オリエンテーション中、宿泊先のホテルでガラスの壁に衝突し、切り傷を負った。	医療	6,000
	付帯 賠償	〃	〃	オリエンテーション宿泊先のホテル内で移動中、ガラスの壁に気づかず衝突しガラスを破損した。(Aコース)	対物	188,700
5	学研災	短大	文系	学祭準備中、コンサート会場づくりのため友人と机を運んでいた際、机とドアノブの間に指を挟み更に押されたため指のじん帯を損傷した。	医療	3,000
	付帯 賠償	〃	〃	学祭準備中、コンサート会場づくりのため友人と机を運んでいた際、指にケガを負わせた。(Aコース)	対人	5,400

（ウ）通学中・往復中

No.	保険 種別	学校 種別	学部 分類別	事故内容(加入コース)	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
6	学研災	大学院	理系	自転車で帰宅中、歩行者と衝突し転倒した際に腕を脱臼した。	医療	15,000
	付帯 賠償	〃	〃	自転車で帰宅中、歩行者と衝突し相手にケガを負わせた。(Aコース)	対人	14,400
7	学研災	大学	文系	部活から自転車で帰宅中、車と衝突し全身打撲およびすり傷を負った。	医療	6,000
	付帯 賠償	〃	〃	部活から自転車で帰宅中、車と衝突し車体を傷つけた。(Aコース)	対物	61,200
8	学研災	大学	医療系	自転車で通学中、車と衝突し転倒した際に肩等を骨折した。	医療・入院	208,000
	付帯 賠償	〃	〃	自転車で通学中、車と衝突し車体を傷つけた。(Cコース)	対物	39,000

エ 学研災付帯学生生活総合保険(略称「付帯学総」)

2016年度から2020年度までの主な事故事例を、保険金種で区分して示します。

(ア) 死亡・後遺障害

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
1	短大	文系	自転車で通学中、車と出会い頭に衝突。意識不明となり救急搬送後、翌日死亡した。	3,000,000
2	大学	文系	プライベートでバイクに乗車している際に、交通事故を起こし、視野欠損と関節機能に障害が残った。	1,020,000
3	大学	文系	アルバイト先から自転車で帰宅途中、飲酒運転の車にはねられ意識不明の重体となり、頭部外傷による神経系統の障害を負った。	780,000
4	大学	文系	サークルでサッカーのプレー中に相手と接触し、地面に手をつき受傷。月状骨周囲脱臼と手の舟状骨を骨折し右手関節の機能障害を負った。	300,000
5	短大	文系	アルバイトに行く途中、交差点を自転車で横断した際に左折してきた車と衝突し、頭部を打撲して血腫による頑固な神経症状を残す後遺傷害が発生した。	300,000
6	大学	体育系	スノーボード中に転倒し、手首を骨折。局部に神経症状を残す後遺障害が発生した。	120,000
7	大学	理系	友達のバイクにまたがった際、そのバイクが転倒し指を切断した。	100,000

(イ) 治療費用（ケガ）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
8	大学	文系	自宅近くの公園でダンスの練習をしていて着地に失敗し、膝の靱帯を損傷した。	441,300
9	大学	文系	自転車で公園を走行中に転倒し、手首を複雑骨折および顔面を打撲した。	111,300
10	大学	医療系	ラグビー部の試合中、相手選手と接触し肩を脱臼した。	55,400
11	短大	文系	学生寮の階段を踏み外し、足首を捻挫した。	15,300
12	大学	文系	寮内の脱衣所で、壁に足をぶつけ中指を骨折した。	13,620
13	短大	文系	ラグビー部の試合中、タックルした際に手首が相手選手にぶつかり、大菱形骨を骨折した。	9,230
14	大学	理系	島に旅行中、洗い物をしていた際にコップが割れて手の小指が切れ4針縫った。	8,120
15	大学	文系	アルバイト中、物が落ちてきて足の指を損傷した。	2,500

(ウ) 治療費用（病気）

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
16	大学	文系	小児がんのため、82日間入通院した。	644,600
17	大学	文系	急性虫垂炎のため、17日間入通院した。	371,900
18	大学	理系	扁桃炎にかかり通院・入院した。	253,700
19	大学	理系	中耳炎のため、13日間入院した。	210,400
20	大学	文系	網膜剥離のため、23日間入通院した。	209,900
21	大学	文系	自然気胸のため入院した。	154,798
22	短大	文系	腰椎椎間板ヘルニアのため通院した。	95,000
23	短大	医療系	夜半に高熱が出て救急搬送され、急性腎盂腎炎で入院した。	77,800
24	大学	文系	気管支喘息の発作をおこし、入院した。	76,000
25	大学	文系	親不知の抜歯のため入院した。	72,140
26	大学	理系	てんかんのため、4日間入院した。	42,800
27	大学	医療系	アレルギー性鼻炎のため、3日間通院した。	15,600
28	大学	文系	風邪および咳喘息になり通院した。	14,000
29	大学	医療系	耳鳴りのため通院した。	10,800
30	大学	医療系	アレルギー性鼻炎のため通院した。	9,400
31	大学	理系	インフルエンザのため通院した。	9,200
32	大学	文系	マスクで肌荒れをしたため、3日間通院した。	6,800
33	大学	医療系	風邪で1日通院した。	1,900

★病気も1日の通院から補償されます。

(エ) 医療・通院

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
34	大学	理系	歩行中にトラック事故に巻き込まれ、捻挫と打撲を負った。	201,000
35	大学	文系	プライベートでスノーボードをしているときに転倒し手舟状骨を骨折した。	186,000
36	大学	文系	車を運転中に後ろから相手車に追突され、ケガをして入院した。	165,000
37	大学	文系	自宅でシャワー後に気を失い転倒した際、膝に切傷を負った。	126,000
38	大学	文系	アルバイト先の焼き肉店で、油が入った鉄板から油が飛んできて火傷をした。	33,000
39	大学	文系	テニススクールでアルバイト中に捻挫した。	33,000
40	大学	文系	自宅での夕食時、ラザニアの容器を持とうとして手が滑り、中身が左足首へかかり火傷を負った。	12,000
41	大学	文系	自宅で犬に噛まれ、噛み傷が化膿して通院した。	9,000

(オ) 医療・入院

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
42	大学	医療系	剣道の実践競技中に転倒し、膝の前十字靱帯と半月板を損傷し入院した。	155,000
43	大学	医療系	バイクで通学中、車と接触しそうになって転倒し、全身打撲で通院した。	24,000
44	大学	文系	火災ボヤにより部屋に煙が充満し、一酸化炭素中毒となった。	10,000

(カ) 対人賠償

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
45	大学	理系	自転車搭乗中、交差点を横断する際に信号無視をしてしまいバイクと衝突し、相手にケガを負わせ、バイクにも傷をつけてしまった。	12,780,000
46	大学	文系	スキー場の滑走合流地点で出会い頭に衝突し、相手に複数箇所骨折を負わせた。	9,575,534
47	大学	文系	雨の中、自転車で直進中にスリップして転倒し、歩いていた女性と接触してケガを負わせた。	2,860,000

(キ) 対物賠償

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
48	大学	文系	台所横の配管が凍結したことによる破裂・水漏れで、床に被害が生じた。	2,173,200
49	大学	文系	洗濯機のホース蛇口から漏水し、階下に水漏れが発生した。	1,151,200
50	大学	文系	アパートのドアの外に蚊取り線香を置いており、気が付くと強い風に飛ばされて蚊取り線香が共用廊下の床を数カ所焦がしていた。	1,045,115
51	大学	理系	髪を詰まらせたことにより、自室の浴室から水が溢れ、階下に水漏れが発生した。	683,400
52	大学	文系	水道管元栓が凍結・破裂し、自室から水漏れし階下の住人の家具を濡らした。	507,600
53	大学	文系	夏休みで帰省中、自転車で駐車中の車に接触し傷をつけた。	266,300
54	大学	医療系	洗濯機が原因でアパート階下に漏水した。	222,491
55	短大	医療系	洗濯機の排水ホースの取付方法を誤ってしまい、階下の居室に水漏れした。	218,800
56	大学	医療系	野球部の練習中、打ったボールが駐車していた車のトランクに当たり破損。	210,720
57	大学	文系	店舗内でつまずいて転倒し、飾り硝子を破損した。	164,100
58	大学	理系	友人の部屋の棚を誤って壊した。	149,000
59	大学	医療系	部活の合宿の際に入った店舗の入口ドアにぶつかり、硝子ドアを破損した。	41,000
60	大学	文系	プライベートで遊んでいるときに、野球ボールがガラスに当たり、ガラスが割れてしまった。	13,200
61	短大	文系	学園祭の準備中、ガムテープを投げて教室の天井に穴をあけた。	11,000
62	短大	文系	下宿先のキッチンのドアを開めた際、ドアのガラスにひびが入った。	6,500

(ク) 救済者費用

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
63	大学	文系	合宿中に転倒し腰椎破裂骨折し、両親の駆けつけた交通費と宿泊費。	267,200
64	大学	理系	狭窄症を発症。入院後に両親が駆け付けた際の交通費。	84,580
65	大学	理系	肺炎を発症。入院後に両親が駆け付けた際の交通費。	21,700
66	大学	医療系	脳室内腫瘍を発症し、入院中の世話のために両親が来た際の交通費。	10,800
67	大学	体育系	バスケット部の合宿中、膝を負傷し入院。両親が駆け付けた際の交通費。	9,900
68	大学	医療系	発熱、のどの痛み、呼吸困難の症状があり入院し、両親が駆けつけた交通費及び本人の退院時の交通費。	7,000

（ケ）感染予防費用

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
69	大学	医療系	実習中に患者の血液が目に入ったため検査を受けた。	48,700
70	大学	医療系	外科手術見学中、ヒトの血液から作った製剤噴霧が顔にかかりABC型肝炎の検査を受けた。	40,120
71	大学	医療系	実習中に患者の血液が目に入ってしまったため検査を受けた。	26,500
72	大学	医療系	外科実習中に、針刺し事故を起こし、救急科にて抗体検査を受けた。	15,400

（コ）育英費用

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
73	大学	文系	扶養者が仕事中にクレーン車の上から転落し頭部打撲。高次脳機能障害と診断された。	3,000,000
74	大学	文系	扶養者が交通事故で死亡した。	3,000,000
75	大学	文系	嘔吐物をのどに詰まらせて、扶養者が死亡した。	1,000,000
76	大学	文系	横断歩道を自転車で渡っていたところ、左折してきたトラックにはねられ、扶養者が死亡した。	1,000,000
77	大学	理系	扶養者が交通事故で死亡した。	1,000,000
78	大学	医療系	扶養者が交通事故で重度後遺障害を負った。	1,000,000

（サ）学資費用

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
79	大学	医療系	扶養者が脳溢血で死亡した。	2,679,000
80	大学	文系	扶養者が肺炎で死亡した。	2,565,000
81	大学	文系	扶養者が肺炎で死亡した。	1,928,000
82	大学	文系	扶養者がくも膜下出血により死亡した。	1,557,900
83	大学	文系	扶養者が肺炎のため死亡した。	1,500,000

(シ) 生活用動産

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
84	大学	文系	台風により浸水し、ベッド等の家財一式が濡れて修理費を請求された。	500,000
85	大学	文系	バイクで単独事故を起こした際、ヘルメット、パソコン、タブレット端末等が破損した。	434,700
86	大学	文系	下宿先のアパートでカメラ・パソコンの盗難に遭った。	402,000
87	大学	文系	駅の駐輪場で自転車の盗難に遭った。	263,800
88	大学	理系	駐車場で車上荒らしに遭い、車のガラスが割られ中に置いていたゴルフクラブの盗難に遭った。	253,700
89	大学	文系	下宿先の駐輪場で自転車の盗難に遭った。	155,300
90	大学	文系	自宅で自分のパソコンに飲み物をこぼして破損した。	138,300
91	大学	文系	台風により建物が破損した結果、雨水がアパートに侵入し、家財が濡れたために買い替えた。	124,000
92	大学	文系	スキー中に転倒し、スキー板を破損した。	109,842
93	大学	医療系	アパートの部屋の模様替えの際、自分のテレビを倒し破損した。	89,800
94	大学	文系	自宅マンションで料理中出火し、自身の衣類、フライパンが損傷した。	53,200
95	大学	文系	隣の部屋の火事で自分の家財が焼けた。	45,600
96	大学	理系	引っ越しの際、パソコンを誤って落とし破損した。	16,900
97	大学	医療系	自転車で通学中、交差点でバスにぶつかり、自転車が破損した。	15,000

(ス) 借家人賠償

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	支払保険金 (単位:円)
98	大学	文系	作品を自宅アパートで制作中、塗料を誤って室内及び洗面所、浴室にこぼし、付着させてしまい、オーナーより賠償請求があった。	1,110,500
99	大学	文系	帰宅しドアを開けた際、強風によりドアが壁に当たりドアが破損した。	367,200
100	大学	文系	洗濯機を回して外出し2～3時間後に帰宅すると排水ホースが外れていて床全面に漏水。時間が経って床板が腐食し管理会社より賠償請求があった。	334,400
101	大学	理系	水抜きを怠ったことにより、水道管が凍結破損。また、水を出した際、漏水により壁が汚損され修理が必要となった。	229,500
102	短大	文系	居室内の水道管を凍結破損した。	211,800
103	短大	文系	引っ越しの準備で荷物の搬送時にドア等を破損した。	167,400
104	大学	医療系	マンションの部屋の模様替え中に、家具が窓ガラスに当たり窓ガラスが破損した。	89,600

オ 学研災付帯海外留学保険(略称「付帯海学」)

2016年度から2020年度までの主な事故事例を、保険金種で区分して示します。

(ア) 治療・救援費用（ケガ）

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	事故発生地区
1	私立	152日	車にはねられ額を切傷し、両頬を骨折した。	5,952,400	北米(アメリカ)
2	国立	15日	生牡蠣を食べて下痢、嘔吐、発熱のため入院・通院した。	476,000	アジア(タイ)
3	国立	21日	トランクケースを片手で持ち上げた際に肩を脱臼した。	272,385	欧州(エストニア)
4	国立	333日	機内で席を立った際に転倒し、前歯が折れ、受診した。	238,400	北米(アメリカ)
5	公立	117日	スケートボードで転倒し、頭部と肘を打撲した。	112,653	大洋州(オーストラリア)
6	私立	304日	犬に咬まれたため、狂犬病のワクチン接種を複数回受けた。	86,900	アフリカ(南アフリカ)
7	国立	11日	猫に引っかかれ狂犬病のワクチンを打った。	12,676	アジア(フィリピン)
8	私立	31日	カップラーメンにお湯を注いだ際、カップが倒れ左足に火傷を負った。	11,764	北米(米国)
9	国立	334日	ナイフで果物を切ろうとした際、誤って手を切った。	11,437	アジア(中国)
10	私立	23日	階段を踏み外し右足骨にひびが入り受診した。	9,200	アジア(インド)
11	公立	338日	バスケットボール中に手をついた際に手の人差し指を骨折し受診した。	6,900	アジア(中国)
12	私立	14日	段差につまずき転倒し、頭部を打撲した。	3,700	アジア(台湾)

(イ) 治療・救援費用（病気）

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	事故発生地区
13	私立	102日	肺炎により入院・通院した。	2,757,300	北米(アメリカ)
14	私立	243日	扁桃腺にかかり手術した。	2,216,500	北米(アメリカ)
15	国立	300日	虫垂炎にかかり入院・通院した。	829,700	アジア(タイ)
16	国立	21日	喉の痛みや咳等の症状があり、コロナウイルス感染の疑いがあったため入院・通院した。	345,600	アジア(フィリピン)
17	私立	28日	インフルエンザのため入院した。	219,200	大洋州(オーストラリア)

★病気が一番心配です。また、治療費用も高額になります。

(ウ) 携行品損害

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	事故発生地区
18	国立	153日	カメラの盗難に遭った。	192,500	アジア(フィリピン)
19	私立	365日	リュックの盗難に遭った。	115,800	欧州(スペイン)
20	公立	8日	鞆の中のペットボトルの水が漏れ、カメラが破損した。	100,000	太洋州(ハワイ)
21	私立	24日	携帯電話の盗難に遭った。	100,000	欧州(フランス)
22	国立	123日	パソコンを落とし破損した。	54,200	アジア(中国)
23	国立	296日	買い物中に後ろポケットに入れていた長財布を盗まれた。	26,652	欧州(スペイン)
24	私立	335日	スーツケースが破損した。	8,300	欧州(フランス)

(エ) 賠償責任・留学生賠償責任

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	事故発生地区
25	国立	13日	トイレの水を流した際に部屋が水浸しになった。	1,180,400	北米(アメリカ)
26	私立	379日	ホテルで洗濯物を干そうとした際に誤ってスプリンクラーに触れ、水濡れを発生させた。	401,732	アジア(タイ)
27	国立	28日	ホームステイ先の窓ガラスを破損した。	27,400	大洋州(オーストラリア)
28	私立	120日	レンタルWi-Fiを紛失した。	25,000	欧州(オランダ)
29	国立	8日	カフェの陳列棚に置いてある水筒を落として破損した。	5,850	アジア(インドネシア)
30	国立	101日	エレベーターのドアの隙間にホテルの鍵を落とし破損した。	4,300	アジア(フィリピン)

(オ) 航空機遅延費用

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	事故発生地区
31	私立	335日	新型コロナの影響により航空機が欠航した。	20,000	欧州(ポルトガル)
32	国立	131日	航空機欠航により、ホテル代を負担した。	17,500	北米(アメリカ)
33	私立	71日	台風の影響で航空機が欠航し、宿泊費・交通費・飲食代を負担した。	17,229	北米(カナダ)
34	国立	32日	台風の影響で航空機が欠航し、宿泊費・交通費・飲食代を負担した。	10,000	日本(東京)
35	国立	186日	帰国の際に霧で航空機が遅延し、宿泊費・交通費を負担した。	6,000	アジア(インド)
36	国立	7日	台風の影響で関西国際空港が閉鎖したため航空機が欠航。交通費を負担した。	5,440	アジア(台湾)
37	国立	32日	航空機遅延により、食事代を負担した。	4,300	日本(大阪)

(カ) 航空機寄託手荷物遅延等費用

No.	設置者別	保険期間	事故内容	支払保険金 (単位:円)	事故発生地区
38	私立	152日	ロストバゲージとなった。	99,044	北米(アメリカ)
39	公立	366日	ロストバゲージとなった。	21,500	北米(アメリカ)
40	国立	20日	ロストバゲージとなった。	14,100	欧州(イギリス)

(4)留学生がかかわった事故

2016年度から2020年度までの間に学研災及び付帯賠償において保険金が支払われた事故の中で留学生がかかわった主な事故並びに2017年度から2020年度までの間にインバウンド付帯学総において保険金が支払われた主な事故について、各保険等で区分して示します。

ア 学研災（後遺障害事故）

No.	活動形態	学校種別	学部分類	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	正課中 (体育実技)	大学	文系	体育実技のゴルフで、目を挫傷した。	後遺障害 医療	930,000
2	正課中 (理系実験)	大学院	理系	コンクリートの練り混ぜと打ち込み作業中、稼働中のミキサーに指が巻き込まれ骨折。1手の示指、中指または環指を失った後遺障害を負った。	後遺障害 医療・入院	4,610,000
3	正課中 (その他)	大学	文系	野外活動で木の伐採中、腰部を骨折した。	後遺障害 医療・入院	6,178,000
4	学校施設内	大学院	理系	自転車で学校施設内を移動中、腰部を骨折した。	後遺障害 医療・入院	2,332,000
5	課外活動中	大学	理系	課外活動のダンスで、手のじん帯を損傷した。	後遺障害 医療	1,550,000

イ 学研災（後遺障害以外の事故）

No.	活動形態	学校種別	学部分類	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	正課中 (体育実技)	大学	理系	体育実技のスキーで転んで左膝を捻った。	医療	50,000
2	正課中 (体育実技)	大学	文系	体育実技の遠隔授業でストレッチを実施中にケガをして、左足の親指を捻挫した。	医療	3,000
3	正課中 (体育実技)	短大	文系	体育実技のバレーボールで、右第一指にボールが強く当たった。	医療	3,000
4	正課中 (体育実技)	大学	文系	体育実技のバスケットボールで、相手の肩とぶつかり肋骨を打撲した。	医療	3,000
5	正課中 (理系実験)	大学院	理系	アンモニア燃焼実験で電気による爆発が発生し、耳鳴り、難聴等になった。	医療・入院	35,000
6	正課中 (理系実験)	大学院	理系	理系実験後の廃棄物の処理で、ナトリウムの付着したごみの処理中にエタノールに発火しやけどを負った。	医療	15,000
7	正課中 (理系実験)	大学	理系	理系実験中、サンプル瓶が割れて、両手(右手2cm、左手1cm)に切り傷を負った。	医療	6,000
8	正課中 (その他)	大学院	理系	課題製作中、やすりをかける機械に巻き込まれて、右中指に創傷を負った。	医療	30,000
9	正課中 (その他)	短大	理系	調理実習中、大根のかつらむきをして、左第2指に切傷を負った。	医療	15,000
10	正課中 (その他)	大学院	理系	現場調査で、降下するドローンを受け止める時、ドローンの降下速度が速すぎたため、回転するプロペラにより手指に切り傷を負った。	医療	6,000
11	正課中 (その他)	短大	理系	調理実習中、大根を切っていて指を切った。	医療	6,000
12	正課中 (その他)	大学	文系	デザイン工芸(吹きガラス)で、熱いガラスを制作した時、棒の熱い部分を握ってしまい左手指を火傷した。	医療	3,000
13	正課中 (その他)	短大	文系	美術科の正課中、パネルを切る時カッターで指を切った。	医療	3,000
14	正課中 (その他)	大学院	理系	夏季実測中、熱中症になった。	医療	3,000

No.	活動形態	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
15	正課中 (その他)	大学院	文系	正課中、蜂に刺された。	医療	3,000
16	学校行事中	大学院	理系	ソフトボール大会で左膝後十字靭帯を損傷した。	医療・入院	58,000
17	学校行事中	大学院	文系	卒業展示用材料を準備している時に、カッターで左手人差し指を切り、出血した。	医療	3,000
18	学校行事中	大学	文系	ニュージーランド留学中、ナンキンムシに刺された。	医療	3,000
19	学校施設内	大学院	文系	自転車で校舎横を走行中、雨で濡れた鉄板上右折時に、スリップして転倒し、右足関節を骨折した。	医療・入院	344,000
20	学校施設内	大学院	理系	食堂から研究室に行く階段で足をねじり、足首の靭帯を損傷した。	医療	50,000
21	学校施設内	短大	文系	教室を移動している時、階段を踏み間違えて、左の足首を捻った。	医療	30,000
22	学校施設内	大学	文系	学校の出口のガラスに突き当たり、顔に創傷を負った。	医療	6,000
23	課外活動中	大学	文系	ラグビー部の合宿中、タックルされ膝を捻り左膝前十字靭帯を損傷した。	医療・入院	312,000
24	課外活動中	大学	文系	柔道の練習中、相手に投げられ右ひじを剥離骨折した。	医療・入院	74,000
25	課外活動中	大学	文系	サッカー部で、右足首を踏まれてねじり、右足関節外果を骨折した。	医療・入院	62,000
26	課外活動中	大学	体育系	相撲部の稽古中、手首が曲がったまま相手にぶつかってしまい、左手首を骨折した。	医療	30,000
27	課外活動中	大学	体育系	バスケットボールの練習時に、ジャンプして着地をした際、相手の足を踏んで捻挫した。	医療	30,000
28	課外活動中	大学	文系	課外活動のアメリカンフットボールで、ボールが頭に当たり頸椎捻挫と頭部挫傷を負った。	医療・入院	12,000
29	通学中	大学	文系	自転車で通学中、自転車と衝突して転倒し右膝関節内を骨折した。	医療・入院	492,000
30	通学中	大学	文系	自転車で下校時、転倒し、右膝前十字靭帯を損傷した。	医療・入院	200,000
31	通学中	大学	理系	徒歩で通学中、車と接触し膝を骨折した。	医療・入院	158,000
32	通学中	大学院	文系	自転車で下校時、車とぶつかりそうになり急ブレーキをかけ転倒し、左上腕骨を骨折し、奥歯を損傷した。	医療・入院	118,000
33	通学中	大学院	理系	通学中、駅の階段を踏み外して左足を挫いて、靭帯を損傷した。	医療	30,000
34	通学中	大学院	文系	歩道を歩いているとき木の根につまずき転倒した。	医療	15,000
35	通学中	短大	理系	自転車で帰宅中、転倒し膝に創傷を負った。	医療	15,000
36	通学中	大学院	文系	徒歩で帰宅中、バスから降車する時に転倒し肩を脱臼した。	医療	6,000

ウ 付帯賠償

No.	活動形態	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	正課中	大学院	理系	実験中、シリンダをねじって電圧が上げすぎて変圧器を壊した。	対物	550,550
2	正課中	大学院	理系	レーザーカッターを放置したためカッターの火が紙に引火し装置本体の一部が焼失した。	対物	209,520
3	正課中	短大	文系	汚染洗浄所でタオルを洗っていた際、タオルが流れてしまい排水管がつまり水が流れなくなってしまった。	対物	162,000
4	正課中	大学	文系	公園で作品製作の撮影中、カメラ一式を盗まれた。	対物	117,500
5	正課中	大学院	文系	授業中の打ち合わせ中に飲み物を倒して、他の留学生のパソコンにかかってしまいそのパソコンが起動しなくなった。	対物	111,926
6	正課中	大学院	文系	授業中、ペットボトルにあたって、そばに置いていたラップトップコンピュータに水がかかってしまった。	対物	64,530
7	正課中	大学院	理系	フィールド演習中に車から降りる時に駐車している隣の車のドアにぶつけてしまった。	対物	43,290
8	正課中	大学院	理系	秋田県で演習中、宿泊先の部屋の鍵を紛失した。	対物	21,600
9	正課中	大学	文系	授業の後、大学から借りたタブレットパソコンを置き忘れ紛失した。	対物	15,865
10	正課中	短大	文系	施設実習中、足が当たりホワイトボードとパーテーションが同時に倒れてしまい両方の接続部分とキャスターを破損した。	対物	8,820
11	正課中	大学	理系	実習中大学から貸与されたPHSをトイレに落としてしまい充電できなくなった。	対物	6,300
12	正課中	短大	文系	食器洗いの際、マグカップを食器が高く積んである上に置いたところ、床に落とし破損した。	対物	753
13	学校行事中	大学院	理系	エントランスドアの施錠を確認せず、研究室からカメラ3台が盗まれた。	対物	207,251
14	学校行事中	大学院	理系	スノーボードの体験実習の際、スノーボードを外して徒歩で山頂から下りようとしたところ、ボードが手から滑り落ち、先にいた女性の顔面にぶつかりケガをさせてしまった。	対人	37,206
15	往復中	大学院	理系	通学途中、スケートボードに乗って学内の研修室に向っていたところ誤って正面玄関にぶつかりガラスドアを破損した。	対物	176,796
16	往復中	大学	文系	自転車で通学中、信号のない交差点で右方から来た乗用車と接触、擦過傷を負った。自転車側に「一時停止の標識」があり、ぶつかった際、相手の車の側面に傷をつけた。	対物	145,243
17	往復中	短大	文系	自転車で通学中、転倒した際、学校から借りているノートPCを落として破損した。	対物	125,280
18	往復中	大学院	文系	寮の鍵を地下鉄のトイレに置き忘れてしまい、鍵を弁償、交換することになった。	対物	58,860
19	往復中	大学	理系	駆け足で出口に向かったところつまずき、学生に貸与している個人ロッカーの扉部分を大きく破損した。	対物	35,640
20	往復中	大学院	文系	通学中、借りているカメラを持参して歩行していた際、他の歩行者と衝突し、カメラが落下しレンズ等を破損した。	対物	20,300
21	往復中	短大	文系	自転車で通学中、相手自転車とぶつかりケガをさせてしまった。	対人	2,227

★留学生についても通学中の事故が多く、次に理科系の実験・実習中の事故が目立ちます。
また、大学院生の占める率も高くなっています。

エ インバウンド付帯学総

No.	学校 種別	学部 分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	大学	理系	自宅アパートの梯子から落下し、腰椎椎体骨折となり通院した。	治療費用 (ケガ)	68,640
2	大学	文系	腎臓結石のため、14日間入院した。	治療費用 (病気)	99,400
3	短大	文系	急性虫垂炎のため入院した。	治療費用 (病気)	85,020
4	大学	文系	喘息発作のため通院した。	治療費用 (病気)	56,610
5	大学	文系	血尿のため、6日間通院した。	治療費用 (病気)	17,500
6	大学	理系	寄生虫による腹痛のため、3日間通院した。	治療費用 (病気)	10,700
7	大学	文系	インフルエンザにかかり通院した。	治療費用 (病気)	6,200
8	短大	文系	咽頭炎により通院した。	治療費用 (病気)	1,800
9	短大	文系	アルバイトへ向かうため、自転車で走行中、相手車と接触。相手車の修理費用、代車費用が発生した。	賠償責任 (対物)	241,921
10	短大	文系	スケートボードをしている際に、スケートボードのデッキが学生寮のエントランスの窓ガラスにぶつかり、窓ガラスを割ってしまった。	賠償責任 (対物)	35,000
11	短大	文系	大学の所有物である電子レンジの受け皿を取り出す際に、誤って落とし破損させてしまった。	賠償責任 (対物)	4,500
12	大学	文系	精神的に不安定のため入院し、保護者が来日した際の往復航空機代・ホテル代・電車代。	救済者 費用等	288,000
13	大学	文系	精神疾患で入院し親族が駆け付けた際の交通費。(治療費用は約款上免責のため、請求取り下げ)	救済者 費用等	190,000

(5)新型コロナウイルス感染症にかかわる事故

学研災及び付帯賠償において、2020年度に保険金が支払われた事故の中で新型コロナウイルス感染症にかかわる主な事故について、次に示します。

ア 学研災（活動形態は【 】に記載）

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	大学	通信	オンライン授業でダンス中、足を開脚した際に膝のじん帯を損傷した。 【正課中(体育実技)】	医療	30,000
2	大学	体育系	テニスのリモート授業中、ジャンプをした際にバランスを崩し足に挫傷を負った。 【正課中(体育実技)】	医療	15,000
3	大学	文系	オンライン授業で体育授業中、ストレッチをしている際に転倒し足を捻挫した。 【正課中(体育実技)】	医療	3,000
4	大学	文系	オンライン授業の受講中、足が痺れた状態で立ち上がり足首を捻挫した。 【正課中(その他)】	医療	50,000
5	大学	文系	オンライン授業中、ダンスの練習をしていた際に足を滑らせ転倒。手の指をはく離骨折・じん帯を損傷した。【正課中(その他)】	医療・入院	50,000
6	大学	文系	オンライン授業中、飲み物を飲もうとした際に手を滑らせ足に熱湯がかかり火傷を負った。【正課中(その他)】	医療	15,000
7	大学	理系	オンライン授業の間、トイレに行き机に戻る際に転倒し手を骨折した。 【正課中(その他)】	医療	15,000
8	大学	文系	授業動画を視聴中、椅子を調整していた際に足の指を挟み骨折した。 【正課中(その他)】	医療	6,000
9	大学	医療系	オンライン実習中、教科書を取ろうと移動した際にロフトから転落し膝のじん帯を損傷した。【正課中(その他)】	医療	3,000
10	大学	文系	オンライン授業中、ハンダ付けの実技実習をしていた際に温まったハンダを腕に当て火傷を負った。【正課中(その他)】	医療	3,000
11	大学	文系	リモートでプランクトレーニング中、バランスを崩し腰を捻挫した。【課外活動中】	医療	110,000

イ 付帯賠償（活動形態は【 】に記載）

No.	学校種別	学部分類別	事故内容	保険金種別	支払保険金 (単位:円)
1	大学院	文系	オンライン授業終了後、大学貸与のパソコンを閉じた際に画面を破損した。(Aコース)【正課中】	対物	93,500
2	大学	文系	オンライン授業中、大学貸与のパソコンを机から落とし画面を破損した。(Aコース)【正課中】	対物	29,900
3	大学	文系	オンライン授業中、大学貸与のパソコンに本を落とし破損した。(Aコース)【正課中】	対物	21,300
4	大学	文系	オンライン授業中、大学貸与のタブレットに文字を入力していた際に誤って落としタブレットを破損した。(Aコース)【正課中】	対物	18,100
5	大学	文系	オンライン授業中、机からパソコンが落下しタブレットにヒビが入った。(Aコース)【正課中】	対物	17,000

おわりに

近年の事故統計の傾向及び新型コロナウイルス感染症の影響として、以下のとおり要点をまとめました。

1 2016年度から2019年度までの事故の傾向は、2011年度から2015年度までと同じような特徴を有しています。

- ① 死亡事故は年平均12件程度で、およそ半数を占める通学中の死亡事故では、相手が車の事故が高い比率になっています。また、課外活動(クラブ活動)中の死亡事故では、競技や種目の特性に起因しない事故が多く、特に合宿中の自由時間に集中しています。
- ② 後遺障害事故は年平均170件程度で、課外活動(クラブ活動)中と通学中の事故が約80%を占めており、その中でも頭部の挫傷や頸部・腰部の骨折が重い障害になっています。
- ③ 課外活動(クラブ活動)中の後遺障害事故では、ボールや相手選手の体の一部が目当たる事故、相手選手と接触して骨折や脱臼する事故、関節を捻ってじん帯を損傷する事故などが多く発生しています。
- ④ 通学中の後遺障害事故では、自転車・原付・バイクでの事故が84%を占めています。男女別では、男性のバイク(38%)、女性の自転車(51%)の事故が目立っています。
- ⑤ 事故全体としては、件数及び支払保険金額ともに、課外活動(クラブ活動)中の事故が最も多く、66%の比率を占めています。また、通学中の事故は、件数では全体の中の9%と少ないですが、支払保険金額では24%を占め、重篤な事故に繋がっています。
- ⑥ 月別の事故の傾向として、例年5月と10月頃に事故件数のピークがあり、それぞれの前後を含めた月で62%を占めています。
- ⑦ 地域別の事故の傾向として、関東が40%と最も多く、関東、中部、近畿の3地域で78%を占めています。
- ⑧ 競技種目の傾向として、体育実技中では、バスケットボール、バレーボール、サッカー、体操競技、バドミントンの5競技が事故件数の60%を、課外活動(クラブ活動)中では、サッカー、ラグビー、柔道、野球、アメリカンフットボールの5競技が68%を占めています。
- ⑨ 移動手段の傾向として、男性女性ともに自転車の事故が約44%と最も多く、男性ではバイクの事故が20%、女性では徒歩の事故が26%と多く発生しています。
- ⑩ 傷害部位と傷害種別の傾向として、部位では下肢(膝、足首)や上肢(手・手指)の傷害が多く、種別では捻挫、じん帯損傷、骨折による傷害が多く発生しています。
- ⑪ 留学生がかかわった事故の内容は、日本人学生の場合と大きな差異はありませんが、活動形態別の比率において日本人学生と比較すると、課外活動(クラブ活動)中の事故よりも通学中の事故が多くなっています。

2 2020年度に保険金を支払った事故は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、件数が大きく減少し、事故の傾向にも変化が見られます。

- ① 学研災、付帯賠償、付帯海学において2020年度に保険金が支払われた事故の件数は、前年度比でそれぞれ55%、56%、36%に相当する大幅な減少となっています。2019年度までの推移を踏まえると、事故件数の大幅な減少は新型コロナウイルス感染症の影響によるものと推察できます。
- ② 付帯学総において2020年度に保険金が支払われた事故の件数は、前年度比で82%に相当する小幅な減少にとどまっています。学研災、付帯賠償、付帯海学が大きく減少しているのに対して、日常的な事故や病気に対応する付帯学総では、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることなく例年同様の支払状況となっています。
- ③ 保険金支払年度と事故発生年度の関係については、2016年度から2019年度までは事故の発生から3年度以内に支払われる比率が事故全体で99%、後遺障害事故で83%となっています。2019年度に発生した事故のうち2020年度に保険金が支払われた事故の件数が少なくなっていますが、2021年度以降の保険金支払い状況によっては、新型コロナウイルス感染症の影響がより大きなものであったと評価される可能性もあります。
- ④ 2020年度に発生した事故については、月別の事故件数は例年とは異なり、4月から徐々に増加し10月以降減少しています。また、関東の事故件数は全国の31%で、例年から8ポイント程度減少しています。

事故が発生した後の対処は、事故の未然防止のための措置を講ずるよりも、より多くの時間とコストを必要とします。リスク管理の観点からは、事故防止に必要な対応を実効的に推進しなければなりません。その第一歩が、事故の実態やその傾向を把握することです。本報告書が関係者の皆様にご活用いただけることを願っております。

学生教育研究災害傷害保険（学研災）からみた学生生活
における事故の傾向と事例
(2016 年度～ 2020 年度)

発 行 日 2022 年 3 月 25 日

発 行 公益財団法人 日本国際教育支援協会

問合せ先 公益財団法人 日本国際教育支援協会 学生支援部 学生保険課

〒 153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

T E L 03-5454-5275 F A X 03-5454-5232

<http://www.jees.or.jp>

印 刷 日本印刷株式会社

